

文化芸術の振興に関するアンケート調査
報 告 書



平成 25 年 3 月
松 戸 市

文化芸術の振興に関するアンケート調査報告書

目次

第1部 市民調査

序章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 調査項目	2
5 調査の枠組み	5
6 報告書を見る際の注意	6
第1章 回答者の属性	8
第2章 文化芸術活動の実践及び鑑賞に関する事項	17
1 実践及び鑑賞に対する意識	17
2 実践及び鑑賞状況	19
第3章 地域の文化芸術の現状	44
第4章 今後の方向性に関する事項	49
1 市が担うべき役割	49
2 地域住民として担える役割	51
3 実施を期待するイベント等	55
4 文化芸術の振興に関する意見や要望	58
第5章 結果の考察	62

第2部 社会教育関係団体調査

I	調査の概要	69
1	調査の目的	69
2	調査の方法	69
3	回収結果	69
4	調査項目	70
II	調査結果	71
1	施設の利用	71
2	市の支援	73
3	団体の状況	74
4	文化的環境	77
5	自由意見	79

【資料】

1	調査票	83
2	記述回答の詳細	99

第1部 市民調査

序章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、文化芸術に関する市民の意識や行動及びニーズを把握し、「(仮)松戸市文化芸術振興基本方針」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の方法

- (1) 調査地域：松戸市全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配布、郵送回収
- (5) 調査期間：平成24年10月9日～10月23日

3 回収結果

配布数 (A)	有効回収数 (B)	白票・無効票 (C)	有効回収率 (B/A)
3,000	1,223	2	40.8%

4 調査項目

区分	設問	問
1 地域の文化芸術の現状	地域の文化芸術の現状に対する満足度	問 1
	文化芸術のイベントにふれる機会	問 1 - ア
	市民による文化芸術活動の活発さ	問 1 - イ
	文化財や伝統芸能の数と保存状況	問 1 - ウ
	子どもたちの文化芸術活動の活発さ	問 1 - エ
	文化芸術活動のための施設整備状況	問 1 - オ
	文化的な雰囲気を感じる景観やまちなみの状況	問 1 - カ
	文化芸術に関する情報量	問 1 - キ
2 文化芸術活動の実践	実践に対する意識	問 2
	現在の実践状況	問 3
	【実践している人に対する設問】	
	実践のきっかけ	問 4 - 1
	実践分野	問 4 - 2
	市内での実践頻度と場所	問 4 - 3
	市外での実践頻度と場所	問 4 - 4
	月間の実践費用	問 4 - 5
	【実践していない人に対する設問】	
	実践していない理由	問 4 - 6
今後新たに実践したい分野	問 5	

区分	設問	問
3 文化芸術の鑑賞	鑑賞に対する意識	問 6
	過去 1 年間の鑑賞状況	問 7
	【鑑賞した人に対する設問】	
	鑑賞分野	問 8 - 1
	市内での鑑賞頻度と場所	問 8 - 2
	市外での鑑賞頻度と場所	問 8 - 3
	月間の鑑賞費用	問 8 - 4
	【鑑賞しなかった人に対する設問】	
鑑賞しなかった理由	問 8 - 5	
	今後新たに鑑賞したい分野	問 9
4 文化芸術に関する情報の入手方法	文化芸術に関する情報の入手方法	問 10
5 「文化の薫るまち」に向けた今後の取り組み	市が担うべき役割	問 11
	子どもたちによる文化芸術活動の充実のために市が重視すべき取り組み	問 12
	地域住民として担える役割	問 13
	実施を期待するイベント等	問 14 (記述回答)
	文化芸術の振興に関する意見や要望	問 15 (記述回答)

区分	設問	問
(フ エ イ ス シ ー ト) 基本 属性	性別	F 1
	年齢	F 2
	職業	F 3
	通勤先・通学先	F 4
	居住年数	F 5
	家族構成	F 6
	中学生以下の同居家族の有無	F 7
	居住地区	F 8 (事前区分)

5 調査の枠組み

基本属性（フェイスシート）

F 1	性別	F 5	居住年数
F 2	年齢	F 6	家族構成
F 3	職業	F 7	中学生以下の同居家族の有無
F 4	通勤先・通学先	F 8	居住地区



1. 地域の文化芸術の現状

問 1 地域の文化芸術の現状に対する満足度

5. 「文化の薫るまち」に向けた今後の取り組み

- 問 11 市が担うべき役割
問 12 子どもたちによる文化芸術活動の充実のために市が重視すべき取り組み
問 13 地域住民として担える役割
問 14 実施を期待するイベント等
問 15 文化芸術の振興に関する意見や要望

2. 文化芸術活動の実践

- 問 2 実践に対する意識
問 3 現在の実践状況
問 4-1 実践のきっかけ
問 4-2 実践分野
問 4-3 市内での実践頻度と場所
問 4-4 市外での実践頻度と場所
問 4-5 月間の実践費用
問 4-6 実践していない理由
問 5 今後新たに実践したい分野

3. 文化芸術の鑑賞

- 問 6 鑑賞に対する意識
問 7 過去1年間の鑑賞状況
問 8-1 鑑賞分野
問 8-2 市内での鑑賞頻度と場所
問 8-3 市外での鑑賞頻度と場所
問 8-4 月間の鑑賞費用
問 8-5 鑑賞しなかった理由
問 9 今後新たに鑑賞したい分野

4. 文化芸術に関する情報の入手方法

問 10 文化芸術に関する情報の入手方法

6 報告書を見る際の注意

(1) 調査の精度（標本誤差）

本調査は、松戸市在住の20歳以上の市民384,709人（平成24年10月現在）から3,000人を抽出して実施した「標本調査」です。なお、20歳以上の市民384,709人全員を対象とした調査を「全数調査」といいます。

「標本調査」では、得られた結果から20歳以上の市民全体の値を推定しますが、この際に生じる「標本調査の結果」と「全数調査の結果」との差を標本誤差といいます。

標本誤差は、以下の公式によって算出されます。

〈標本誤差算出式：信頼度95%〉

標本誤差＝	$\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$	<p>N＝母集団の数</p> <p>n＝回答数</p> <p>p＝回答の比率</p>
-------	--	--

文化芸術活動を実践している割合を例に挙げると、回答数が1,223人であり、実践している割合が22.6%であるため、誤差の範囲は±2.4%となります。よって、市民全体で実践している割合は20.2～25.0%の範囲にあると95%の信頼度で推定されます。

p n	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,223	±1.7%	±2.2%	±2.6%	±2.7%	±2.8%
277 実践している 問4-1～5	±3.5%	±4.7%	±5.4%	±5.8%	±5.9%
928 実践していない 問4-6	±1.9%	±2.6%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
674 鑑賞した 問8-1～4	±2.3%	±3.0%	±3.5%	±3.7%	±3.8%
541 鑑賞しなかった 問8-5	±2.5%	±3.4%	±3.9%	±4.1%	±4.2%

(2) 用語の説明

本調査における「文化芸術」とは、文化芸術振興基本法の分類を基に以下のようなものを想定しています。

- ・芸術…文学、音楽、美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、手芸など）、写真、演劇、舞踊、ダンスなど
- ・メディア芸術…映画、漫画、アニメーション（動画）など
- ・伝統芸能…雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など
- ・芸能…講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱など
- ・生活文化・国民娯楽…茶道、華道、書道、園芸、囲碁、将棋など
- ・文化財…有形及び無形の文化財、地域の郷土芸能など

また、文化芸術に関する「実践」とは自身で作ったり、描（書）いたり、演じたりすることを言います。なお、「鑑賞」については、自宅等で個人的に映像を観たり、音楽を聴いたりすることを除きます。

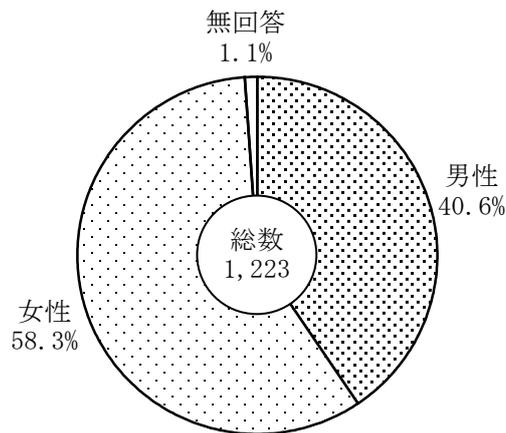
(3) 集計値や図表について

- ・集計した数値（％）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- ・回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ・表では、上段が実数、下段が％（小数第1位まで）を表示しています。
- ・表中に「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・表中に「＊」と表示してあるのは、対象者がいなかった場合です。
- ・表中で網掛けになっている部分は、クロス集計表の結果の中で特徴のあった部分として説明文で取り上げている数値を示しています。
- ・回答者数が極端に少ないものについては、分析対象から外している場合があります。ただし、調査結果には参考値として記載しています。

第1章 回答者の属性

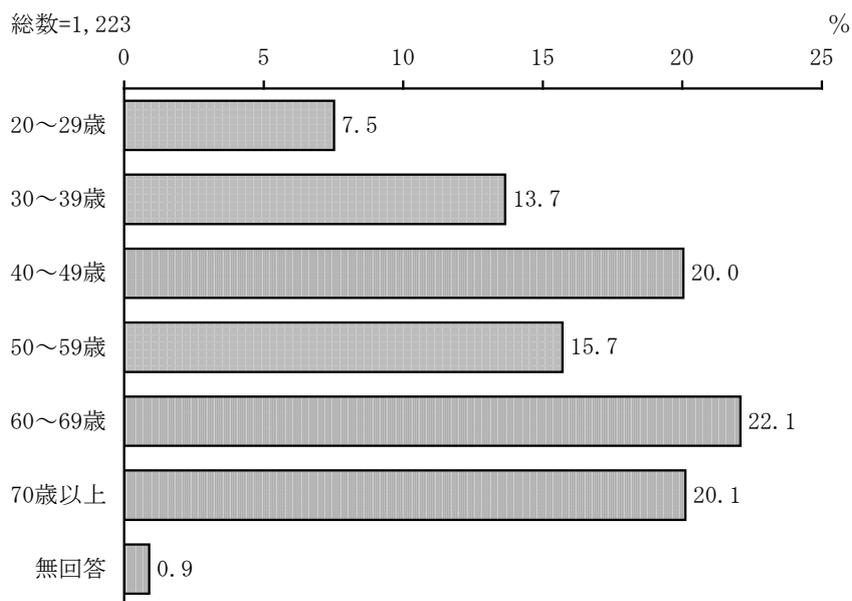
(1) 性別 F 1

この設問は、回答者の性別を聞いたものです。その結果、「男性」が4割、「女性」が6割弱でした。



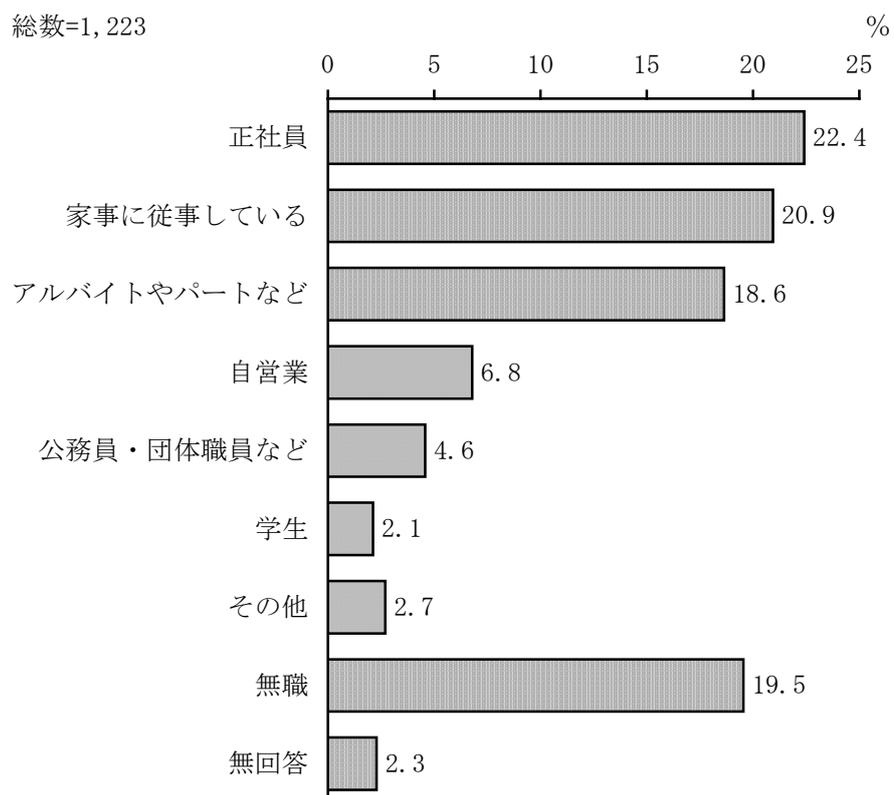
(2) 年齢 F 2

この設問は、10歳間隔で回答者の年齢を聞いたものです。その結果、40代以上は2割前後であるのに対し、「20代」「30代」は1割前後と少なくなっています。



(3) 職業と通勤先・通学先 F 3 F 4

この設問は、回答者の職業を聞いたものです。その結果、「正社員」「家事に従事している」「アルバイトやパートなど」が2割前後と多くなっています。また、「無職」もほぼ2割と多くなっています。



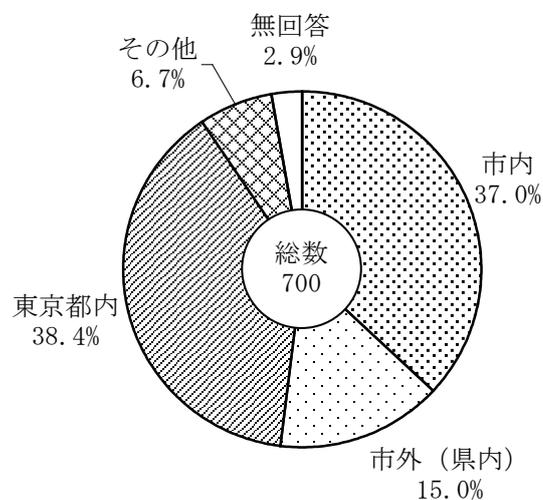
●クロス分析（×F1性別×F2年齢）

性別ごとに年齢による違いを見ると、男性は「正社員」が30代から50代で、「自営業」が60代で多くなっています。女性は「正社員」が20代、30代で、「アルバイトやパートなど」が40代で、「家事に従事している」が60代以上で多くなっています。なお、「無職」は男女ともに70代以上で多くなっています。

		全体	正社員	公務員・団体職員など	自営業	アルバイトやパートなど	学生	その他	家事に従事している	無職	無回答
	全体	497 100.0	180 36.2	39 7.8	54 10.9	54 10.9	16 3.2	13 2.6	- -	136 27.4	5 1.0
男性	20～29歳	43 100.0	14 32.6	2 4.7	- -	11 25.6	15 34.9	- -	- -	- -	1 2.3
	30～39歳	69 100.0	42 60.9	11 15.9	2 2.9	4 5.8	1 1.4	1 1.4	- -	8 11.6	- -
	40～49歳	77 100.0	60 77.9	8 10.4	5 6.5	2 2.6	- -	1 1.3	- -	1 1.3	- -
	50～59歳	82 100.0	48 58.5	13 15.9	9 11.0	8 9.8	- -	- -	- -	4 4.9	- -
	60～69歳	109 100.0	15 13.8	5 4.6	26 23.9	23 21.1	- -	5 4.6	- -	33 30.3	2 1.8
	70歳以上	117 100.0	1 0.9	- -	12 10.3	6 5.1	- -	6 5.1	- -	90 76.9	2 1.7
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

		全体	正社員	公務員・団体職員など	自営業	アルバイトやパートなど	学生	その他	家事に従事している	無職	無回答
	全体	713 100.0	94 13.2	17 2.4	28 3.9	174 24.4	10 1.4	20 2.8	255 35.8	102 14.3	13 1.8
女性	20～29歳	49 100.0	17 34.7	2 4.1	- -	9 18.4	8 16.3	3 6.1	10 20.4	- -	- -
	30～39歳	97 100.0	28 28.9	2 2.1	5 5.2	23 23.7	1 1.0	2 2.1	30 30.9	5 5.2	1 1.0
	40～49歳	168 100.0	24 14.3	6 3.6	7 4.2	76 45.2	1 0.6	3 1.8	46 27.4	5 3.0	- -
	50～59歳	110 100.0	22 20.0	4 3.6	5 4.5	34 30.9	- -	2 1.8	35 31.8	8 7.3	- -
	60～69歳	160 100.0	3 1.9	3 1.9	9 5.6	29 18.1	- -	8 5.0	75 46.9	29 18.1	4 2.5
	70歳以上	128 100.0	- -	- -	2 1.6	2 1.6	- -	2 1.6	59 46.1	55 43.0	8 6.3
	無回答	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

次に、就労や就学している人に通勤先や通学先を聞いた結果、「東京都内」と「市内」が4割弱、「市外（県内）」が1割台半ばとなっています。



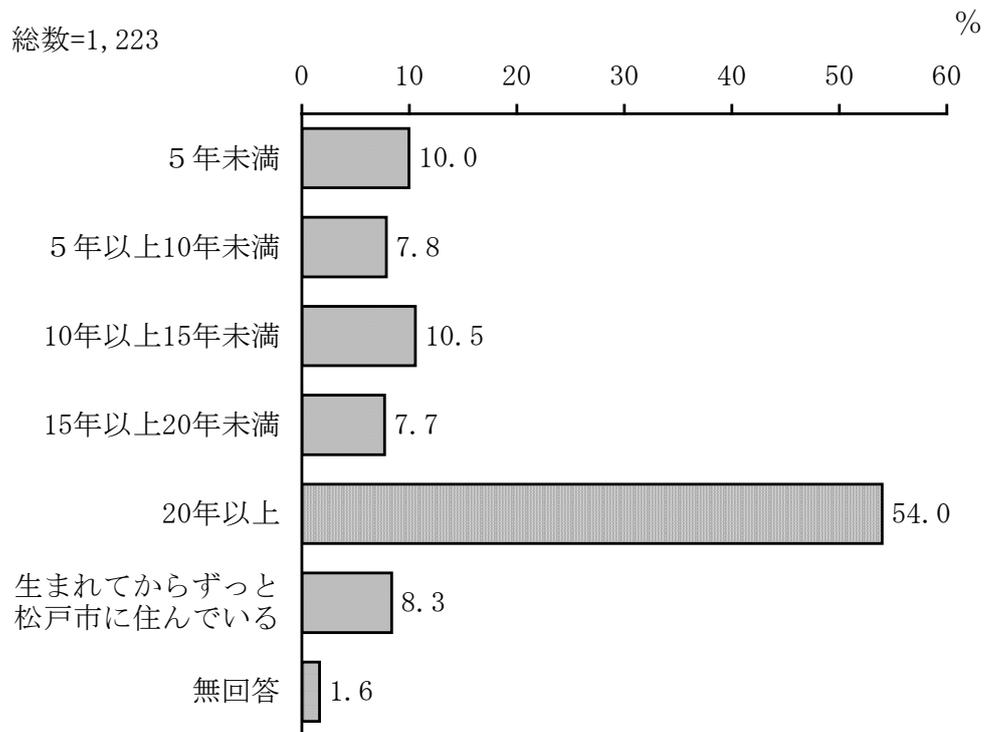
●クロス分析（×F3職業）

職業による違いを見ると、「東京都内」は正社員で6割弱と多くなっています。また、「市内」は自営業で8割弱、アルバイトやパートなどで5割と多くなっていることが分かりました。

		全体	市内	市外（県内）	東京都内	その他	無回答
全体		700 100.0	259 37.0	105 15.0	269 38.4	47 6.7	20 2.9
職業	正社員	274 100.0	51 18.6	35 12.8	161 58.8	23 8.4	4 1.5
	公務員・団体職員など	56 100.0	15 26.8	9 16.1	25 44.6	5 8.9	2 3.6
	自営業	83 100.0	64 77.1	6 7.2	9 10.8	1 1.2	3 3.6
	アルバイトやパートなど	228 100.0	115 50.4	42 18.4	54 23.7	11 4.8	6 2.6
	学生	26 100.0	5 19.2	6 23.1	10 38.5	5 19.2	-
	その他	33 100.0	9 27.3	7 21.2	10 30.3	2 6.1	5 15.2

(4) 居住年数 F 5

この設問は、松戸市内の居住年数について聞いたものです。その結果、「20年以上」が5割台半ばと最も多くなっています。



●クロス分析（×F2年齢）

年齢による違いを見ると、「5年未満」は20代、30代で3割弱、「20年以上」は60代以上で8割前後と多くなっていることが分かりました。

		全体	にず生 住つま んとれ で松て い戸か る市ら	5 年未 満	5 年 未 満 1 0	1 1 5 0 年 未 満 上	2 1 0 5 年 未 満 上	2 0 年 未 満 上	無 回 答
全体		1,223 100.0	102 8.3	122 10.0	96 7.8	129 10.5	94 7.7	660 54.0	20 1.6
年齢	20～29歳	92 100.0	24 26.1	25 27.2	8 8.7	8 8.7	6 6.5	21 22.8	- -
	30～39歳	167 100.0	25 15.0	47 28.1	32 19.2	19 11.4	3 1.8	41 24.6	- -
	40～49歳	245 100.0	19 7.8	24 9.8	32 13.1	57 23.3	39 15.9	71 29.0	3 1.2
	50～59歳	192 100.0	14 7.3	10 5.2	12 6.3	24 12.5	24 12.5	107 55.7	1 0.5
	60～69歳	270 100.0	9 3.3	8 3.0	11 4.1	10 3.7	15 5.6	215 79.6	2 0.7
	70歳以上	246 100.0	11 4.5	8 3.3	1 0.4	11 4.5	7 2.8	204 82.9	4 1.6
	無回答	11 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 9.1	10 90.9

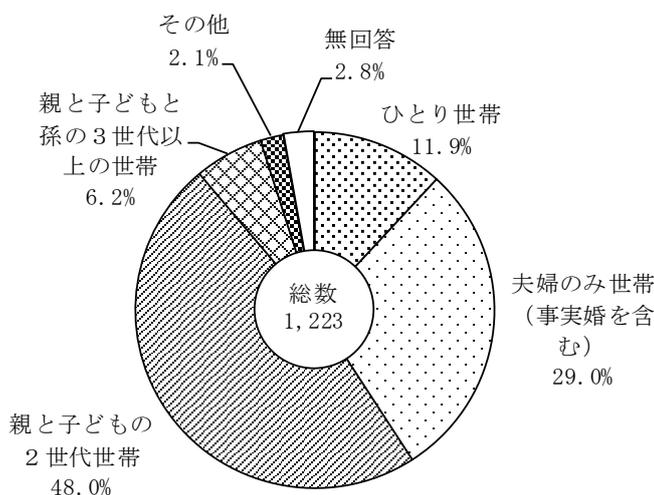
●クロス分析（×F8居住地区）

居住地区による違いを見ると、小金原では「20年以上」がほぼ7割であり、他の地区と比べて多くなっていることが分かりました。

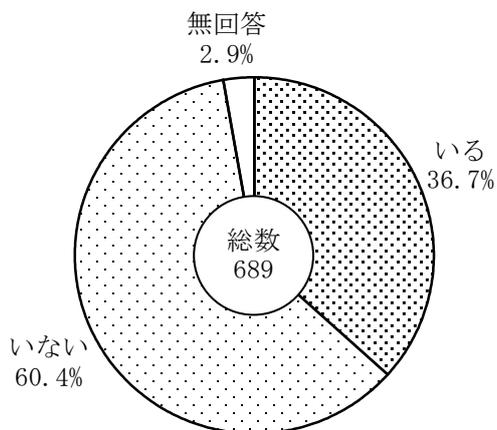
		全体	にず生 住つま んとれ で松て い戸か る市ら	5 年未 満	5 年 未 満 1 0	1 1 5 0 年 未 満 上	2 1 0 5 年 未 満 上	2 0 年 未 満 上	無 回 答
全体		1,223 100.0	102 8.3	122 10.0	96 7.8	129 10.5	94 7.7	660 54.0	20 1.6
居住地区	本庁	351 100.0	33 9.4	40 11.4	26 7.4	45 12.8	26 7.4	174 49.6	7 2.0
	常盤平	219 100.0	20 9.1	24 11.0	17 7.8	14 6.4	11 5.0	130 59.4	3 1.4
	小金	106 100.0	11 10.4	6 5.7	5 4.7	14 13.2	12 11.3	57 53.8	1 0.9
	小金原	86 100.0	3 3.5	9 10.5	4 4.7	6 7.0	2 2.3	60 69.8	2 2.3
	六美	84 100.0	3 3.6	5 6.0	4 4.8	12 14.3	12 14.3	46 54.8	2 2.4
	馬橋	77 100.0	11 14.3	4 5.2	10 13.0	10 13.0	8 10.4	32 41.6	2 2.6
	新松戸	147 100.0	7 4.8	18 12.2	10 6.8	11 7.5	13 8.8	87 59.2	1 0.7
	矢切	64 100.0	9 14.1	2 3.1	7 10.9	6 9.4	1 1.6	37 57.8	2 3.1
	東部	88 100.0	5 5.7	14 15.9	13 14.8	11 12.5	9 10.2	36 40.9	- -
	無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

(5) 家族構成、中学生以下の同居家族の有無 F 6 F 7

この設問は、家族構成を聞いたものです。その結果、「親と子どもの2世代世帯」が5割弱と最も多くなっています。次いで、「夫婦のみ世帯(事実婚を含む)」が3割弱、「ひとり世帯」が1割強と続いています。



次に、子どものいる世帯(「親と子どもの2世代世帯」「親と子どもと孫の3世代以上の世帯」「その他」)に中学生以下の同居家族の有無を聞いた結果、中学生以下の同居家族がいる世帯は3割台半ば、中学生以下の同居家族がいない世帯は6割でした。



●クロス分析（× F 1 性別 × F 2 年齢）

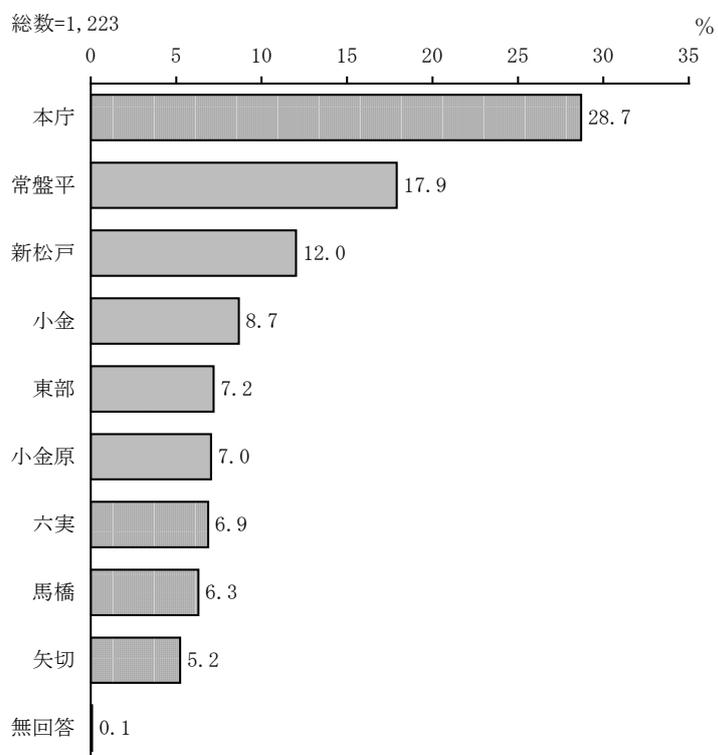
性別ごとに年齢による違いを見ると、男女とも 30 代、40 代では中学生以下の同居家族がいる世帯が 6 割前後と多くなっていることが分かりました。

		全体	いる	いない	無回答
全体		256 100.0	93 36.3	158 61.7	5 2.0
男性	20～29歳	32 100.0	8 25.0	21 65.6	3 9.4
	30～39歳	42 100.0	25 59.5	17 40.5	- -
	40～49歳	55 100.0	38 69.1	16 29.1	1 1.8
	50～59歳	53 100.0	10 18.9	43 81.1	- -
	60～69歳	45 100.0	5 11.1	40 88.9	- -
	70歳以上	29 100.0	7 24.1	21 72.4	1 3.4
	無回答	* *	* *	* *	* *

		全体	いる	いない	無回答
全体		431 100.0	159 36.9	257 59.6	15 3.5
女性	20～29歳	37 100.0	11 29.7	25 67.6	1 2.7
	30～39歳	70 100.0	43 61.4	25 35.7	2 2.9
	40～49歳	135 100.0	84 62.2	49 36.3	2 1.5
	50～59歳	77 100.0	3 3.9	66 85.7	8 10.4
	60～69歳	65 100.0	8 12.3	56 86.2	1 1.5
	70歳以上	46 100.0	10 21.7	35 76.1	1 2.2
	無回答	1 100.0	- -	1 100.0	- -

(6) 居住地区 F 8

「本庁」が3割弱で最も多く、次いで「常盤平」「新松戸」が1割台、その他の地区については1割未満でした。

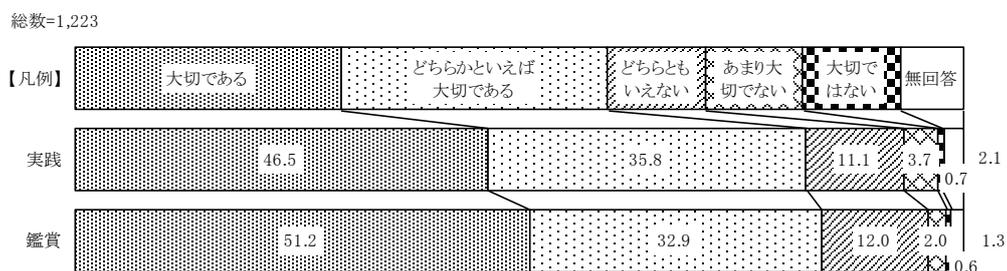


第2章 文化芸術活動の実践及び鑑賞に関する事項

1 実践及び鑑賞に対する意識

(1) 実践及び鑑賞に対する意識 問2 問6

この設問は、文化芸術活動の実践及び鑑賞に対する意識を聞いたものです。その結果、実践と鑑賞どちらも「大切である」（「大切である」と「どちらかといえば大切である」を合わせた割合）が8割以上を占めています。



●クロス分析（× F 1 性別 × F 2 年齢）

性別ごとに年齢による違いを見ると、実践と鑑賞どちらも「大切である」（「大切である」と「どちらかといえば大切である」を合わせた割合）が男女ともに70代で7割台であり、他の世代と比べて少なくなっていることが分かりました。

	全体	実践				鑑賞				
		大切である	どちらともいえない	大切ではない	無回答	大切である	どちらともいえない	大切ではない	無回答	
全体	497	402	61	25	9	404	70	16	7	
	100.0	80.9	12.3	5.0	1.8	81.3	14.1	3.2	1.4	
男性	20～29歳	43	39	3	1	-	36	6	1	-
		100.0	90.7	7.0	2.3	-	83.7	14.0	2.3	-
	30～39歳	69	54	10	5	-	57	9	2	1
		100.0	78.3	14.5	7.2	-	82.6	13.0	2.9	1.4
	40～49歳	77	63	8	6	-	66	8	3	-
		100.0	81.8	10.4	7.8	-	85.7	10.4	3.9	-
	50～59歳	82	68	8	5	1	73	8	1	-
		100.0	82.9	9.8	6.1	1.2	89.0	9.8	1.2	-
60～69歳	109	93	11	3	2	85	20	3	1	
	100.0	85.3	10.1	2.8	1.8	78.0	18.3	2.8	0.9	
70歳以上	117	85	21	5	6	87	19	6	5	
	100.0	72.6	17.9	4.3	5.1	74.4	16.2	5.1	4.3	
無回答	*	*	*	*	*	*	*	*	*	

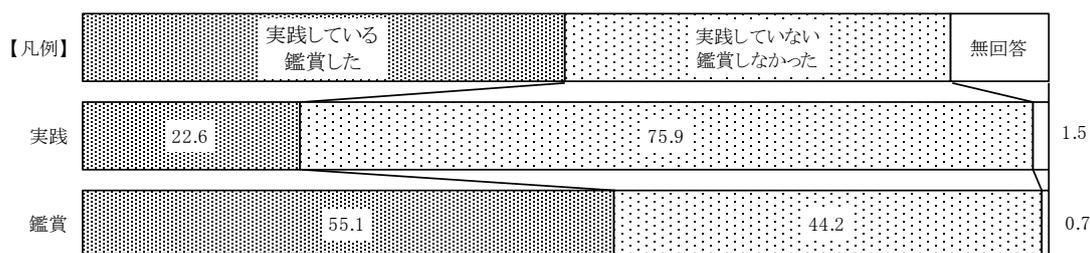
		全体	実践				鑑賞			
			大切である	どちらとも いえない	大切ではない	無回答	大切である	どちらとも いえない	大切ではない	無回答
全体		713 100.0	596 83.6	73 10.2	28 3.9	16 2.2	612 85.8	77 10.8	16 2.2	8 1.1
女性	20～29歳	49 100.0	40 81.6	5 10.2	4 8.2	-	45 91.8	2 4.1	2 4.1	-
	30～39歳	97 100.0	83 85.6	8 8.2	6 6.2	-	82 84.5	12 12.4	2 2.1	1 1.0
	40～49歳	168 100.0	147 87.5	18 10.7	3 1.8	-	155 92.3	12 7.1	1 0.6	-
	50～59歳	110 100.0	98 89.1	7 6.4	2 1.8	3 2.7	97 88.2	10 9.1	3 2.7	-
	60～69歳	160 100.0	133 83.1	16 10.0	8 5.0	3 1.9	134 83.8	20 12.5	5 3.1	1 0.6
	70歳以上	128 100.0	94 73.4	19 14.8	5 3.9	10 7.8	98 76.6	21 16.4	3 2.3	6 4.7
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-

2 実践及び鑑賞状況

(1) 現在の実践状況及び過去1年間の鑑賞状況 問3 問7

この設問は、文化芸術活動の実践及び鑑賞状況（実践については「現在の実践状況」、鑑賞については「過去1年間の鑑賞状況」）を聞いたものです。その結果、「実践している」が2割強、「鑑賞した」が5割台半ばとなっています。

総数=1,223



●クロス分析（×F1性別×F2年齢）

性別ごとに年齢による違いを見ると、「実践している」は男女ともに60代以上で多くなっていますが、男性の40代、50代と女性の30代で少なくなっていることが分かりました。「鑑賞した」は男女ともに50代で多くなっていますが、70代以上で少なくなっていることが分かりました。

	全体	実践			鑑賞			
		実践している	実践していない	無回答	鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答	
全体	497	85	406	6	242	251	4	
	100.0	17.1	81.7	1.2	48.7	50.5	0.8	
男性	20～29歳	43	7	36	-	20	23	-
		100.0	16.3	83.7	-	46.5	53.5	-
	30～39歳	69	13	55	1	32	37	-
		100.0	18.8	79.7	1.4	46.4	53.6	-
	40～49歳	77	6	71	-	35	42	-
		100.0	7.8	92.2	-	45.5	54.5	-
	50～59歳	82	10	72	-	50	32	-
		100.0	12.2	87.8	-	61.0	39.0	-
60～69歳	109	22	86	1	57	52	-	
	100.0	20.2	78.9	0.9	52.3	47.7	-	
70歳以上	117	27	86	4	48	65	4	
	100.0	23.1	73.5	3.4	41.0	55.6	3.4	
無回答	*	*	*	*	*	*	*	
	*	*	*	*	*	*	*	

		全体	実践			鑑賞		
			実践している	実践していない	無回答	鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答
全体		713 100	190 26.6	514 72.1	9 1.3	428 60.0	281 39.4	4 0.6
女性	20～29歳	49 100.0	12 24.5	36 73.5	1 2.0	27 55.1	22 44.9	-
	30～39歳	97 100.0	16 16.5	81 83.5	-	61 62.9	35 36.1	1 1.0
	40～49歳	168 100.0	38 22.6	130 77.4	-	104 61.9	64 38.1	-
	50～59歳	110 100.0	29 26.4	80 72.7	1 0.9	74 67.3	36 32.7	-
	60～69歳	160 100.0	52 32.5	107 66.9	1 0.6	95 59.4	64 40.0	1 0.6
	70歳以上	128 100.0	42 32.8	80 62.5	6 4.7	66 51.6	60 46.9	2 1.6
	無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-

●クロス分析（× F 3 職業）

職業による違いを見ると、「実践している」は正社員で1割強、「鑑賞した」は自営業で5割弱と少なくなっていることが分かりました。

		全体	実践			鑑賞		
			実践している	実践していない	無回答	鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答
全体		1,223 100.0	277 22.6	928 75.9	18 1.5	674 55.1	541 44.2	8 0.7
職業	正社員	274 100.0	37 13.5	236 86.1	1 0.4	149 54.4	124 45.3	1 0.4
	公務員・団体職員など	56 100.0	16 28.6	40 71.4	-	39 69.6	17 30.4	-
	自営業	83 100.0	20 24.1	61 73.5	2 2.4	39 47.0	43 51.8	1 1.2
	アルバイトやパート など	228 100.0	47 20.6	178 78.1	3 1.3	131 57.5	97 42.5	-
	学生	26 100.0	6 23.1	20 76.9	-	14 53.8	12 46.2	-
	その他	33 100.0	13 39.4	20 60.6	-	23 69.7	9 27.3	1 3.0
	家事に従事している	256 100.0	68 26.6	186 72.7	2 0.8	146 57.0	108 42.2	2 0.8
	無職	239 100.0	65 27.2	167 69.9	7 2.9	120 50.2	116 48.5	3 1.3
	無回答	28 100.0	5 17.9	20 71.4	3 10.7	13 46.4	15 53.6	-

●クロス分析（× F 7 中学生以下の同居家族の有無）

中学生以下の同居家族の有無による違いを見ると、中学生以下の同居家族がいる世帯では「実践している」「鑑賞した」どちらも少なくなっていることが分かりました。

		全体	実践			鑑賞		
			実践している	実践していない	無回答	鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答
全体		689 100.0	127 18.4	555 80.6	7 1.0	376 54.6	312 45.3	1 0.1
中学生以下同居家族	いる	253 100.0	32 12.6	220 87.0	1 0.4	123 48.6	130 51.4	-
	いない	416 100.0	92 22.1	319 76.7	5 1.2	243 58.4	173 41.6	-
	無回答	20 100.0	3 15.0	16 80.0	1 5.0	10 50.0	9 45.0	1 5.0

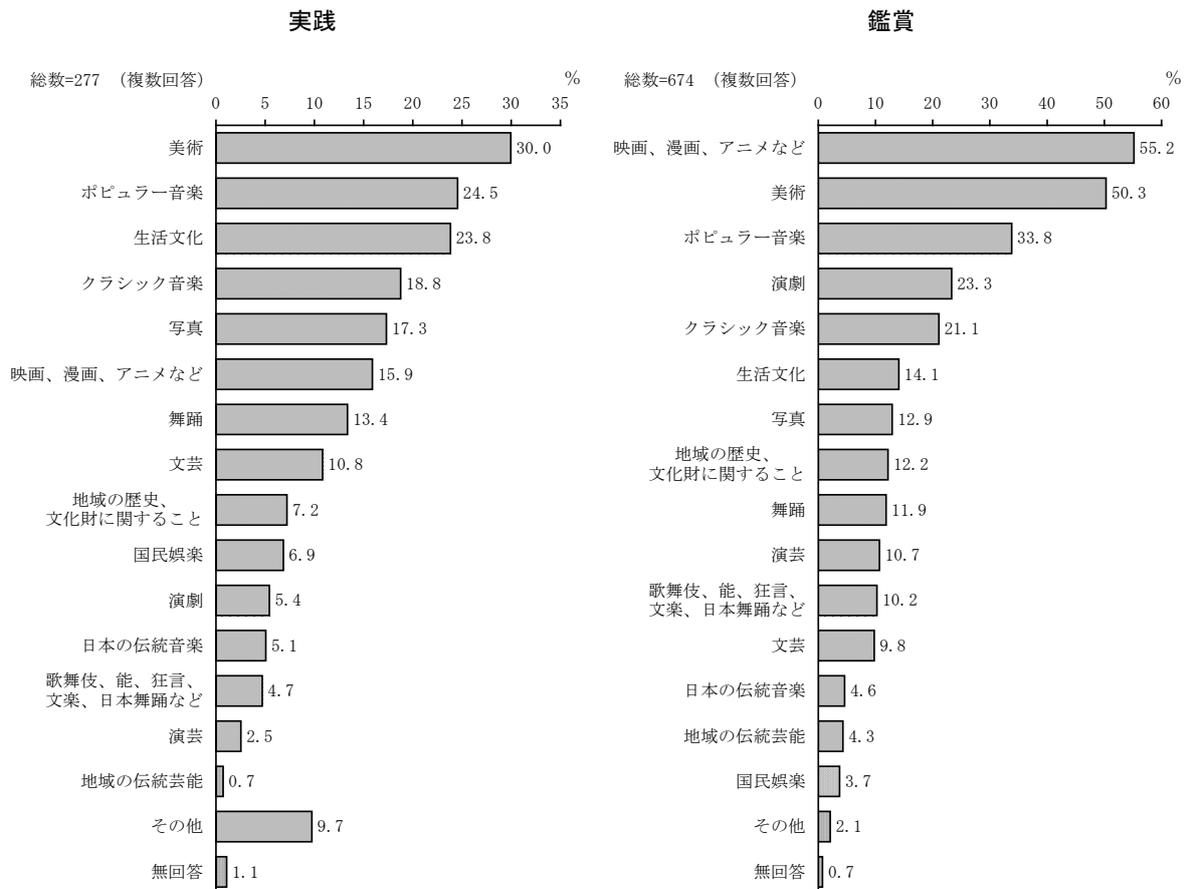
●クロス分析（× F 8 居住地区）

居住地区による違いを見ると、東部では「実践している」「鑑賞した」どちらも少なく、小金では「鑑賞した」が少なくなっていることが分かりました。

		全体	実践			鑑賞		
			実践している	実践していない	無回答	鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答
全体		1,223 100.0	277 22.6	928 75.9	18 1.5	674 55.1	541 44.2	8 0.7
居住地区	本庁	351 100.0	69 19.7	275 78.3	7 2.0	201 57.3	149 42.5	1 0.3
	常盤平	219 100.0	56 25.6	161 73.5	2 0.9	119 54.3	100 45.7	-
	小金	106 100.0	23 21.7	83 78.3	-	49 46.2	55 51.9	2 1.9
	小金原	86 100.0	20 23.3	64 74.4	2 2.3	48 55.8	38 44.2	-
	六実	84 100.0	20 23.8	64 76.2	-	52 61.9	32 38.1	-
	馬橋	77 100.0	20 26.0	57 74.0	-	39 50.6	38 49.4	-
	新松戸	147 100.0	41 27.9	104 70.7	2 1.4	86 58.5	58 39.5	3 2.0
	矢切	64 100.0	17 26.6	45 70.3	2 3.1	38 59.4	26 40.6	-
	東部	88 100.0	11 12.5	74 84.1	3 3.4	42 47.7	44 50.0	2 2.3
	無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	1 100.0	-

(2) 実践分野及び鑑賞分野 問4-2 問8-1

この設問は、文化芸術活動を現在実践している人には実践分野を、過去1年間に鑑賞した人には鑑賞分野を複数回答で聞いたものです。その結果、実践分野については「美術」が3割と最も多く、「ポピュラー音楽」「生活文化」が2割台と続いています。鑑賞分野については「映画、漫画、アニメなど」「美術」が5割台と多く、「ポピュラー音楽」が3割強と続いています。



●クロス分析（×F1性別）

実践分野について性別による違いを見ると、「ポピュラー音楽」「写真」「映画、漫画、アニメなど」は男性が女性に比べて多く、「生活文化」「舞踊」は女性が男性に比べて多くなっていることが分かりました。

鑑賞分野については性別による違いを見ると、「演劇」「舞踊」「生活文化」は女性が男性に比べて多くなっていることが分かりました。

実践

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		277 100.0	30 10.8	83 30.0	7 2.5	48 17.3	15 5.4	37 13.4	44 15.9	52 18.8
性別	男性	85 100.0	14 16.5	24 28.2	3 3.5	25 29.4	4 4.7	1 1.2	22 25.9	13 15.3
	女性	190 100.0	16 8.4	59 31.1	4 2.1	23 12.1	11 5.8	36 18.9	22 11.6	38 20.0
	無回答	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0

		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民音楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		68 24.5	14 5.1	13 4.7	2 0.7	66 23.8	19 6.9	20 7.2	27 9.7	3 1.1
性別	男性	28 32.9	2 2.4	-	1 1.2	10 11.8	15 17.6	10 11.8	5 5.9	-
	女性	40 21.1	12 6.3	13 6.8	1 0.5	55 28.9	4 2.1	10 5.3	22 11.6	3 1.6
	無回答	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-

鑑賞

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		674 100.0	66 9.8	339 50.3	72 10.7	87 12.9	157 23.3	80 11.9	372 55.2	142 21.1
性別	男性	242 100.0	24 9.9	106 43.8	29 12.0	43 17.8	31 12.8	6 2.5	135 55.8	46 19.0
	女性	428 100.0	42 9.8	231 54.0	42 9.8	44 10.3	125 29.2	74 17.3	233 54.4	96 22.4
	無回答	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	4 100.0	-

		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民音楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		228 33.8	31 4.6	69 10.2	29 4.3	95 14.1	25 3.7	82 12.2	14 2.1	5 0.7
性別	男性	87 36.0	9 3.7	17 7.0	8 3.3	21 8.7	18 7.4	34 14.0	4 1.7	-
	女性	139 32.5	22 5.1	52 12.1	21 4.9	73 17.1	6 1.4	48 11.2	10 2.3	5 1.2
	無回答	2 50.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	-

●クロス分析（×F2年齢）

実践

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		277 100.0	30 10.8	83 30.0	7 2.5	48 17.3	15 5.4	37 13.4	44 15.9	52 18.8
年齢	20～29歳	19 100.0	4 21.1	8 42.1	1 5.3	5 26.3	3 15.8	3 15.8	9 47.4	4 21.1
	30～39歳	29 100.0	1 3.4	8 27.6	2 6.9	9 31.0	1 3.4	1 3.4	5 17.2	5 17.2
	40～49歳	44 100.0	3 6.8	12 27.3	1 2.3	6 13.6	2 4.5	2 11.4	5 20.5	7 15.9
	50～59歳	39 100.0	4 10.3	12 30.8	- -	8 20.5	3 7.7	6 15.4	3 7.7	9 23.1
	60～69歳	74 100.0	10 13.5	24 32.4	3 4.1	14 18.9	6 8.1	10 13.5	9 12.2	13 17.6
	70歳以上	69 100.0	8 11.6	18 26.1	- -	6 8.7	- -	11 15.9	9 13.0	13 18.8
	無回答	3 100.0	- -	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3

		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		68 24.5	14 5.1	13 4.7	2 0.7	66 23.8	19 6.9	20 7.2	27 9.7	3 1.1
年齢	20～29歳	11 57.9	1 5.3	1 5.3	- -	1 5.3	1 5.3	- -	1 5.3	- -
	30～39歳	10 34.5	- -	- -	- -	5 17.2	- -	2 6.9	2 6.9	- -
	40～49歳	8 18.2	1 2.3	2 4.5	- -	20 45.5	3 6.8	3 6.8	5 11.4	1 2.3
	50～59歳	7 17.9	1 2.6	1 2.6	2 5.1	8 20.5	- -	3 7.7	1 2.6	- -
	60～69歳	16 21.6	5 6.8	6 8.1	- -	17 23.0	2 2.7	3 4.1	8 10.8	1 1.4
	70歳以上	16 23.2	6 8.7	3 4.3	- -	14 20.3	13 18.8	9 13.0	10 14.5	1 1.4
	無回答	- -	- -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	- -

鑑賞分野について年齢による違いを見ると、「美術」は40代以上で5割台と多く、「映画、漫画、アニメなど」は50代以下で6割台と多いことが分かりました。

鑑賞

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		674 100.0	66 9.8	339 50.3	72 10.7	87 12.9	157 23.3	80 11.9	372 55.2	142 21.1
年齢	20～29歳	47 100.0	3 6.4	19 40.4	2 4.3	8 17.0	12 25.5	3 6.4	32 68.1	7 14.9
	30～39歳	94 100.0	9 9.6	36 38.3	5 5.3	14 14.9	31 33.0	8 8.5	59 62.8	13 13.8
	40～49歳	139 100.0	15 10.8	72 51.8	15 10.8	15 10.8	45 32.4	23 16.5	89 64.0	24 17.3
	50～59歳	124 100.0	14 11.3	65 52.4	10 8.1	12 9.7	26 21.0	15 12.1	76 61.3	25 20.2
	60～69歳	152 100.0	11 7.2	83 54.6	19 12.5	20 13.2	27 17.8	18 11.8	72 47.4	37 24.3
	70歳以上	114 100.0	14 12.3	61 53.5	21 18.4	18 15.8	15 13.2	13 11.4	41 36.0	36 31.6
	無回答	4 100.0	-	3 75.0	-	-	-	1 25.0	-	3 75.0

		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		228 33.8	31 4.6	69 10.2	29 4.3	95 14.1	25 3.7	82 12.2	14 2.1	5 0.7
年齢	20～29歳	19 40.4	1 2.1	1 2.1	2 4.3	3 6.4	2 4.3	4 8.5	3 6.4	-
	30～39歳	44 46.8	4 4.3	5 5.3	4 4.3	8 8.5	1 1.1	9 9.6	-	1 1.1
	40～49歳	35 25.2	4 2.9	11 7.9	8 5.8	23 16.5	4 2.9	18 12.9	7 5.0	1 0.7
	50～59歳	42 33.9	3 2.4	9 7.3	10 8.1	13 10.5	3 2.4	20 16.1	-	-
	60～69歳	53 34.9	8 5.3	26 17.1	3 2.0	20 13.2	3 2.0	16 10.5	1 0.7	1 0.7
	70歳以上	34 29.8	11 9.6	17 14.9	2 1.8	27 23.7	12 10.5	15 13.2	3 2.6	2 1.8
	無回答	1 25.0	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-

●クロス分析（×F7中学生以下の同居家族の有無）

中学生以下の同居家族の有無による違いを見ると、中学生以下の同居家族がいる世帯では実践分野と鑑賞分野どちらも「美術」が少なくなっています。その一方で、実践分野では「舞踊」、鑑賞分野では「映画、漫画、アニメなど」が多くなっていることが分かりました。

実践

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		127 100.0	13 10.2	39 30.7	5 3.9	25 19.7	8 6.3	16 12.6	21 16.5	27 21.3
中学生以下同居家族	いる	32 100.0	2 6.3	7 21.9	1 3.1	4 12.5	2 6.3	6 18.8	6 18.8	7 21.9
	いない	92 100.0	10 10.9	32 34.8	4 4.3	21 22.8	6 6.5	9 9.8	15 16.3	18 19.6
	無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	-	-	1 33.3	-	2 66.7

		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		34 26.8	9 7.1	10 7.9	2 1.6	34 26.8	6 4.7	6 4.7	14 11.0	2 1.6
中学生以下同居家族	いる	9 28.1	1 3.1	2 6.3	-	10 31.3	2 6.3	-	1 3.1	-
	いない	22 23.9	8 8.7	8 8.7	2 2.2	24 26.1	4 4.3	6 6.5	13 14.1	2 2.2
	無回答	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

鑑賞

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽
全体		376 100.0	37 9.8	173 46.0	37 9.8	40 10.6	102 27.1	49 13.0	216 57.4	76 20.2
中学生以下同居家族	いる	123 100.0	15 12.2	47 38.2	9 7.3	11 8.9	34 27.6	20 16.3	79 64.2	18 14.6
	いない	243 100.0	21 8.6	122 50.2	27 11.1	28 11.5	63 25.9	27 11.1	132 54.3	54 22.2
	無回答	10 100.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	5 50.0	4 40.0

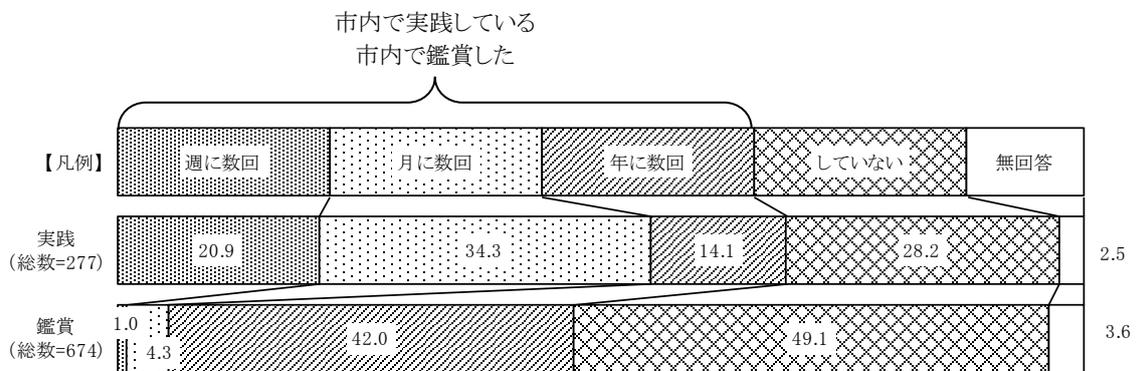
		ポピュラー音楽	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	無回答
全体		119 31.6	18 4.8	37 9.8	23 6.1	55 14.6	11 2.9	44 11.7	11 2.9	3 0.8
中学生以下同居家族	いる	32 26.0	2 1.6	7 5.7	5 4.1	16 13.0	2 1.6	13 10.6	1 0.8	2 1.6
	いない	82 33.7	15 6.2	30 12.3	18 7.4	37 15.2	9 3.7	30 12.3	9 3.7	1 0.4
	無回答	5 50.0	1 10.0	-	-	2 20.0	-	1 10.0	1 10.0	-

(3) 市内での実践及び鑑賞状況（頻度と場所）

問4-3 問8-2

この設問は、文化芸術活動を現在実践している人及び過去1年間に鑑賞した人に市内での実践及び鑑賞状況を聞いたものです。その結果、「市内で実践している」（「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた割合）がほぼ7割、「市内で鑑賞した」（「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた割合）が5割弱となっています。

実践頻度については、「週に数回」が2割、「月に数回」が3割台半ば、「年に数回」が1割台半ば、市内で実践を「していない」が3割弱となっています。鑑賞頻度については、「年に数回」と市内で鑑賞を「していない」が4割台と多くなっています。



●クロス分析（×F2年齢）

年齢による違いを見ると、60代以上で「市内で実践している」「市内で鑑賞した」が他の世代と比べて多くなっていることが分かりました。

	実践							鑑賞							
	全体	市内で実践している	週に数回	月に数回	年に数回	市内で実践していない	無回答	全体	市内で鑑賞した	週に数回	月に数回	年に数回	市内で鑑賞しなかった	無回答	
全体	277	192	58	95	39	78	7	674	319	7	29	283	331	24	
	100.0	69.3	20.9	34.3	14.1	28.2	2.5	100.0	47.3	1.0	4.3	42.0	49.1	3.6	
年齢	20~29歳	19	6	2	3	1	12	47	7	-	1	6	39	1	
		100.0	31.6	10.5	15.8	5.3	63.2	5.3	100.0	14.9	-	2.1	12.8	83.0	2.1
	30~39歳	29	15	4	6	5	14	-	94	34	-	4	30	59	1
		100.0	51.7	13.8	20.7	17.2	48.3	-	100.0	36.2	-	4.3	31.9	62.8	1.1
	40~49歳	44	29	7	13	9	15	-	139	51	1	3	47	84	4
		100.0	65.9	15.9	29.5	20.5	34.1	-	100.0	36.7	0.7	2.2	33.8	60.4	2.9
	50~59歳	39	26	9	9	8	13	-	124	63	-	5	58	58	3
	100.0	66.7	23.1	23.1	20.5	33.3	-	100.0	50.8	-	4.0	46.8	46.8	2.4	
60~69歳	74	61	15	35	11	11	2	152	91	1	10	80	56	5	
	100.0	82.4	20.3	47.3	14.9	14.9	2.7	100.0	59.9	0.7	6.6	52.6	36.8	3.3	
70歳以上	69	53	21	27	5	12	4	114	71	5	5	61	33	10	
	100.0	76.8	30.4	39.1	7.2	17.4	5.8	100.0	62.3	4.4	4.4	53.5	28.9	8.8	
無回答	3	2	-	2	-	1	-	4	2	-	1	1	2	-	
	100.0	66.7	-	66.7	-	33.3	-	100.0	50.0	-	25.0	25.0	50.0	-	

●クロス分析（× F 4 通勤先、通学先）

通勤先、通学先による違いを見ると、通勤先、通学先が市内の場合では「市内で実践している」「市内で鑑賞した」が多いのに対し、通勤先、通学先が東京都内の場合では「市内で実践している」「市内で鑑賞した」が少ないことが分かりました。

	実践							鑑賞							
	全体	市内で実践している	週に数回	月に数回	年に数回	市内で実践していない	無回答	全体	市内で鑑賞した	週に数回	月に数回	年に数回	市内で鑑賞しなかった	無回答	
全体	139 100.0	84 60.4	24 17.3	34 24.5	26 18.7	52 37.4	3 2.2	395 100.0	152 38.5	1 0.3	12 3.0	139 35.2	234 59.2	9 2.3	
勤務先・通学先	市内	50 100.0	39 78.0	14 28.0	15 30.0	10 20.0	9 18.0	2 4.0	144 100.0	67 46.5	1 0.7	5 3.5	61 42.4	74 51.4	3 2.1
	市外（県内）	21 100.0	13 61.9	4 19.0	3 14.3	6 28.6	8 38.1	-	55 100.0	19 34.5	-	-	19 34.5	32 58.2	4 7.3
	東京都内	56 100.0	24 42.9	3 5.4	13 23.2	8 14.3	31 55.4	1 1.8	163 100.0	47 28.8	-	3 1.8	44 27.0	114 69.9	2 1.2
	その他	9 100.0	5 55.6	1 11.1	3 33.3	1 11.1	4 44.4	-	26 100.0	13 50.0	-	2 7.7	11 42.3	13 50.0	-
	無回答	3 100.0	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-	7 100.0	6 85.7	-	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-

次に文化芸術活動を市内で実践している人及び鑑賞した人にその場所（主な場所1カ所）を聞いた結果、実践している場所については「市民センター」が34件と最も多く、次いで「個人宅」が30件、「森のホール21（松戸市文化会館）」が18件と続いています。

鑑賞した場所については、「森のホール21（松戸市文化会館）」が150件と最も多く、次いで「映画館」が34件、「市民会館」「文化ホール」が21件と続いています。

実践

実践している場所	件数
市民センター	34
個人宅	30
森のホール21（松戸市文化会館）	18
市民会館	9
教育施設	7
勤労会館	5
民間のスポーツクラブ	4
公民館・タウンスクール根木内	3
スポーツ施設	3
健康福祉会館（ふれあい22）	3
老人福祉センター	3
市民劇場	2
女性センターゆうまつど	2
図書館	1
まつど市民活動サポートセンター	1
青少年会館	1
博物館・歴史館	1

鑑賞

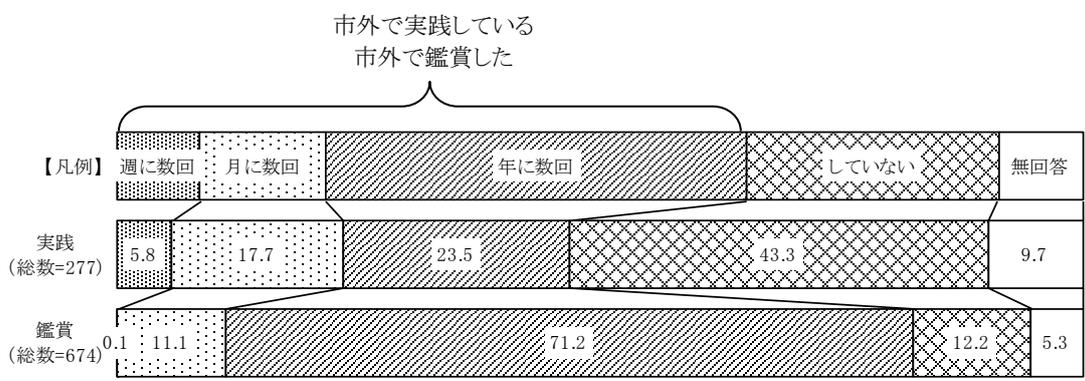
鑑賞した場所	件数
森のホール21（松戸市文化会館）	150
映画館	34
市民会館	21
文化ホール	21
市民センター	14
博物館・歴史館	14
市民劇場	9
教育施設	7
百貨店	6
駅	2
勤労会館	2
松戸駅	2
健康福祉会館（ふれあい22）	2
個人宅	1
青少年会館	1

(4) 市外での実践及び鑑賞状況（頻度と場所）

問4-4 問8-3

この設問は、文化芸術活動を現在実践している人及び過去1年間に鑑賞した人に市外での実践及び鑑賞状況を聞いたものです。その結果、「市外で実践している」（「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた割合）が5割弱、「市外で鑑賞した」（「週に数回」「月に数回」「年に数回」を合わせた割合）が8割強となっています。

実践頻度については、「年に数回」が2割強、「月に数回」が2割弱、市外で実践を「していない」が4割台半ばとなっています。鑑賞頻度については、「年に数回」が7割強、「月に数回」と市外で鑑賞を「していない」が1割強となっています。



●クロス分析（×F2年齢）

年齢による違いを見ると、20代では「市外で鑑賞した」が9割強と多くなっていることが分かりました。

	実践						鑑賞								
	全体	市外で実践している	週に数回	月に数回	年に数回	市外で実践していない	無回答	全体	市外で鑑賞した	週に数回	月に数回	年に数回	市外で鑑賞しなかった	無回答	
全体	277 100.0	130 46.9	16 5.8	49 17.7	65 23.5	120 43.3	27 9.7	674 100.0	556 82.5	1 0.1	75 11.1	480 71.2	82 12.2	36 5.3	
年齢	20~29歳	19 100.0	9 47.4	4 21.1	2 10.5	3 15.8	9 47.4	1 5.3	47 100.0	44 93.6	-	14 29.8	30 63.8	3 6.4	-
	30~39歳	29 100.0	18 62.1	4 13.8	4 13.8	10 34.5	11 37.9	-	94 100.0	82 87.2	-	16 17.0	66 70.2	12 12.8	-
	40~49歳	44 100.0	18 40.9	-	11 25.0	7 15.9	23 52.3	3 6.8	139 100.0	119 85.6	-	13 9.4	106 76.3	15 10.8	5 3.6
	50~59歳	39 100.0	20 51.3	3 7.7	8 20.5	9 23.1	17 43.6	2 5.1	124 100.0	99 79.8	-	10 8.1	89 71.8	21 16.9	4 3.2
	60~69歳	74 100.0	37 50.0	3 4.1	15 20.3	19 25.7	31 41.9	6 8.1	152 100.0	127 83.6	1 0.7	12 7.9	114 75.0	17 11.2	8 5.3
	70歳以上	69 100.0	27 39.1	2 2.9	9 13.0	16 23.2	27 39.1	15 21.7	114 100.0	83 72.8	-	10 8.8	73 64.0	13 11.4	18 15.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	2 66.7	-	4 100.0	2 50.0	-	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0

●クロス分析（× F 4 通勤先、通学先）

通勤先、通学先による違いを見ると、通勤先、通学先が「市内」の場合では市外で実践している割合が低くなるのに対して、市外で鑑賞した割合は全体と差がないことが分かりました。

		実践						鑑賞							
		全体	市外で実践している	週に数回	月に数回	年に数回	市外で実践していない	無回答	全体	市外で鑑賞した	週に数回	月に数回	年に数回	市外で鑑賞しなかった	無回答
全体		139 100.0	80 57.6	12 8.6	26 18.7	42 30.2	53 38.1	6 4.3	395 100.0	345 87.3	1 0.3	48 12.2	296 74.9	40 10.1	10 2.5
勤務先・通学先	市内	50 100.0	19 38.0	1 2.0	8 16.0	10 20.0	28 56.0	3 6.0	144 100.0	125 86.8	-	8 5.6	117 81.3	14 9.7	5 3.5
	市外（県内）	21 100.0	15 71.4	2 9.5	5 23.8	8 38.1	5 23.8	1 4.8	55 100.0	50 90.9	-	8 14.5	42 76.4	5 9.1	-
	東京都内	56 100.0	38 67.9	9 16.1	10 17.9	19 33.9	16 28.6	2 3.6	163 100.0	146 89.6	1 0.6	29 17.8	116 71.2	15 9.2	2 1.2
	その他	9 100.0	7 77.8	-	3 33.3	4 44.4	2 22.2	-	26 100.0	19 73.1	-	1 3.8	18 69.2	5 19.2	2 7.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	1 66.7	2	7 100.0	5 71.4	-	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3

次に文化芸術活動を市外で実践している人及び鑑賞した人にその場所（主な場所1カ所）を聞いた結果、実践と鑑賞どちらも千葉県内では「市川市」「流山市」「柏市」が多く、東京都内では「台東区」「中央区」「港区」「千代田区」が多くなっています。

実践

千葉県内	
市区町村	件数
市川市	7
流山市	6
柏市	5
鎌ヶ谷	3
習志野市	3
船橋市	3
三郷市	3
浦安市	1
鎌ヶ谷市	1
千葉市	1

鑑賞

千葉県内	
市区町村	件数
流山市	14
柏市	11
市川市	9
船橋市	5
千葉市	4
印西市	3
浦安市	1
佐倉市	1
野田市	1
我孫子市	1

東京都内

市区町村	件数
台東区	9
中央区	7
港区	7
千代田区	6
足立区	5
葛飾区	4
渋谷区	3
新宿区	3
江東区	2
杉並区	2
墨田区	2
江戸川区	1
大田区	1
品川区	1
中野区	1

東京都内

市区町村	件数
台東区	146
港区	59
千代田区	46
中央区	29
渋谷区	22
葛飾区	18
文京区	14
墨田区	12
新宿区	7
江東区	4
品川区	4
世田谷区	3
豊島区	2
中野区	2
八王子市	2
江戸川区	1
三鷹市	1
目黒区	1
北区	1

その他の市町村

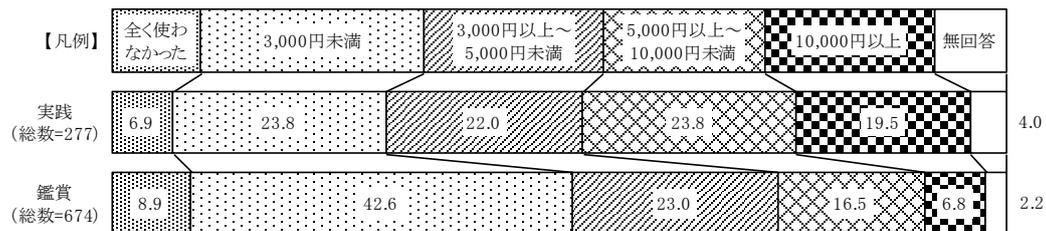
市町村	件数
富士見市（埼玉県）	1
日光市（栃木県）	1
仙台市（宮城県）	1

その他の市町村

市町村	件数
足柄下郡（神奈川県）	5
横浜市（神奈川県）	4
さいたま市（埼玉県）	4
三郷市（埼玉県）	4
川崎市（神奈川県）	1
鎌倉市（神奈川県）	1
小田原市（神奈川県）	1
富士見市（埼玉県）	1
伊勢市（三重県）	1
取手市（茨城県）	1
日立市（茨城県）	1

(5) 月間の実践及び鑑賞費用 問4-5 問8-4

この設問は、文化芸術活動を現在実践している人及び過去1年間に鑑賞した人に月間の実践及び鑑賞費用を聞いたものです。その結果、実践についてはいずれの選択肢も2割前後で、「全く使わなかった」が1割未満でした。鑑賞については「3,000円未満」が4割強と最も高く、費用が上がるにつれ、割合は低下しています。



●クロス分析 (× F7 中学生以下の同居家族の有無)

中学生以下の同居家族の有無による違いを見ると、実践と鑑賞どちらも、中学生以下の同居家族がいる世帯で「3,000円未満」が多くなっていることが分かりました。

実践

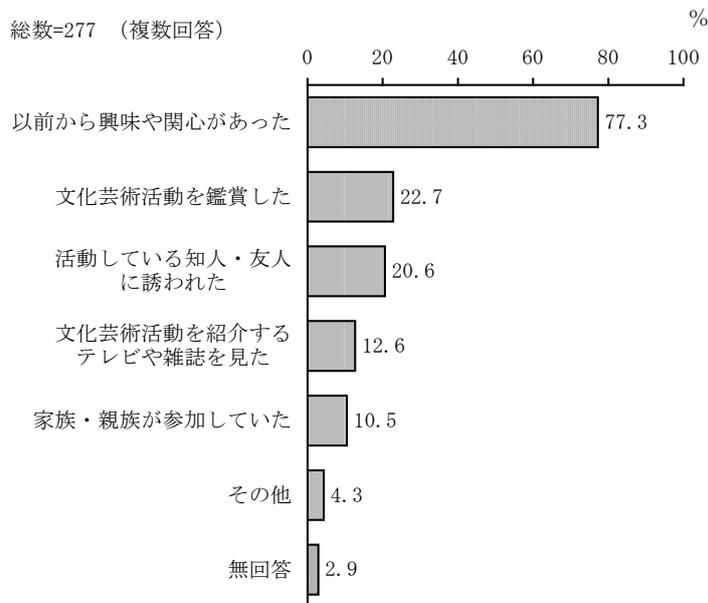
		全体	全く使わない	3,000円未満	3,000円以上～5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上	無回答
全体		127	13	25	25	31	29	4
		100.0	10.2	19.7	19.7	24.4	22.8	3.1
中学生以下同居家族	いる	32	3	9	5	8	7	-
		100.0	9.4	28.1	15.6	25.0	21.9	-
	いない	92	10	16	19	21	22	4
		100.0	10.9	17.4	20.7	22.8	23.9	4.3
無回答		3	-	-	1	2	-	-
		100.0	-	-	33.3	66.7	-	-

鑑賞

		全体	全く使わない	3,000円未満	3,000円以上～5,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	10,000円以上	無回答
全体		376	32	176	71	54	32	11
		100.0	8.5	46.8	18.9	14.4	8.5	2.9
中学生以下同居家族	いる	123	11	77	17	9	6	3
		100.0	8.9	62.6	13.8	7.3	4.9	2.4
	いない	243	21	98	49	43	24	8
		100.0	8.6	40.3	20.2	17.7	9.9	3.3
無回答		10	-	1	5	2	2	-
		100.0	-	10.0	50.0	20.0	20.0	-

(6) 実践のきっかけ 問4-1

この設問は、文化芸術活動を現在実践している人に実践のきっかけを複数回答で聞いたものです。その結果、「以前から興味や関心があった」が8割弱と最も多く、「文化芸術活動を鑑賞した」「活動している知人・友人に誘われた」が2割台となっています。



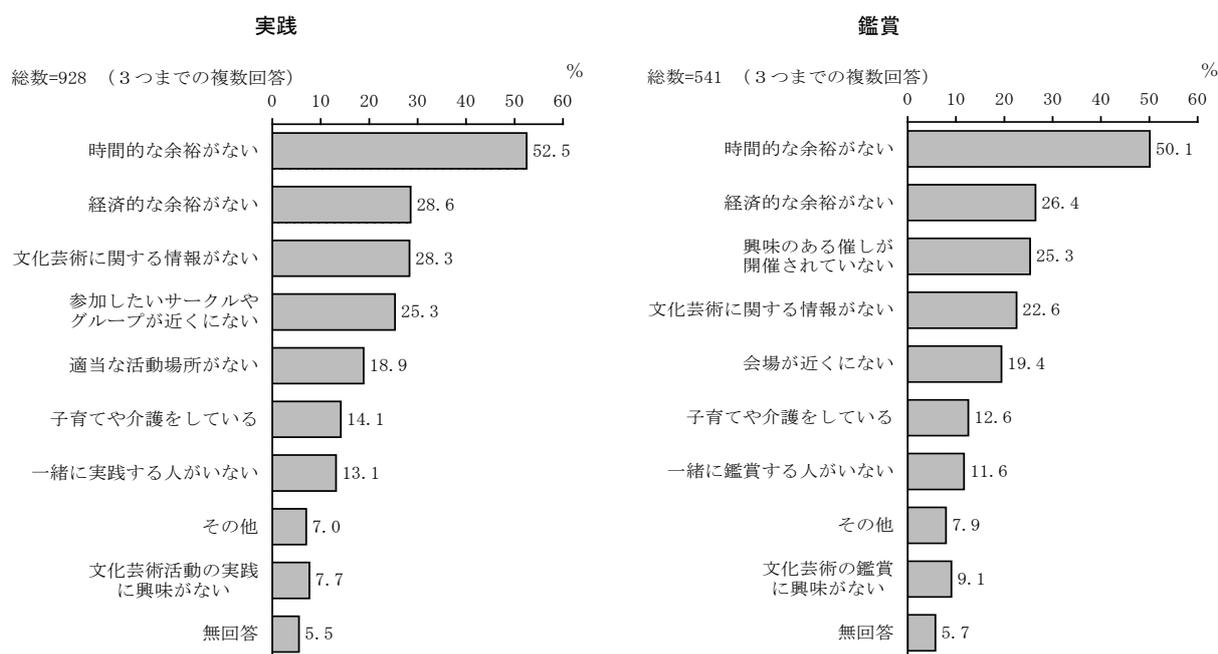
●クロス分析 (× F2 年齢)

年齢による違いを見ると、「活動している知人・友人に誘われた」が年齢とともに多くなり、70代以上では3割に達していることが分かりました。

	全体	以前から興味や関心があった	家族・親族が参加していた	活動している知人・友人に誘われた	文化芸術活動を鑑賞した	文化芸術活動を紹介するテレビや雑誌を見た	その他	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	277	77.3	10.5	20.6	22.7	12.6	4.3	2.9	
年齢	20～29歳	19	14	3	2	6	5	2	-
	30～39歳	29	20	4	3	5	1	1	-
	40～49歳	44	38	4	7	9	10	1	2
	50～59歳	39	34	5	7	9	5	1	1
	60～69歳	74	58	10	17	21	7	1	1
	70歳以上	69	47	3	21	13	7	6	4
	無回答	3	3	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-

(7) 実践していない理由及び鑑賞しなかった理由 問4-6 問8-5

この設問は、文化芸術活動を現在実践していない人及び過去1年間に鑑賞しなかった人にその理由を3つまでの複数回答で聞いたものです。その結果、実践と鑑賞どちらも「時間的な余裕がない」が5割台と最も多く、「経済的な余裕がない」「文化芸術に関する情報がない」が2割台で続いています。また、実践については「参加したいサークルやグループが近くにない」、鑑賞については「興味のある催しが開催されていない」も多くなっています。



●クロス分析（×F1性別×F2年齢）

性別ごとに年齢による違いを見ると、実践については男女ともに50代以下で「時間的な余裕がない」が多くなっています。また、30代で「子育てや介護をしている」が、60代以上で「適当な活動場所がない」が多くなっていることが分かりました。

実践

	全体	時間的な余裕がない	経済的な余裕がない	子育てや介護をしている	適当な活動場所がない	参加したいサークルやグループが近くにない	文化芸術に関する情報が無い	一緒に実践する人がいない	その他	文化芸術活動の実践に興味がない	無回答
全体	406 100.0	210 51.7	120 29.6	29 7.1	90 22.2	90 22.2	132 32.5	65 16.0	25 6.2	40 9.9	19 4.7
男性	20～29歳	36 100.0	20 55.6	12 33.3	2 5.6	8 22.2	7 19.4	14 38.9	6 16.7	- -	2 5.6
	30～39歳	55 100.0	39 70.9	21 38.2	11 20.0	5 9.1	10 18.2	20 36.4	4 7.3	1 1.8	6 10.9
	40～49歳	71 100.0	48 67.6	24 33.8	7 9.9	13 18.3	19 26.8	20 28.2	7 9.9	1 1.4	9 12.7
	50～59歳	72 100.0	46 63.9	23 31.9	4 5.6	16 22.2	17 23.6	26 36.1	17 23.6	2 2.8	7 9.7
	60～69歳	86 100.0	40 46.5	29 33.7	4 4.7	24 27.9	20 23.3	30 34.9	17 19.8	7 8.1	3 3.5
	70歳以上	86 100.0	17 19.8	11 12.8	1 1.2	24 27.9	17 19.8	22 25.6	14 16.3	14 16.3	13 15.1

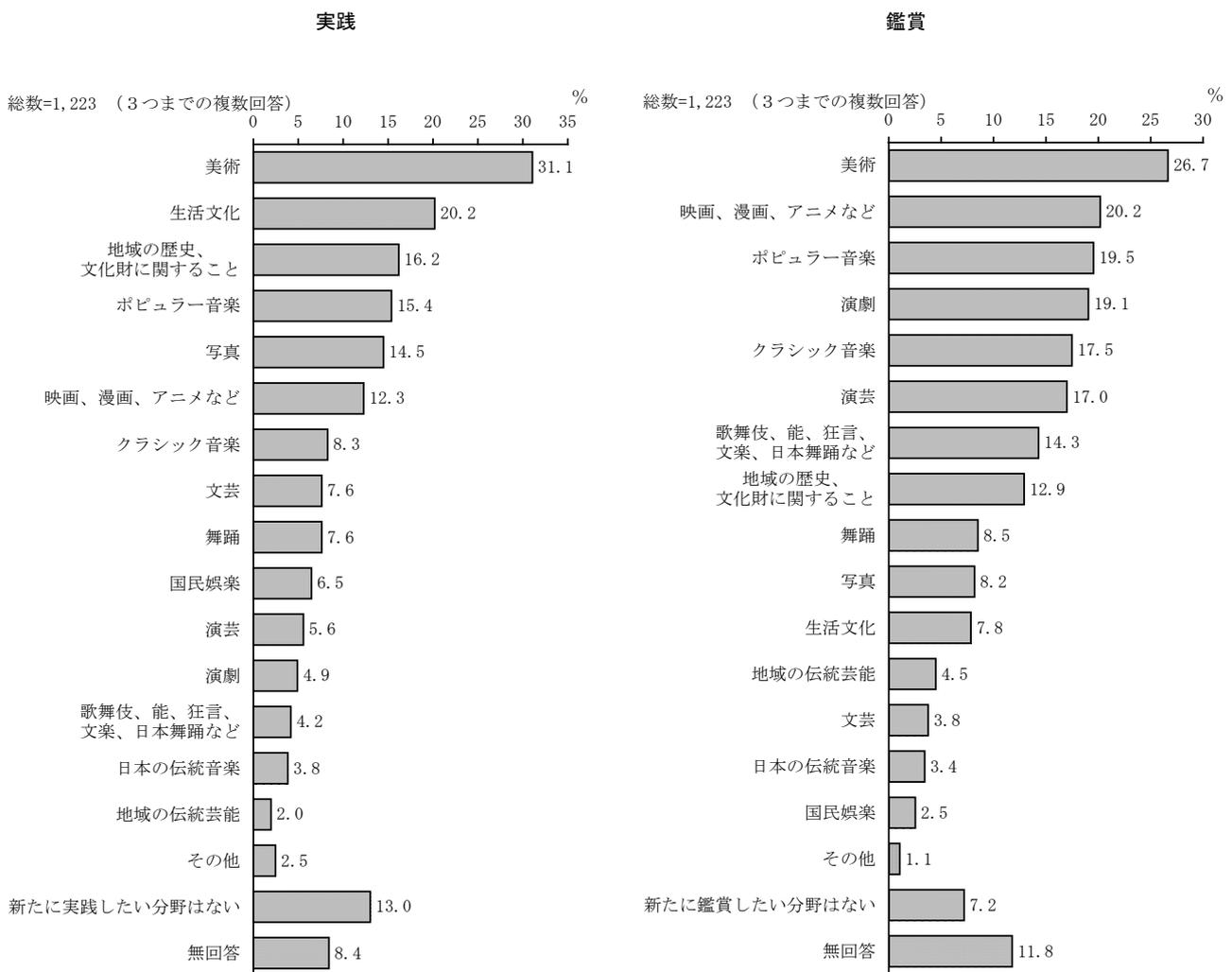
	全体	時間的な余裕がない	経済的な余裕がない	子育てや介護をしている	適当な活動場所がない	参加したいサークルやグループが近くにない	文化芸術に関する情報が無い	一緒に実践する人がいない	その他	文化芸術活動の実践に興味がない	無回答
全体	514 100.0	275 53.5	144 28.0	101 19.6	84 16.3	145 28.2	130 25.3	55 10.7	38 7.4	30 5.8	32 6.2
女性	20～29歳	36 100.0	25 69.4	10 27.8	5 13.9	2 5.6	7 19.4	7 19.4	3 8.3	- -	6 16.7
	30～39歳	81 100.0	49 60.5	17 21.0	33 40.7	11 13.6	16 19.8	20 24.7	6 7.4	3 3.7	5 6.2
	40～49歳	130 100.0	86 66.2	46 35.4	37 28.5	16 12.3	43 33.1	42 32.3	8 6.2	6 4.6	5 3.8
	50～59歳	80 100.0	46 57.5	26 32.5	9 11.3	14 17.5	27 33.8	23 28.8	12 15.0	4 5.0	4 5.0
	60～69歳	107 100.0	52 48.6	32 29.9	8 7.5	24 22.4	37 34.6	23 21.5	9 8.4	11 10.3	6 5.6
	70歳以上	80 100.0	17 21.3	13 16.3	9 11.3	17 21.3	15 18.8	15 18.8	17 21.3	14 17.5	4 5.0

鑑賞

		全体	時間的な余裕がない	経済的な余裕がない	子育てや介護をしている	会場が近くにない	興味のある催しが開催されていない	文化芸術に関する情報が少ない	一緒に鑑賞する人がいない	その他	文化芸術の鑑賞に興味がない	無回答
全体		251 100.0	128 51.0	67 26.7	14 5.6	49 19.5	65 25.9	68 27.1	38 15.1	13 5.2	27 10.8	9 3.6
男性	20～29歳	23 100.0	12 52.2	8 34.8	2 8.7	5 21.7	7 30.4	11 47.8	4 17.4	-	-	-
	30～39歳	37 100.0	22 59.5	12 32.4	8 21.6	4 10.8	11 29.7	5 13.5	4 10.8	-	4 10.8	1 2.7
	40～49歳	42 100.0	26 61.9	14 33.3	2 4.8	6 14.3	11 26.2	14 33.3	6 14.3	1 2.4	6 14.3	2 4.8
	50～59歳	32 100.0	21 65.6	8 25.0	1 3.1	6 18.8	10 31.3	9 28.1	3 9.4	1 3.1	3 9.4	1 3.1
	60～69歳	52 100.0	29 55.8	13 25.0	1 1.9	8 15.4	12 23.1	13 25.0	7 13.5	3 5.8	3 5.8	1 1.9
	70歳以上	65 100.0	18 27.7	12 18.5	-	20 30.8	14 21.5	16 24.6	14 21.5	8 12.3	11 16.9	4 6.2
全体		281 100.0	139 49.5	73 26.0	54 19.2	56 19.9	71 25.3	53 18.9	23 8.2	28 10.0	21 7.5	22 7.8
女性	20～29歳	23 100.0	12 52.2	5 21.7	6 26.1	2 8.7	5 21.7	1 4.3	-	-	4 17.4	1 4.3
	30～39歳	37 100.0	21 56.8	7 18.9	13 35.1	4 10.8	2 5.4	6 16.2	-	2.7	5 13.5	4 10.8
	40～49歳	42 100.0	40 95.2	21 50.0	22 52.4	8 19.0	22 52.4	19 45.2	7 16.7	2 4.8	4 9.5	3 7.1
	50～59歳	32 100.0	20 62.5	14 43.8	4 12.5	9 28.1	11 34.4	5 15.6	4 12.5	1 3.1	3 9.4	3 9.4
	60～69歳	52 100.0	32 61.5	17 32.7	7 13.5	16 30.8	21 40.4	11 21.2	4 7.7	12 23.1	3 5.8	2 3.8
	70歳以上	65 100.0	14 21.5	9 13.8	2 3.1	17 26.2	10 15.4	11 16.9	8 12.3	12 18.5	2 3.1	9 13.8

(8) 今後新たに実践及び鑑賞したい分野 問5 問9

この設問は、今後新たに実践したい分野及び鑑賞したい分野を3つまでの複数回答で聞いたものです。その結果、実践したい分野については、「美術」が3割強と最も多く、次いで「生活文化」が2割、「地域の歴史、文化財に関すること」「ポピュラー音楽」「写真」が1割台半ばと続いています。鑑賞したい分野については、「美術」が2割台半ばと最も多く、次いで「映画、漫画、アニメなど」「ポピュラー音楽」「演劇」「クラシック音楽」「演芸」が2割前後で続いています。



●クロス分析（×問3・問7活動状況×F1性別×F2年齢）

ここでは文化芸術活動を現在実践していない人及び過去1年間に鑑賞しなかった人を対象に、今後新たに実践したい分野及び鑑賞したい分野について、性別ごとに年齢による違いをまとめました。

実践している割合の少なかった男性の40代、50代では「地域の歴史、文化財に関すること」が多くなっており、女性の30代では「美術」が多くなっていることが分かりました。また、鑑賞した割合の少なかった70代以上では、「演芸」が男女ともに多くなっていることが分かりました。

現在実践していない人

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽	ポピュラー音楽
全体		406 100.0	34 8.4	111 27.3	34 8.4	83 20.4	17 4.2	8 2.0	75 18.5	31 7.6	87 21.4
男性	20～29歳	36 100.0	2 5.6	4 11.1	4 11.1	9 25.0	6 16.7	- -	17 47.2	3 8.3	10 27.8
	30～39歳	55 100.0	3 5.5	17 30.9	1 1.8	13 23.6	2 3.6	4 7.3	18 32.7	4 7.3	14 25.5
	40～49歳	71 100.0	4 5.6	22 31.0	3 4.2	16 22.5	3 4.2	3 4.2	11 15.5	5 7.0	15 21.1
	50～59歳	72 100.0	8 11.1	18 25.0	6 8.3	15 20.8	2 2.8	1 1.4	15 20.8	4 5.6	15 20.8
	60～69歳	86 100.0	8 9.3	24 27.9	7 8.1	19 22.1	4 4.7	- -	7 8.1	10 11.6	16 18.6
	70歳以上	86 100.0	9 10.5	26 30.2	13 15.1	11 12.8	- -	- -	7 8.1	5 5.8	17 19.8
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

		日本の伝統音楽	歌謡、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	新たに実践したい分野はない	無回答
全体		21 5.2	13 3.2	14 3.4	37 9.1	51 12.6	96 23.6	7 1.7	56 13.8	19 4.7
男性	20～29歳	- -	- -	- -	2 5.6	5 13.9	3 8.3	- -	6 16.7	- -
	30～39歳	2 3.6	2 3.6	2 3.6	3 5.5	4 7.3	7 12.7	2 3.6	8 14.5	- -
	40～49歳	1 1.4	4 5.6	2 2.8	8 11.3	7 9.9	16 22.5	- -	11 15.5	3 4.2
	50～59歳	1 1.4	1 1.4	2 2.8	7 9.7	7 9.7	33 45.8	3 4.2	9 12.5	3 4.2
	60～69歳	11 12.8	4 4.7	6 7.0	11 12.8	12 14.0	22 25.6	1 1.2	12 14.0	3 3.5
	70歳以上	6 7.0	2 2.3	2 2.3	6 7.0	16 18.6	15 17.4	1 1.2	10 11.6	10 11.6
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

現在実践していない人

	全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽	ポピュラー音楽	
全体	514 100.0	38 7.4	191 37.2	23 4.5	64 12.5	29 5.6	55 10.7	52 10.1	49 9.5	66 12.8	
女性	20～29歳	36 100.0	3 8.3	13 36.1	1 2.8	8 22.2	2 5.6	5 13.9	4 11.1	5 13.9	3 8.3
	30～39歳	81 100.0	3 3.7	37 45.7	-	15 18.5	5 6.2	13 16.0	7 8.6	10 12.3	10 12.3
	40～49歳	130 100.0	5 3.8	57 43.8	6 4.6	16 12.3	15 11.5	22 16.9	20 15.4	13 10.0	21 16.2
	50～59歳	80 100.0	5 6.3	31 38.8	6 7.5	11 13.8	4 5.0	8 10.0	9 11.3	8 10.0	11 13.8
	60～69歳	107 100.0	10 9.3	39 36.4	7 6.5	10 9.3	1 0.9	5 4.7	7 6.5	9 8.4	11 10.3
	70歳以上	80 100.0	12 15.0	14 17.5	3 3.8	4 5.0	2 2.5	2 2.5	5 6.3	4 5.0	10 12.5
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

	日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	新たに実践したい分野はない	無回答	
全体	15 2.9	24 4.7	6 1.2	162 31.5	12 2.3	62 12.1	10 1.9	64 12.5	34 6.6	
女性	20～29歳	- -	3 8.3	-	15 41.7	-	2 5.6	4 11.1	-	
	30～39歳	1 1.2	5 6.2	2 2.5	21 25.9	1 1.2	2 2.5	12 14.8	4 4.9	
	40～49歳	3 2.3	5 3.8	4 3.1	43 33.1	2 1.5	11 8.5	3 2.3	13 3.1	
	50～59歳	3 3.8	3 3.8	-	23 28.8	4 5.0	18 22.5	1 1.3	7 8.8	4 5.0
	60～69歳	5 4.7	2 1.9	-	39 36.4	1 0.9	18 16.8	2 1.9	14 13.1	8 7.5
	70歳以上	3 3.8	6 7.5	-	21 26.3	4 5.0	11 13.8	3 3.8	14 17.5	14 17.5
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

過去1年間に鑑賞しなかった人

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽	ポピュラー音楽
全体		251 100.0	8 3.2	63 25.1	50 19.9	36 14.3	26 10.4	4 1.6	64 25.5	31 12.4	63 25.1
男性	20～29歳	23 100.0	1 4.3	6 26.1	4 17.4	4 17.4	5 21.7	-	10 43.5	4 17.4	10 43.5
	30～39歳	37 100.0	-	6 16.2	2 5.4	4 10.8	7 18.9	2 5.4	21 56.8	6 16.2	9 24.3
	40～49歳	42 100.0	1 2.4	14 33.3	7 16.7	7 16.7	5 11.9	2 4.8	11 26.2	7 16.7	10 23.8
	50～59歳	32 100.0	-	8 25.0	7 21.9	6 18.8	5 15.6	-	8 25.0	3 9.4	8 25.0
	60～69歳	52 100.0	2 3.8	10 19.2	13 25.0	10 19.2	3 5.8	-	8 15.4	6 11.5	11 21.2
	70歳以上	65 100.0	4 6.2	19 29.2	17 26.2	5 7.7	1 1.5	-	6 9.2	5 7.7	15 23.1
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

		日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	新たに実践したい分野はない	無回答
全体		11 4.4	9 3.6	14 5.6	17 6.8	13 5.2	53 21.1	3 1.2	31 12.4	14 5.6
男性	20～29歳	1 4.3	-	-	1 4.3	-	1 4.3	-	2 8.7	-
	30～39歳	-	1 2.7	1 2.7	1 2.7	1 2.7	3 8.1	-	3 8.1	2 5.4
	40～49歳	-	3 7.1	1 2.4	2 4.8	1 2.4	9 21.4	-	6 14.3	2 4.8
	50～59歳	1 3.1	1 3.1	2 6.3	2 6.3	2 6.3	10 31.3	2 6.3	5 15.6	1 3.1
	60～69歳	5 9.6	2 3.8	3 5.8	4 7.7	1 1.9	15 28.8	-	6 11.5	5 9.6
	70歳以上	4 6.2	2 3.1	7 10.8	7 10.8	8 12.3	15 23.1	1 1.5	9 13.8	4 6.2
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

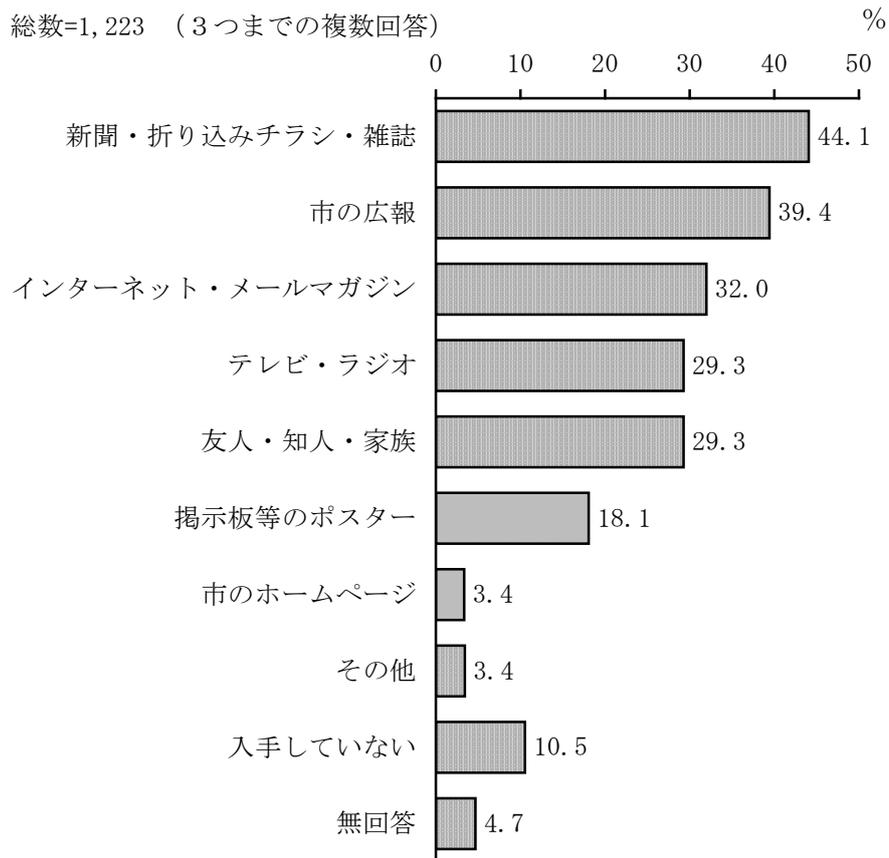
過去1年間に鑑賞しなかった人

		全体	文芸	美術	演芸	写真	演劇	舞踊	映画、漫画、アニメなど	クラシック音楽	ポピュラー音楽
全体		281 100.0	13 4.6	74 26.3	43 15.3	19 6.8	63 22.4	32 11.4	56 19.9	60 21.4	57 20.3
女性	20～29歳	22 100.0	- -	5 22.7	2 9.1	3 13.6	8 36.4	6 27.3	7 31.8	5 22.7	1 4.5
	30～39歳	35 100.0	1 2.9	10 28.6	2 5.7	3 8.6	9 25.7	6 17.1	5 14.3	9 25.7	5 14.3
	40～49歳	64 100.0	1 1.6	23 35.9	6 9.4	3 4.7	22 34.4	10 15.6	22 34.4	16 25.0	19 29.7
	50～59歳	36 100.0	- -	8 22.2	5 13.9	3 8.3	10 27.8	5 13.9	6 16.7	7 19.4	11 30.6
	60～69歳	64 100.0	4 6.3	20 31.3	14 21.9	4 6.3	8 12.5	4 6.3	8 12.5	15 23.4	14 21.9
	70歳以上	60 100.0	7 11.7	8 13.3	14 23.3	3 5.0	6 10.0	1 1.7	8 13.3	8 13.3	7 11.7
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

		日本の伝統音楽	歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など	地域の伝統芸能	生活文化	国民娯楽	地域の歴史、文化財に関すること	その他	新たに実践したい分野はない	無回答
全体		9 3.2	44 15.7	8 2.8	37 13.2	2 0.7	24 8.5	4 1.4	21 7.5	19 6.8
女性	20～29歳	- -	3 13.6	- -	2 9.1	1 4.5	- -	- -	2 9.1	1 4.5
	30～39歳	- -	7 20.0	2 5.7	5 14.3	- -	1 2.9	- -	5 14.3	3 8.6
	40～49歳	1 1.6	5 7.8	3 4.7	6 9.4	- -	2 3.1	- -	1 1.6	4 6.3
	50～59歳	1 2.8	7 19.4	1 2.8	4 11.1	- -	6 16.7	- -	2 5.6	2 5.6
	60～69歳	2 3.1	11 17.2	1 1.6	11 17.2	- -	9 14.1	1 1.6	6 9.4	6 9.4
	70歳以上	5 8.3	11 18.3	1 1.7	9 15.0	1 1.7	6 10.0	3 5.0	5 8.3	16 26.7
	無回答	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *

(9) 文化芸術に関する情報の入手方法 問10

この設問は、文化芸術に関する情報の入手方法を3つまでの複数回答で聞いたものです。その結果、「新聞・折り込みチラシ・雑誌」が4割台半ばと最も多く、「市の広報」がほぼ4割、「インターネット・メールマガジン」が3割強、「テレビ・ラジオ」「友人・知人・家族」がほぼ3割と続いています。



●クロス分析（×F2年齢）

年齢による違いを見ると、「市の広報」は60代以上で5割台と多くなっています。「新聞・折り込みチラシ・雑誌」は40代以上で5割前後と多く、「インターネット・メールマガジン」は20代、30代で5割台と多くなっていることが分かりました。

	全体	市の広報	掲示板等の ポスター	市のホームページ	テレビ・ラジオ	新聞・折り込み チラシ・雑誌	インターネット・ メールマガジン	友人・知人・家族	その他	入手していない	無回答	
全体	1,223 100.0	482 39.4	221 18.1	41 3.4	358 29.3	539 44.1	391 32.0	358 29.3	42 3.4	129 10.5	57 4.7	
年齢	20～29歳	92 100.0	11 12.0	17 18.5	3 3.3	25 27.2	25 54.3	50 35.9	33 2.2	16 17.4	1 1.1	
	30～39歳	167 100.0	39 23.4	27 16.2	5 3.0	50 29.9	48 56.3	94 26.3	44 1.8	24 14.4	6 3.6	
	40～49歳	245 100.0	84 34.3	49 20.0	8 3.3	73 29.8	105 42.9	110 44.9	59 24.1	9 3.7	29 11.8	10 4.1
	50～59歳	192 100.0	73 38.0	39 20.3	9 4.7	64 33.3	96 50.0	84 43.8	51 26.6	6 3.1	15 7.8	9 4.7
	60～69歳	270 100.0	146 54.1	50 18.5	9 3.3	82 30.4	141 52.2	36 13.3	90 33.3	11 4.1	18 6.7	13 4.8
	70歳以上	246 100.0	124 50.4	36 14.6	7 2.8	60 24.4	118 48.0	15 6.1	81 32.9	11 4.5	26 10.6	17 6.9
	無回答	11 100.0	5 45.5	3 27.3	-	4 36.4	6 54.5	2 18.2	-	-	1 9.1	1 9.1

第3章 地域の文化芸術の現状

(1) 地域の文化芸術の現状に対する満足度 問1

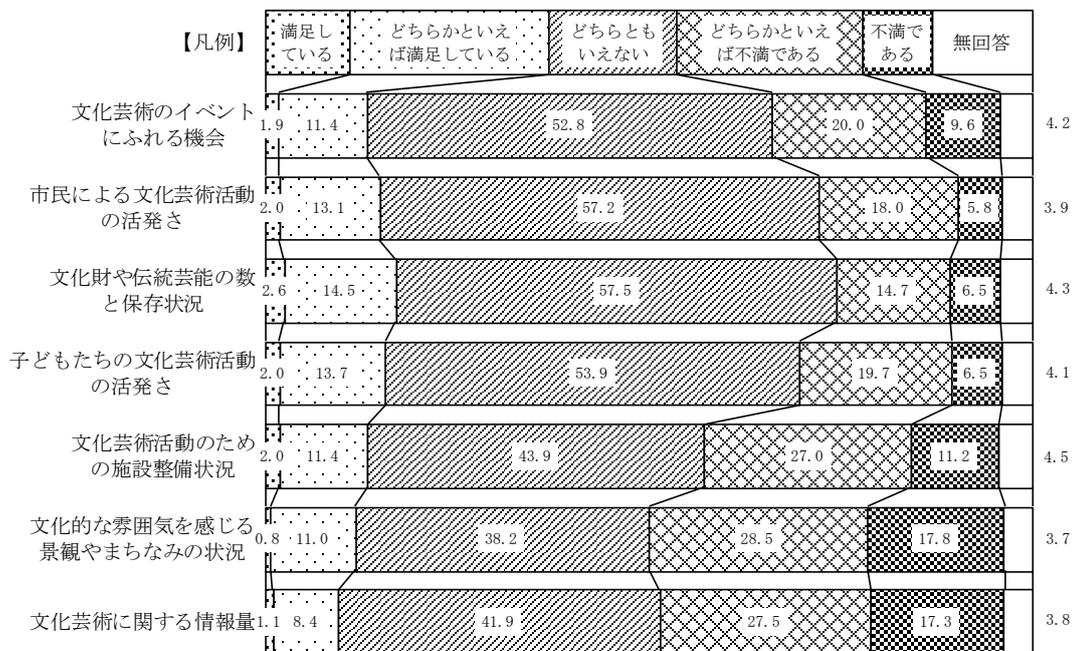
この設問は、地域の文化芸術に対する満足度を聞いたものです。その結果、全体的な傾向として「どちらともいえない」が多くなっています。

満足度の高い項目（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合）は、『文化財や伝統芸能の数と保存状況』で2割弱となっています。

一方、満足度の低い項目（「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた割合）は、『文化的な雰囲気を感じる景観やまちなみの状況』『文化芸術に関する情報量』で4割台半ばとなっています。

総数=1223

単位:%



●クロス分析（×F8居住地区）

【文化芸術のイベントにふれる機会】

文化芸術のイベントにふれる機会については、全体では「満足」が1割強、「不満」がほぼ3割でした。

居住地区による違いを見ると、矢切では「満足」が2割強と多く、六実と東部では「不満」が4割強と多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	163 13.3	646 52.8	363 29.7	51 4.2	
居住地区	本庁	351 100.0	54 15.4	190 54.1	88 25.1	19 5.4
	常盤平	219 100.0	38 17.4	112 51.1	60 27.4	9 4.1
	小金	106 100.0	10 9.4	67 63.2	27 25.5	2 1.9
	小金原	86 100.0	14 16.3	50 58.1	19 22.1	3 3.5
	六実	84 100.0	9 10.7	37 44.0	36 42.9	2 2.4
	馬橋	77 100.0	8 10.4	40 51.9	28 36.4	1 1.3
	新松戸	147 100.0	10 6.8	76 51.7	54 36.7	7 4.8
	矢切	64 100.0	14 21.9	35 54.7	14 21.9	1 1.6
	東部	88 100.0	6 6.8	39 44.3	37 42.0	6 6.8
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【市民による文化芸術活動の活発さ】

市民による文化芸術活動の活発さについては、全体では「満足」が1割台半ば、「不満」が2割強でした。

居住地区による違いを見ると、常盤平と矢切では「満足」が2割台と多く、東部では「不満」が3割台半ばと多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	184 15.0	700 57.2	291 23.8	48 3.9	
居住地区	本庁	351 100.0	60 17.1	197 56.1	75 21.4	19 5.4
	常盤平	219 100.0	45 20.5	116 53.0	50 22.8	8 3.7
	小金	106 100.0	16 15.1	69 65.1	20 18.9	1 0.9
	小金原	86 100.0	17 19.8	46 53.5	20 23.3	3 3.5
	六実	84 100.0	7 8.3	54 64.3	22 26.2	1 1.2
	馬橋	77 100.0	10 13.0	45 58.4	20 26.0	2 2.6
	新松戸	147 100.0	13 8.8	83 56.5	45 30.6	6 4.1
	矢切	64 100.0	15 23.4	39 60.9	9 14.1	1 1.6
	東部	88 100.0	1 1.1	51 58.0	30 34.1	6 6.8
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【文化財や伝統芸能の数と保存状況】

文化財や伝統芸能の数と保存状況については、全体では「満足」が2割弱、「不満」が2割強でした。

居住地区による違いを見ると、矢切では「満足」が3割強と多く、東部では「不満」が3割弱と多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	209 17.1	703 57.5	259 21.2	52 4.3	
居住地区	本庁	351 100.0	62 17.7	194 55.3	77 21.9	18 5.1
	常盤平	219 100.0	39 17.8	123 56.2	46 21.0	11 5.0
	小金	106 100.0	21 19.8	69 65.1	13 12.3	3 2.8
	小金原	86 100.0	19 22.1	43 50.0	21 24.4	3 3.5
	六実	84 100.0	13 15.5	51 60.7	18 21.4	2 2.4
	馬橋	77 100.0	14 18.2	47 61.0	15 19.5	1 1.3
	新松戸	147 100.0	13 8.8	92 62.6	36 24.5	6 4.1
	矢切	64 100.0	20 31.3	35 54.7	8 12.5	1 1.6
	東部	88 100.0	8 9.1	49 55.7	25 28.4	6 6.8
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【子どもたちの文化芸術活動の活発さ】

子どもたちの文化芸術活動の活発さについては、全体では「満足」が1割台半ば、「不満」がほぼ2割台半ばでした。

居住地区による違いを見ると、矢切では「満足」が2割強と多く、新松戸と東部では「不満」が3割強と多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	193 15.8	659 53.9	321 26.2	50 4.1	
居住地区	本庁	351 100.0	58 16.5	187 53.3	89 25.4	17 4.8
	常盤平	219 100.0	41 18.7	118 53.9	51 23.3	9 4.1
	小金	106 100.0	20 18.9	57 53.8	25 23.6	4 3.8
	小金原	86 100.0	11 12.8	48 55.8	24 27.9	3 3.5
	六実	84 100.0	14 16.7	44 52.4	25 29.8	1 1.2
	馬橋	77 100.0	14 18.2	47 61.0	14 18.2	2 2.6
	新松戸	147 100.0	12 8.2	81 55.1	48 32.7	6 4.1
	矢切	64 100.0	14 21.9	33 51.6	16 25.0	1 1.6
	東部	88 100.0	9 10.2	44 50.0	29 33.0	6 6.8
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【文化芸術活動のための施設整備状況】

文化芸術活動のための施設整備状況については、全体では「満足」が1割強、「不満」が4割弱でした。

居住地区による違いを見ると、常盤平、小金原、馬橋、矢切では「満足」が2割弱と多く、六実、新松戸、東部では「不満」が4割台と多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	164 13.4	537 43.9	467 38.2	55 4.5	
居住地区	本庁	351 100.0	48 13.7	149 42.5	134 38.2	20 5.7
	常盤平	219 100.0	39 17.8	91 41.6	77 35.2	12 5.5
	小金	106 100.0	15 14.2	51 48.1	37 34.9	3 2.8
	小金原	86 100.0	15 17.4	39 45.3	29 33.7	3 3.5
	六実	84 100.0	8 9.5	38 45.2	37 44.0	1 1.2
	馬橋	77 100.0	14 18.2	33 42.9	28 36.4	2 2.6
	新松戸	147 100.0	6 4.1	68 46.3	66 44.9	7 4.8
	矢切	64 100.0	12 18.8	30 46.9	21 32.8	1 1.6
	東部	88 100.0	7 8.0	38 43.2	38 43.2	5 5.7
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【文化的な雰囲気を感じる景観やまちなみの状況】

文化的な雰囲気を感じる景観やまちなみの状況については、全体では「満足」が1割強、「不満」が4割台半ばでした。

居住地区による違いを見ると、矢切では「満足」が2割弱と多く、新松戸では「不満」が6割弱と多いことが分かりました。

	全体	満足	どちらとも いえない	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	145 11.9	467 38.2	566 46.3	45 3.7	
居住地区	本庁	351 100.0	36 10.3	125 35.6	174 49.6	16 4.6
	常盤平	219 100.0	36 16.4	84 38.4	90 41.1	9 4.1
	小金	106 100.0	15 14.2	47 44.3	41 38.7	3 2.8
	小金原	86 100.0	14 16.3	40 46.5	29 33.7	3 3.5
	六実	84 100.0	8 9.5	40 47.6	35 41.7	1 1.2
	馬橋	77 100.0	8 10.4	30 39.0	38 49.4	1 1.3
	新松戸	147 100.0	9 6.1	47 32.0	86 58.5	5 3.4
	矢切	64 100.0	12 18.8	23 35.9	28 43.8	1 1.6
	東部	88 100.0	7 8.0	31 35.2	45 51.1	5 5.7
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

【文化芸術に関する情報量】

文化芸術に関する情報量については、全体では「満足」がほぼ1割、「不満」が4割台半ばでした。

居住地区による違いを見ると、常盤平では「満足」が1割台半ばと多く、馬橋と東部では「不満」が5割と多いことが分かりました。

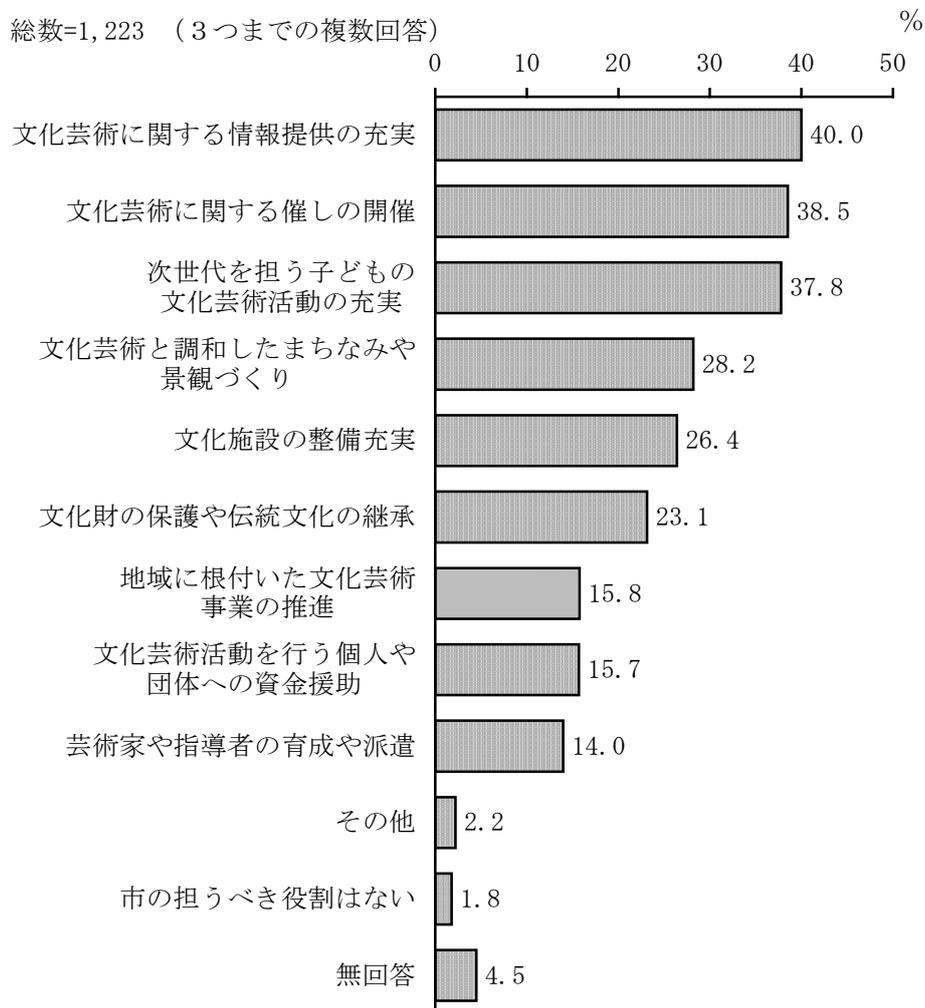
	全体	満足	どちらとも いえません	不満	無回答	
全体	1,223 100.0	117 9.6	512 41.9	548 44.8	46 3.8	
居住地区	本庁	351 100.0	34 9.7	147 41.9	153 43.6	17 4.8
	常盤平	219 100.0	33 15.1	83 37.9	95 43.4	8 3.7
	小金	106 100.0	6 5.7	51 48.1	46 43.4	3 2.8
	小金原	86 100.0	10 11.6	39 45.3	34 39.5	3 3.5
	六美	84 100.0	5 6.0	37 44.0	41 48.8	1 1.2
	馬橋	77 100.0	9 11.7	27 35.1	39 50.6	2 2.6
	新松戸	147 100.0	8 5.4	64 43.5	70 47.6	5 3.4
	矢切	64 100.0	8 12.5	29 45.3	26 40.6	1 1.6
	東部	88 100.0	4 4.5	35 39.8	44 50.0	5 5.7
	無回答	1 100.0	0 0.0	-	0 0.0	1 100.0

第4章 今後の方向性に関する事項

1 市が担うべき役割

(1) 市が担うべき役割 問11

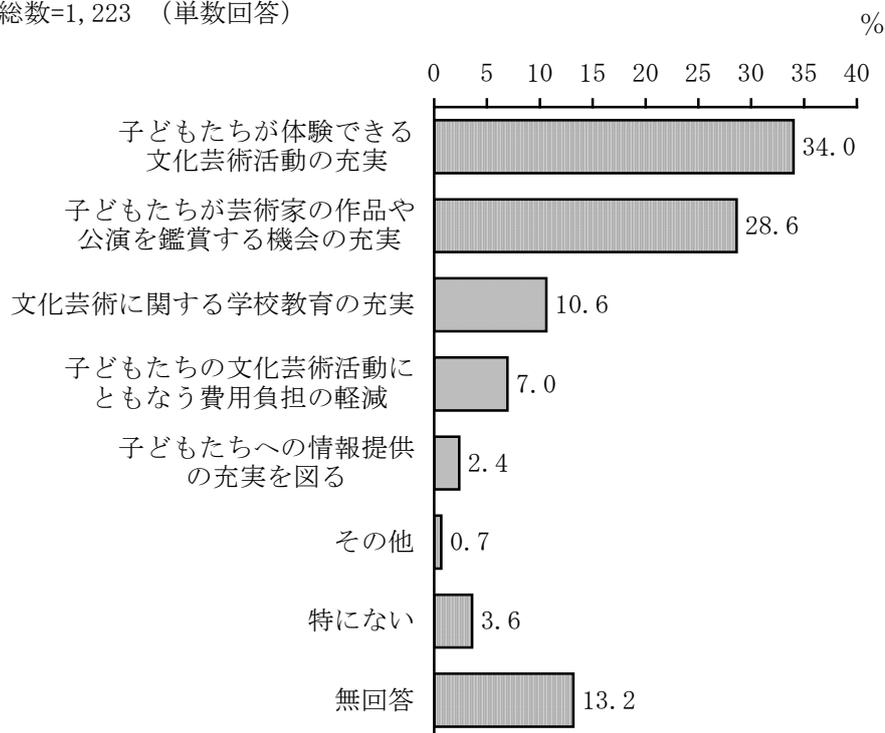
この設問は、市を「文化の薫るまち」とするために、市が担うべき役割を3つまでの複数回答で聞いたものです。その結果、「文化芸術に関する情報提供の充実」「文化芸術に関する催しの開催」「次世代を担う子どもの文化芸術活動の充実」が4割前後と多くなっています。



(2) 子どもたちによる文化芸術活動の充実のために市が重視すべき取り組み 問 12

この設問は、子どもたちによる文化芸術活動の充実のために市が重視すべき取り組みを聞いたものです。その結果、「子どもたちが体験できる文化芸術活動の充実」が3割台半ばと最も多く、「子どもたちが芸術家の作品や公演を鑑賞する機会の充実」が3割弱、「文化芸術に関する学校教育の充実」が1割と続いています。

総数=1,223 (単数回答)



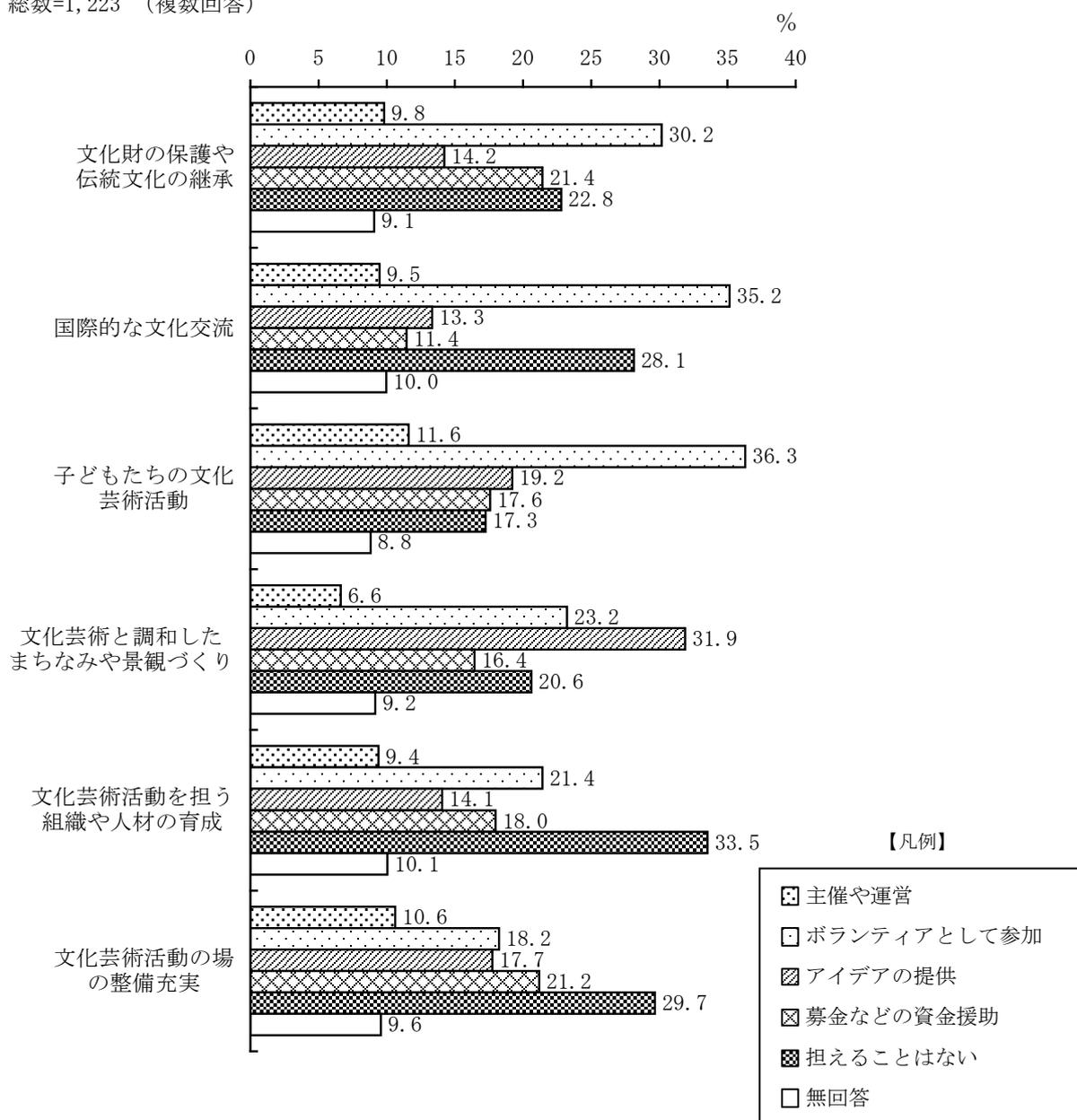
2 地域住民として担える役割

(1) 地域住民として担える役割 問 13

この設問は、市を「文化の薫るまち」とするために、地域住民として担える役割を聞いたものです。その結果、『文化財の保護や伝統文化の継承』『国際的な文化交流』『子どもたちの文化芸術活動』については「ボランティアとして参加」が多く、『文化芸術と調和したまちなみや景観づくり』では「アイデアの提供」が多くなっています。

一方、『文化芸術活動を担う組織や人材の育成』『文化芸術活動の場の整備充実』では「担えることはない」が多くなっています。

総数=1,223 (複数回答)



●クロス分析（×F2年齢）

【ア. 文化財の保護や伝統文化の継承】

「ボランティアとして参加」が40代で4割強と多くなっています。また、「主催や運営」が20代で1割台半ばと他の年代に比べて多くなっています。

		全体	主催 や 運営	ボ ラ ン テ ィ ア と し て 参 加	ア イ デ ア の 提 供	募 金 な ど の 資 金 援 助	担 え る こ と は な い	無 回 答
	全体	1,223 100.0	120 9.8	369 30.2	174 14.2	262 21.4	279 22.8	111 9.1
年 齢	20～29歳	92 100.0	15 16.3	29 31.5	16 17.4	27 29.3	15 16.3	3 3.3
	30～39歳	167 100.0	20 12.0	52 31.1	31 18.6	38 22.8	52 31.1	3 1.8
	40～49歳	245 100.0	23 9.4	102 41.6	42 17.1	61 24.9	36 14.7	4 1.6
	50～59歳	192 100.0	17 8.9	73 38.0	32 16.7	35 18.2	48 25.0	5 2.6
	60～69歳	270 100.0	20 7.4	77 28.5	24 8.9	54 20.0	65 24.1	38 14.1
	70歳以上	246 100.0	23 9.3	34 13.8	27 11.0	45 18.3	61 24.8	57 23.2
	無回答	11 100.0	2 18.2	2 18.2	2 18.2	2 18.2	2 18.2	1 9.1

【イ. 国際的な文化交流】

「ボランティアとして参加」が20代から40代で5割弱と多くなっています。また、「主催や運営」が20代で1割台半ばと他の年代に比べて多くなっています。

		全体	主催 や 運営	ボ ラ ン テ ィ ア と し て 参 加	ア イ デ ア の 提 供	募 金 な ど の 資 金 援 助	担 え る こ と は な い	無 回 答
	全体	1,223 100.0	116 9.5	430 35.2	163 13.3	140 11.4	344 28.1	122 10.0
年 齢	20～29歳	92 100.0	14 15.2	45 48.9	15 16.3	13 14.1	16 17.4	2 2.2
	30～39歳	167 100.0	14 8.4	82 49.1	31 18.6	16 9.6	46 27.5	3 1.8
	40～49歳	245 100.0	29 11.8	119 48.6	38 15.5	34 13.9	49 20.0	7 2.9
	50～59歳	192 100.0	16 8.3	79 41.1	28 14.6	28 14.6	49 25.5	7 3.6
	60～69歳	270 100.0	20 7.4	64 23.7	26 9.6	34 12.6	96 35.6	37 13.7
	70歳以上	246 100.0	20 8.1	38 15.4	24 9.8	15 6.1	84 34.1	65 26.4
	無回答	11 100.0	3 27.3	3 27.3	1 9.1	-	4 36.4	1 9.1

【ウ. 子どもたちの文化芸術活動】

「ボランティアとして参加」が40代で5割弱と多くなっています。また、「主催や運営」が20代、30代で2割弱と他の年代に比べて多くなっています。

		全体	主催 や運営	ボラ ンティア として 参加	アイ デアの 提供	募 金など の 資金 援助	担 える こと は な い	無 回 答
全体		1,223 100.0	142 11.6	444 36.3	235 19.2	215 17.6	211 17.3	108 8.8
年 齢	20～29歳	92 100.0	18 19.6	36 39.1	22 23.9	21 22.8	12 13.0	3 3.3
	30～39歳	167 100.0	31 18.6	67 40.1	52 31.1	26 15.6	30 18.0	3 1.8
	40～49歳	245 100.0	35 14.3	119 48.6	61 24.9	39 15.9	26 10.6	4 1.6
	50～59歳	192 100.0	20 10.4	85 44.3	27 14.1	32 16.7	35 18.2	6 3.1
	60～69歳	270 100.0	22 8.1	86 31.9	39 14.4	55 20.4	52 19.3	33 12.2
	70歳以上	246 100.0	16 6.5	45 18.3	34 13.8	39 15.9	55 22.4	58 23.6
	無回答	11 100.0	-	6 54.5	-	3 27.3	1 9.1	1 9.1

【エ. 文化芸術と調和したまちなみや景観づくり】

「アイデアの提供」が40代で4割台半ばと多くなっています。また、「募金などの資金援助」が20代で2割台半ばと他の年代に比べて多くなっています。

		全体	主催 や運営	ボラ ンティア として 参加	アイ デアの 提供	募 金など の 資金 援助	担 える こと は な い	無 回 答
全体		1,223 100.0	81 6.6	284 23.2	390 31.9	201 16.4	252 20.6	112 9.2
年 齢	20～29歳	92 100.0	5 5.4	25 27.2	33 35.9	24 26.1	14 15.2	3 3.3
	30～39歳	167 100.0	12 7.2	46 27.5	61 36.5	34 20.4	38 22.8	5 3.0
	40～49歳	245 100.0	20 8.2	54 22.0	109 44.5	48 19.6	37 15.1	6 2.4
	50～59歳	192 100.0	13 6.8	48 25.0	64 33.3	28 14.6	46 24.0	7 3.6
	60～69歳	270 100.0	21 7.8	70 25.9	66 24.4	33 12.2	60 22.2	33 12.2
	70歳以上	246 100.0	9 3.7	39 15.9	53 21.5	31 12.6	57 23.2	57 23.2
	無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	4 36.4	3 27.3	-	1 9.1

【オ. 文化芸術活動を担う組織や人材の育成】

「ボランティアとして参加」が20代と50代でほぼ3割と多く、「募金などの資金援助」が40代で3割弱と多くなっています。

	全体	主催や運営	ボランティアとして参加	アイデアの提供	募金などの資金援助	担えることはない	無回答	
全体	1,223 100.0	115 9.4	262 21.4	172 14.1	220 18.0	410 33.5	123 10.1	
年齢	20～29歳	92 100.0	10 10.9	27 29.3	12 13.0	23 25.0	28 30.4	3 3.3
	30～39歳	167 100.0	22 13.2	45 26.9	36 21.6	28 16.8	59 35.3	5 3.0
	40～49歳	245 100.0	26 10.6	58 23.7	48 19.6	67 27.3	66 26.9	7 2.9
	50～59歳	192 100.0	15 7.8	56 29.2	26 13.5	22 11.5	73 38.0	6 3.1
	60～69歳	270 100.0	23 8.5	45 16.7	28 10.4	38 14.1	105 38.9	37 13.7
	70歳以上	246 100.0	18 7.3	29 11.8	21 8.5	41 16.7	73 29.7	65 26.4
	無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	6 54.5	-

【カ. 文化芸術活動の場の整備充実】

「募金などの資金援助」が20代から40代で3割弱と多くなっています。

	全体	主催や運営	ボランティアとして参加	アイデアの提供	募金などの資金援助	担えることはない	無回答	
全体	1,223 100.0	130 10.6	223 18.2	217 17.7	259 21.2	363 29.7	117 9.6	
年齢	20～29歳	92 100.0	14 15.2	20 21.7	19 20.7	27 29.3	20 21.7	3 3.3
	30～39歳	167 100.0	19 11.4	34 20.4	39 23.4	46 27.5	54 32.3	3 1.8
	40～49歳	245 100.0	36 14.7	49 20.0	49 20.0	69 28.2	61 24.9	5 2.0
	50～59歳	192 100.0	14 7.3	36 18.8	49 25.5	35 18.2	62 32.3	8 4.2
	60～69歳	270 100.0	24 8.9	46 17.0	37 13.7	55 20.4	87 32.2	32 11.9
	70歳以上	246 100.0	22 8.9	36 14.6	23 9.3	27 11.0	73 29.7	65 26.4
	無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-	6 54.5	1 9.1

3 実施を期待するイベント等

(1) 実施を期待するイベント等 問 14

この設問は、実施を期待するイベント等を聞いたものです。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。その結果、「子どもが参加できるイベント」が 50 件と最も多く、次いで「市内の文化・芸術資源を活用したイベント」が 45 件、「学校や地域で身近に楽しめるイベント」が 32 件と続いています。

イベントの種類	件数
子どもが参加できるイベント	50
市内の文化・芸術資源を活用したイベント	45
学校や地域で身近に楽しめるイベント	32
市民参加型のイベント	31
費用負担の少ないイベント	21
文化人や著名人が参加するイベント	17
国際交流を中心としたイベント	10
専門家によるワークショップ（体験型講座）	10
教育機関や民間企業等と連携したイベント	6

※ここではイベントの種類を集計対象としています。

○主な意見

①子どもが参加できるイベント（50件）

「子ども連れで行ける劇場(子ども向けでなく母親が個人として楽しめるもの。子どもの泣き声など、周囲に気を使ったり、気にしなくても良い環境で鑑賞できる場所があればいい)。(女性・30代)

「地域の子ども（小中高）達の主体となる各種イベントを一括して行えるイベント会場の設定と参画。」(男性・70代以上)

「乳幼児も一緒に鑑賞できるコンサートとかあると良いと思います。やはり小さい子がいるとなかなか行くことは無理なので、多少うるさくしても大丈夫なように、親子が楽しめるイベントがあると嬉しいです。」(女性・30代)

②市内の文化・芸術資源を活用したイベント（45件）

「市内の文化財をめぐるウォーキングイベント。市内の文化財を利用した季節のイベント。市内の文化財を利用した芸術鑑賞のイベント。市の歴史文化に関する講演会。市内の歴史マップ（子ども達が作って地域で配布するなど）。」（女性・40代）

「21世紀の森と広場をもっと自由に楽しめる場所にして欲しい。参加型のイベントがあれば子どもを連れて行きたい。学校によっては楽器が揃って無くて、楽器に触れる事さえない子どももいるので、その様な機会があればよいと思う。」（女性・40代）

「戸定邸を観るだけのものにしないで、ここで文化芸術活動の演芸、ポピュラー音楽など、場違いではないかと思われるイベントを行うのも面白いと思う。」（男性・60代）

③学校や地域で身近に楽しめるイベント（32件）

「市単位よりも、地域単位でのイベントが出来るような環境を作る。たとえば、森のホール21でやるイベントよりも、商店街や地域のお祭りなどでのジャズの演奏とか。」（女性・40代）

「小学校、中学校等に文化芸術の経験者や過去に携わってきた人に出向いてもらって、身近に感じたり触れる機会を増やせたらよいと思います。」（女性・40代）

「公園などで気軽に鑑賞できる場があれば嬉しい。ジャズ演奏や大道芸が見られる感じ。」（男性・30代）

④市民参加型のイベント（31件）

「市民で作る映画の映画祭。市民で作る演劇の演劇祭。」（女性・40代）

「市民によるコンサートや美術展。」（女性・50代）

「高校や大学などと市が一緒になってみんなで参加できる文化祭のようなイベントをやって、お年寄り子ども達とみんなが楽しめるものがあればよいと思います。」（女性・50代）

⑤費用負担の少ないイベント（21件）

「1ドルコンサートのような、気軽に参加でき、手軽に音楽に触れる機会があったらいいなと思います。」（女性・30代）

「演劇・舞踊・音楽会などを定期的に安い料金で観られるとよいと思います。」（女性・70代以上）

⑥文化人や著名人が参加するイベント（17件）

「市内で一流のパフォーマンスが見られたら嬉しい（劇団四季や、有名な落語家など出来れば、休日や夏休みに）。羽生さんと子ども将棋大会。会ってみたいと思う有名人を絡めたイベントが良いです。」（女性・40代）

「松戸市在住の芸術家や伝統工芸家の作品展を開催して欲しいと思います（日本伝統工芸展の中に松戸在住の人も入っていました）。」（女性・70代以上）

⑦国際交流を中心としたイベント（10件）

「各地で行われるドイツのオクトーバーフェスト（ビール祭り）の様な、他国のイベントを取り入れ、子ども達に国際交流の場を与える。」（男性・20代）

「国際交流による伝統の交流。」（男性・60代）

⑧専門家によるワークショップ（体験型講座）（10件）

「プロがマンツーマンで教えてくれる体験活動（小学校での茶華道のお点前や歌舞伎体験など）。」（女性・30代）

「日本の伝統芸能を年間を通じて体験できるようなワークショップ。」（女性・40代）

⑨教育機関や民間企業等と連携したイベント（6件）

「文化芸術関連講演会。大学等と連携したオープンカレッジ等。」（男性・70代以上）

「バンダイ等のメーカーなどとコラボレーションしたアニメイベントなど。」（男性・40代）

4 文化芸術の振興に関する意見や要望

(1) 文化芸術の振興に関する意見や要望 問 15

この設問は、文化芸術の振興を目指した今後のまちづくりに関する考えや要望等を聞いたものです。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。その結果、「施設の整備・充実」が61件と最も多く、次いで「住みやすいまちづくりの促進」が59件、「住民の意識向上や参加の促進・人材育成」が39件、「文化芸術と調和したまちなみや景観づくり」が34件と続いています。

主な意見	件数
施設の整備・充実	61
住みやすいまちづくりの促進	59
住民の意識向上や参加の促進・人材育成	39
文化芸術と調和したまちなみや景観づくり	34
広報や情報提供の充実	31
子どもたちの文化芸術活動の充実	25
催しなど文化芸術を身近に触れられる機会の充実	24
活動の場や発表の機会の充実	19
伝統文化の継承や地域に根ざした事業の推進	11
施設利用料の減免・資金援助	9

○主な意見

①施設の整備・充実（61件）

「音楽や演芸は21世紀の森と広場があり十分だと思いますが、映画館や美術館がほとんどなく、東京や他県に行って鑑賞しています。その施設の充実をお願いします。」（男性・50代）

「自分のまちに文化芸術に取り組める施設（拠点）がほしい。」（女性・60代）

「市民センターが古い。使い道がない。図書館ももっと充実させた施設にして、小さなホールとして利用するべき。誰もが徒歩や自転車で行ける生活範囲でないと、文化は広がらない。盛り上がらない。」（女性・40代）

「文化芸術の情報発信の場として、図書館の充実は必須だと思います。松戸市は各地域に図書館があって日常的に利用しやすくなっていますが、情報の中心

としての中央図書館を規模・内容ともに力を入れて整備して欲しいと思います。」(男性・50代)

②住みやすいまちづくりの促進 (59件)

「イベントなどを行っている場所までの交通機関の利用で費用がかかりすぎる。」(女性・30代)

「市民ホールや会館・博物館や資料館など、相互の連絡が遠く不便である。文化センターのように中心となる場所に集めるなど考えて欲しい。」(男性・60代)

「まずイベントに参加するために駅を利用する事が多い。駅に駐輪場もない、エレベーターもない。松戸は酷すぎる。常磐線・新京成ともにエレベーターがないなんて。ベビーカーも車椅子もこれでは出歩くのが億劫になります。イベントが森のホール 21 の場合は無料シャトルバスを出してほしい。」(女性・30代)

「森のホール 21 はとても立派ですが、交通の便が悪いので夜は暗くて恐いです。」(女性・50代)

③住民の意識向上や参加の促進・人材育成 (39件)

「参加しやすい取組が必要。また、個人参加でも気兼ねなく行ける場所をつくる。」(女性・50代)

「文化芸術が松戸市の象徴となったら、素敵だと思います。あまり堅苦しいものだけでなく、若い人も気軽に関わりやすい分野の催しがあると良いと思います。」(女性・20代)

「やりたいことや習ってみたいことはあっても、参加できる教室、サークルが少ないし、1人で参加できるのか不安を感じる。初心者でも取り組めるイベント、そしてその周知がもう少し行き届くとよいと思う。『文化芸術』という点では、市川市の方が優れている印象を受けるので。」(女性・30代)

④文化芸術と調和したまちなみや景観づくり (34件)

「文化芸術を目指すのなら、まず街の景観をもっと良くして欲しいです。新松戸の駅前などはトイレの場所、デザインも良くない。タバコを吸う人の休憩所になっているし、放置自転車。駅前からは残念ですが文化の薫りはほしくないですね。図書館の返却ポストを駅前に設置して欲しいです。」(女性・50代)

「本土寺の参道の並木道が、折角素晴らしく整備されているのに、並木道沿いの景観がとても残念に思う。道の駅のような地元野菜を大規模に販売したり、地元食糧を使った食事処など、一年を通じて人々が集まれる町並みに出来たら良いと思う。」(女性・40代)

「町の玄関口、どこの駅も六実駅ももれなく殺風景である。まずは壁面を使って、特に子ども達の絵やお習字等の作品を展示し、明るい駅にしてほしい。」(女性・70代以上)

⑤広報や情報提供の充実 (31件)

「今できる事で言えば、市民のサークル活動などを地区毎に分かりやすくネットに載せることは大事ではないでしょうか。例えば馬橋で歌などをクリックしたら音楽活動しているサークル、教室など出てくるとか。今の市のHPでは分かりづら過ぎて各市民センターに行かなきゃいけないので大変です。あとバリアフリー、子どもも一緒なども大事だと思います。」(女性・40代)

「市報の配布→新聞をとっていないと手に入れにくい。申込みにより自宅へ配布されてますが、若い人の多くが新聞離れをしています。市の文化情報も含めて、各戸配布を進める事は出来ませんか？」(女性・60代)

「積極的に情報提供をお願いしたい。催しがある際は、チラシなどだけではなく、駅(松戸駅だけでなく私鉄の駅にも)ポスターの掲示を行って欲しい。メルマガやツイッターなども利用してもらいたい。」(女性・30代)

⑥子どもたちの文化芸術活動の充実 (25件)

「芸術を目指す小・中・高校生はスポーツとは違い、何の優遇もなくそれでも芸術を好きで頑張っている人がいます。一生懸命にという意味ではスポーツも芸術も同じはず。もっと学校や教育現場からのサポートがスポーツと同じくらい与えられてもよいと思います。」(女性・40代)

「子供が芸術に触れる機会が少ないように思います。体験・経験すると感性が磨かれて人として成長し結果的に文化的な街につながるように思います。」(女性・40代)

「文化芸術振興をするには子どもの頃から良い芸術家の作品などを鑑賞させること、それには森のホール21などの入場料の助成等々、もっと安価で鑑賞できるチャンスを与えること(ミュージカル・バレエなど)。」(女性・70代以上)

⑦催しなど文化芸術を身近に触れられる機会の充実（24件）

「気軽にみんなが行きやすい場所があったらたくさんの方が文化芸術にふれ合う事が増えるかも知れないですね。」（女性・40代）

「町会単位の規模で、市民センターや集会所などで、市が費用を負担して、無料の講習会や講演会など開催していただけたら、時間を作って行ってみたいと思います。」（女性・60代）

「休日の学校などを使用して習い事などが出来たらいいと思う。近いと子育て中でも通うのが楽なので。」（女性・20代）

⑧活動の場や発表の機会の充実（19件）

「駅前などでストリートライブ、パフォーマンスができる環境がほしい。」（男性・30代）

「各団体の発表の場が増えると地域文化の活性化につながる。」（男性・40代）

「研修するための場所の提供。廃校利用等。公用で松戸市民センターを利用出来ない事が多くとても不満です。」（女性・70代以上）

⑨伝統文化の継承や地域に根ざした事業の推進（11件）

「現在の日本は駅を降りれば同じ様な景色が広がっていると思います。松戸の歴史的特長を活かしたまちづくりと、近くに江戸川、松戸市内に網目のように流れる河川と一体となったまちづくりが出来ると良いと思います。そして子ども達が安心して外で遊べるまちづくりをお願いします。」（女性・40代）

「松戸は歴史の古い町だと思うので、その歴史・地理的背景をもっと知りたいと思う。そのような案内板が目立つ場所にあるとよいと思う。」（女性・40代）

⑩施設利用料の減免・資金援助（9件）

「予算があまりない現状の中で難しいと思いますが、市民が活動の主催としているところへの助成金。」（女性・30代）

「サークル、楽器練習の出来る場所が、安く借りられるといい。」（女性・70代以上）

第5章 結果の考察

市民の文化芸術活動の実践及び鑑賞に対する意識は高く、全体では8割以上の人が文化芸術活動の実践及び鑑賞を「大切である」と回答しています [p. 17]。

(ただし、市民調査の有効回収率が4割であることや社会教育関係団体調査において「住民の意識向上や参加の促進・指導者の育成」に対する要望が多いことを踏まえると、本調査の回答者が文化芸術活動の実践及び鑑賞に対する意識の高い層である可能性を考慮する必要があります。)

文化芸術活動の実践及び鑑賞状況をみると、現在実践している人が2割強、過去1年間に鑑賞した人が5割台半ばであり [p. 19]、文化芸術活動の実践及び鑑賞を「大切である」と考えている一方で、さまざまな要因によって実践や鑑賞行動には結び付いていない市民の姿が浮かび上がってきます。

以下では、アンケート調査から得られた結果をもとに、本市の特性を踏まえた現状分析や必要な取り組みについて整理しました。

①歴史・伝統に関する活動状況

松戸市域は、原始・古代から人びとの生活の場であり、文化財が多数存在しています。市では、これまでも博物館、戸定歴史館での常設展示をはじめ、さまざまな学習機会を提供してきており、市民の関心も一定水準にあります。

現在、文化活動を実践している市民のうち、「地域の歴史、文化財に関すること」と回答した市民は1割足らず、鑑賞している市民は、1割強という状況となっています。また、「日本の伝統音楽」「歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など」「地域の伝統芸能」については、実践、鑑賞とも少数にとどまっています [p. 22]。

一方、今後新たに実践したい分野では、「地域の歴史、文化財に関すること」が16.2%となり、鑑賞したい分野では「歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など」が14.3%、「地域の歴史、文化財に関すること」が12.9%と、比較的関心が高いことがうかがえます [p. 37]。特に50代の男性では、半数近くの人が「地域の歴史、文化財に関すること」を実践したいと回答しています [p. 38]。

これらのことから、松戸市の地域の歴史、文化財に関する潜在的な興味関心を顕在化させるための方策、とりわけ、40以上の男性が参加しやすい取り組みを進めることが有効だと考えられます。

市民の声

- 歌舞伎、能などを鑑賞できる場所があると良い。金額が高いので、市民には負担がかかるので気軽に楽しみたい理由から、年1回でも良いから出向きたいです。
- もっと子ども達に日本古来の三味線、踊り、浪曲などの人情物を聴かせてあげたい。浪曲等は特に聞かせたい。とても良いと思う。
- 戸定邸を春、秋、無料開放して飲食自由にさせる。竹林の活用。春にはタケノコもいっぱい生えるので提供する。秋には庭で祭を日中やる。写生会、俳句の会をやる。うまい物と音楽をやる。
- 伝統芸能はなかなか見る機会がないので祭などで観られたら嬉しい。
- 市内の文化財をめぐるウォーキングイベント。市内の文化財を利用した季節のイベント。市内の文化財を利用した芸術鑑賞のイベント。市の歴史文化に関する講演会。市内の歴史マップ(子ども達が作って地域で配布するなど)。

②文化芸術活動を実践している人の割合及びその特性の把握

市では、音楽や舞台芸術などの鑑賞機会や講座・講演会などの開催を通じて、市民に学習機会を提供しているほか、社会教育関係団体の活動を支援していますが、その結果として市内で文化芸術活動を実践している人（地域住民、在住する芸術家）がどれくらいいるのか詳細な把握はできていませんでした。

本調査により文化芸術活動の実践状況は、全体では2割強にとどまっていることが分かりました [p. 19]。実践している層としては、男女ともに 60 代以上で多く [p. 19-20]、主な実践分野は全体の結果と同様に「美術」「ポピュラー音楽」「生活文化」でした [p. 22-24]。実践を始めたきっかけとして「以前から興味や関心があった」のほか、「文化芸術活動を鑑賞した」「活動している知人・友人に誘われた」が多いことから [p. 33]、鑑賞の機会の充実や社会教育関係団体と地域住民との交流の機会を設けることが必要と考えられます。

一方、実践していない層としては、男性の 40 代、50 代及び女性の 30 代で多く [p. 19-20]、実践していない理由として、「時間的な余裕がない」「経済的な余裕がない」「文化芸術に関する情報がない」のほか、男性の 50 代では「一緒に実践する人がいない」が、女性の 30 代では「子育てや介護をしている」が他の

年代と比べて多くなっています [p. 34-36]。

これらのことから、身近な場所で気軽に参加できる場の整備・充実、年代ごとの文化芸術に関する情報の入手方法に着目した情報提供の工夫、子育て世代が実践できる機会の充実が必要と考えられます。

市民の声：身近な場所で気軽に参加できる場の整備充実

- 市民センターや近くの支所で映画鑑賞やミニコンサートを行っていただくと手軽に参加できます。
- 1ドルコンサートのような、気軽に参加でき、手軽に音楽に触れる機会があったらいいと思います。
- 市有文化財に出会える市立博物館はイベント等のみの入場でも入場料を徴収される。これはかねてより不満で、年に数回でも無料のイベントを考えてほしい。

文化芸術に関する情報の入手方法（年齢別）

年齢	文化芸術に関する情報の入手方法
20代	インターネット・メールマガジン
30代	インターネット・メールマガジン
40代	新聞・折り込みチラシ・雑誌
50代	新聞・折り込みチラシ・雑誌
60代	市の広報、新聞・折り込みチラシ・雑誌
70代以上	市の広報、新聞・折り込みチラシ・雑誌

市民の声：子育て世代が実践できる機会の充実

- 子ども連れで行ける劇場（子ども向けでなく母親が個人として楽しめるもの。子どもの泣き声など、周囲に気を遣ったり、気にしなくても良い環境で鑑賞できる場所があればいい）。
- 乳幼児も一緒に鑑賞できるコンサートとかあると良いと思います。やはり小さい子がいるとなかなか行くことは無理なので、多少うるさくしても大丈夫なように、親子が楽しめるイベントがあると嬉しいです。

③子どもたちによる文化芸術活動の充実のために市が重視すべき取り組みの把握

市内の中学生が音楽コンクールでは最高峰といわれる全国大会に出場し、輝かしい成績を収めています。また、学校では市教育委員会や各種団体主催のいろいろな発表会、コンクール、作品展等に積極的に参加しており、それが児童生徒の活動の目標や励みになっています。児童生徒が主体となって文化芸術活動に取り組めるよう、支援の充実が必要と考えられます。

そのうえで、市に求められている重視すべき取り組みとしては「子どもたちが体験できる文化芸術活動の充実」「子どもたちが芸術家の作品や公演を鑑賞する機会の充実」が多くなっています [p. 50]。

市民の声

- 私が以前住んでいたところでは神社やお寺で、よく能などの芸能などが行われていました。子ども達にも神社や、お寺に足を運ぶ機会などを増やすと言う事も良いのでは。
- 著名人を学校に招いて直接指導を受ける機会等があれば、刺激を受けると思います。

④文化施設の整備充実に対する回答者の意向およびその特性

文化芸術活動の場として市内で実践を「していない」と回答した人は3割弱、市内で鑑賞を「していない」と回答した人は約半数にのぼっています [p. 27]。これは、交通の利便性が高い松戸市の特性を反映したものと考えられます。

市内で実践している人に、その場所を尋ねたところ、最も多かったのは「市民センター」で、次いで「個人宅」でした。また、鑑賞の場所としては「森のホール 21 (松戸市文化会館)」が多数を占める結果となりました [p. 28]。

また、「文化の薫るまち」とするために市が担うべき役割として、「文化施設の整備充実」を選択した人は2割台半ばという結果でした [p. 49]。

市民の考え、要望等の自由記述では、既にある施設の改善や、文化施設までの交通の便の改善などを求める意見が寄せられており、課題となっています [p. 58-59]。

市民の声

- 市民センターが古い。使い道がない。図書館ももっと充実させた施設にして、小さなホールとして利用すべき。誰もが徒歩や自転車でいける生活範囲でないと、文化は広がらない。盛り上がらない。
- 市民ホールや会館・博物館や資料館など、相互の連絡が遠く不便である。文化センターのように中心となる場所に集めるなど考えて欲しい。
- まずイベントに参加するために駅を利用する事が多い。駅に駐輪場もない、エレベーターもない。松戸は酷すぎる。常磐線・新京成ともにエレベーターがないなんて。ベビーカーも車椅子もこれでは出歩くのが億劫になります。イベントが森のホール 21 の場合は無料シャトルバスを出してほしい。

⑤地区別の回答傾向

松戸市は、古くから人びとが居住している地区と、比較的最近になって他地域から転入した人が多く住む地区が、パッチワークのように展開しています。

その地域的特徴が、文化芸術活動にも反映されていることが見受けられます。

文化芸術活動に関する満足度を尋ねた設問で「満足している」と回答した値は、7項目中6項目で矢切地区が最も多い結果となっています [p. 45-48]。

文化芸術活動の実践と鑑賞では、東部地区で「実践している」「鑑賞した」の回答がともに他の地区と比べて少なくなっています [p. 21]。

そのほかの項目では、地域別の違いは特にありませんが、それぞれの地区の抱えている要望や課題等をさまざまな視点から拾い上げ、地域特性も生かしながら文化芸術活動を振興していくことが求められています。

市民の声

- 全国的に有名な矢切の渡しを中心に、葛飾区と共同プロジェクトなんてどうでしょう。大きな公園などフリースペースとともに、郊外型ショッピングモールもあれば、市内でも人も集まっていくのでは？
- 文化芸術を目指すのなら、まず街の景観をもっと良くして欲しいです。新松戸の駅前などはトイレの場所、デザインも良くない。タバコを吸う人の休憩所になっているし、放置自転車。駅前からは残念ですが文化の薫りはしないですね。

⑥市民の活力を生かした施策の推進

文化芸術の振興を進めるにあたり、市民、大学、企業、行政などの協働による総合的な施策の展開が不可欠です。本調査では市民との連携の方法を探るため、市民がどのような活動にどのように関わることが可能であるかを聞きました。

その結果、『文化財の保護や伝統文化の継承』『国際的な文化交流』『子どもたちの文化芸術活動』については「ボランティアとして参加」が多く、『文化芸術と調和したまちなみや景観づくり』では「アイデアの提供」が多くなっています [p. 51]。なお、いずれの項目も特に 20 代から 40 代で積極的な参加の意向が示されています [p. 52-54]。

こうした市民の活力を本市の強みとし、市民と連携した文化芸術の振興が必要と考えられます。

市民の声

- 高校や大学などと市が一緒になってみんなで参加できる文化祭のようなイベントをやって、お年寄り子ども達とみんなが楽しめるものがあればよいと思います。
- アーティストによるワークショップや、ボランティアスタッフと運営が協力して行うイベントなど、催しのために必要なスタッフを、もっと積極的に募集しても良いと思う。

第2部 社会教育関係団体調査

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、松戸市教育委員会で認定している「社会教育関係団体（文化系）」の活動状況やその文化的環境等について調査し、集計・分析結果を市の施策に生かすことを目的として実施しました。

2 調査の方法

- (1) 調査対象：松戸市教育委員会に登録している社会教育関係団体
- (2) 抽出方法：全数調査
- (3) 調査方法：郵送配布、郵送回収
- (4) 調査期間：平成 24 年 2 月 14 日～3 月 23 日

3 回収結果

配布数 (A)	有効回収数 (B)	白票・無効票 (C)	有効回収率 (B/A)
574	453	0	78.9%

4 調査項目

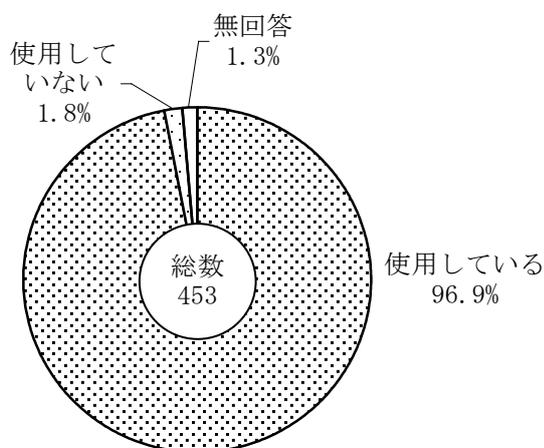
区分	設問	問
1 施設の 利用	市の施設の利用状況	問 1
	市の施設を利用しているか	問 1 - 1
	使用している施設名	問 1 - 1 (記述回答)
	市の施設の利用頻度	問 1 - 2
2 市の 支援	支援の必要性	問 1 - 3
	市の施設使用料減免は必要か	問 1 - 3 - ア
	広報紙への掲載の支援は必要か	問 1 - 3 - イ
	後援等の支援は必要か	問 1 - 3 - ウ
3 の 状況 団体	団体の年齢構成	問 1 - 4
	活動の成果・効果	問 2
	活動の悩み	問 3
4 文化 的 環 境	文化的環境に対する満足度	問 4
	鑑賞機会	問 4 - ア
	創作・参加機会	問 4 - イ
	活動への支援	問 4 - ウ
	関連施設の環境整備	問 4 - エ
	活動場所の整備、充実	問 4 - オ
	活動の情報提供	問 4 - カ
	文化財等の保存・整備	問 4 - キ
	総合的な満足度	問 4 - ク
	文化的環境の満足に必要なもの	問 5
その理由	問 5 (記述回答)	
5 自由意見		問 6

Ⅱ 調査結果

1 施設の利用

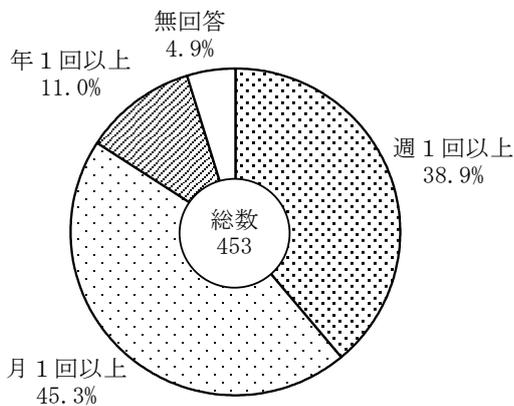
(1) 市の施設の利用状況 問1-1 問1-2

この設問は、市の施設の利用状況を聞いたものです。その結果、9割以上の団体が市の施設を使用していることが分かりました。なお、使用している施設については、「市民センター」が219件と最も多くなっています。



使用している施設名	件数
市民センター	219
市民会館	67
公民館・タウンスクール根木内	34
スポーツ施設	24
市民劇場	20
森のホール21（松戸市文化会館）	20
文化ホール	15
女性センターゆうまつど	15
青少年会館	15
勤労会館	11
支所	4
教育施設	3
松戸駅市民ギャラリー	1

次に、市の施設を利用している団体に利用頻度を聞いた結果、「月1回以上」が4割台半ばと最も高く、次いで「週1回以上」が4割弱、「年1回以上」が1割強と続いています。



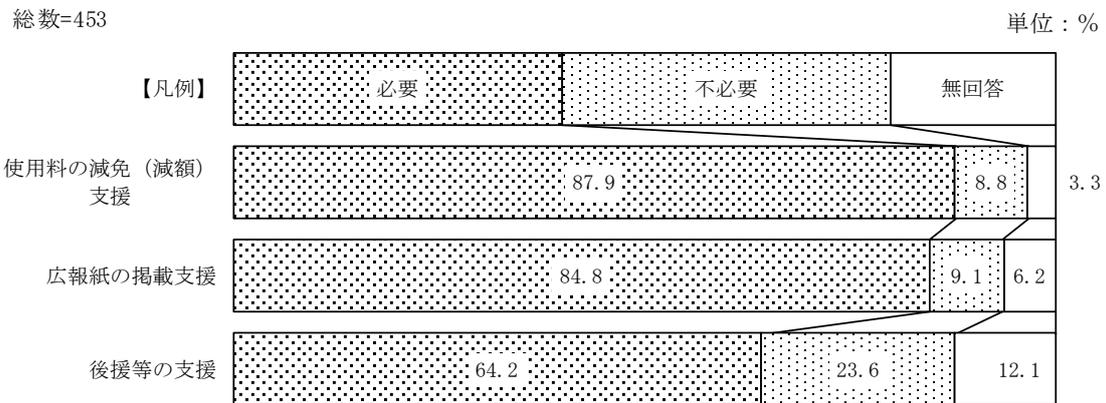
※集計にあたっては以下のように分類し直しています。(1カ月を5週間として換算)

- ・選択肢1「毎週」を選択した場合1「週1回以上」
- ・選択肢2「月」を選択し、「1～5」と回答した場合2「月1回以上」
- ・選択肢2「月」を選択し、「6以上の回数」を回答した場合1「週1回以上」
- ・選択肢3「年」を選択し、「1～11」を回答した場合3「年1回以上」
- ・選択肢3「年」を選択し、「12～59」を回答した場合2「月1回以上」
- ・選択肢3「年」を選択し、「60以上の回数」を回答した場合1「週1回以上」

2 市の支援

(1) 支援の必要性 問1-3

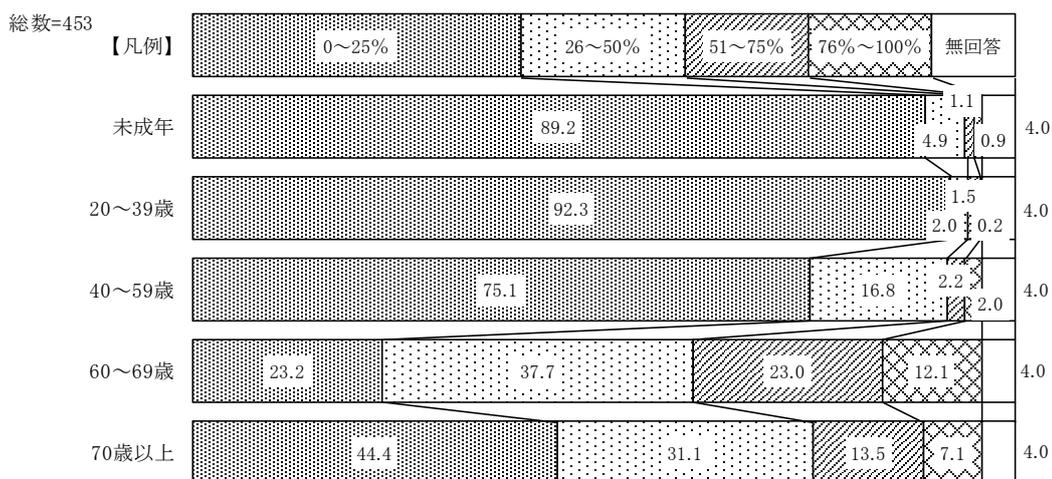
この設問は、支援の必要性を聞いたものです。その結果、必要と回答した割合は、『使用料の減免（減額）支援』『広報誌の掲載支援』が8割台、『後援等の支援』が6割台半ばとなっています。



3 団体の状況

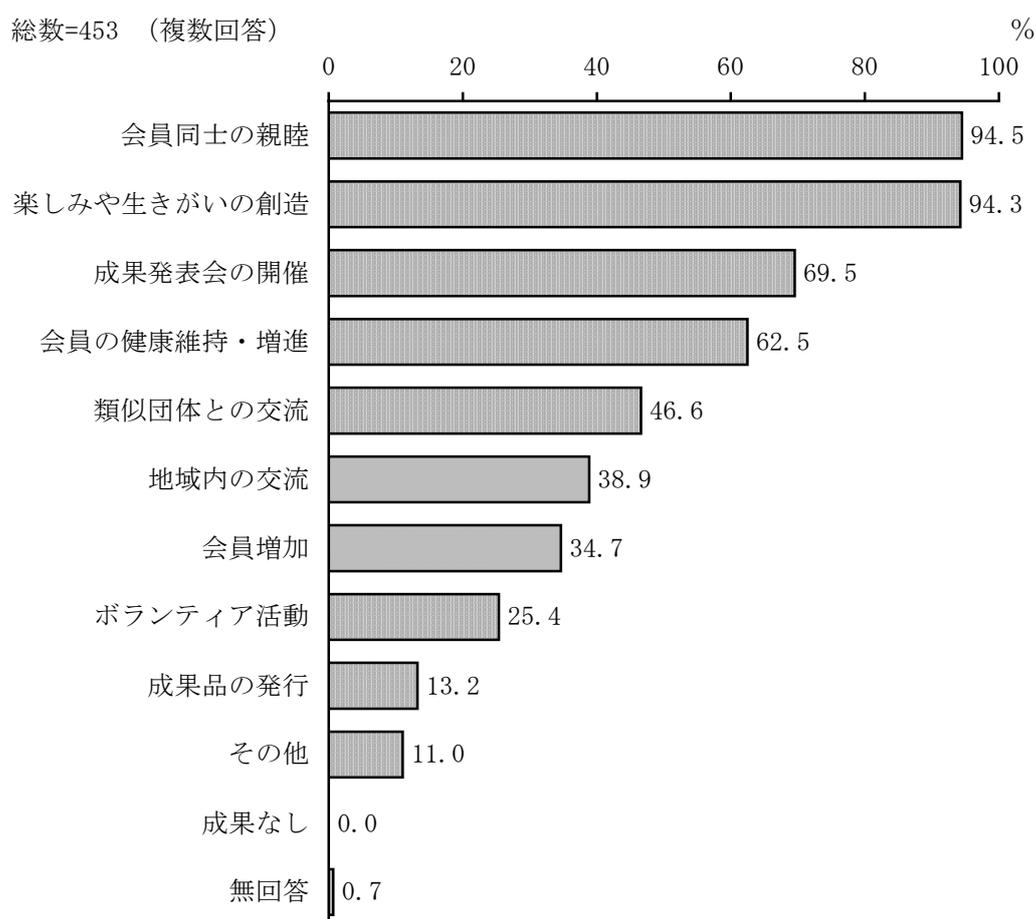
(1) 団体の年齢構成 問1-4

この設問は、団体の年齢構成について聞いたものです。その結果、「未成年」と「20～39歳」の構成員の割合が0～25%以下の団体が9割前後と多くなっており、30代以下の構成員の割合が極めて少ないことが分かりました。



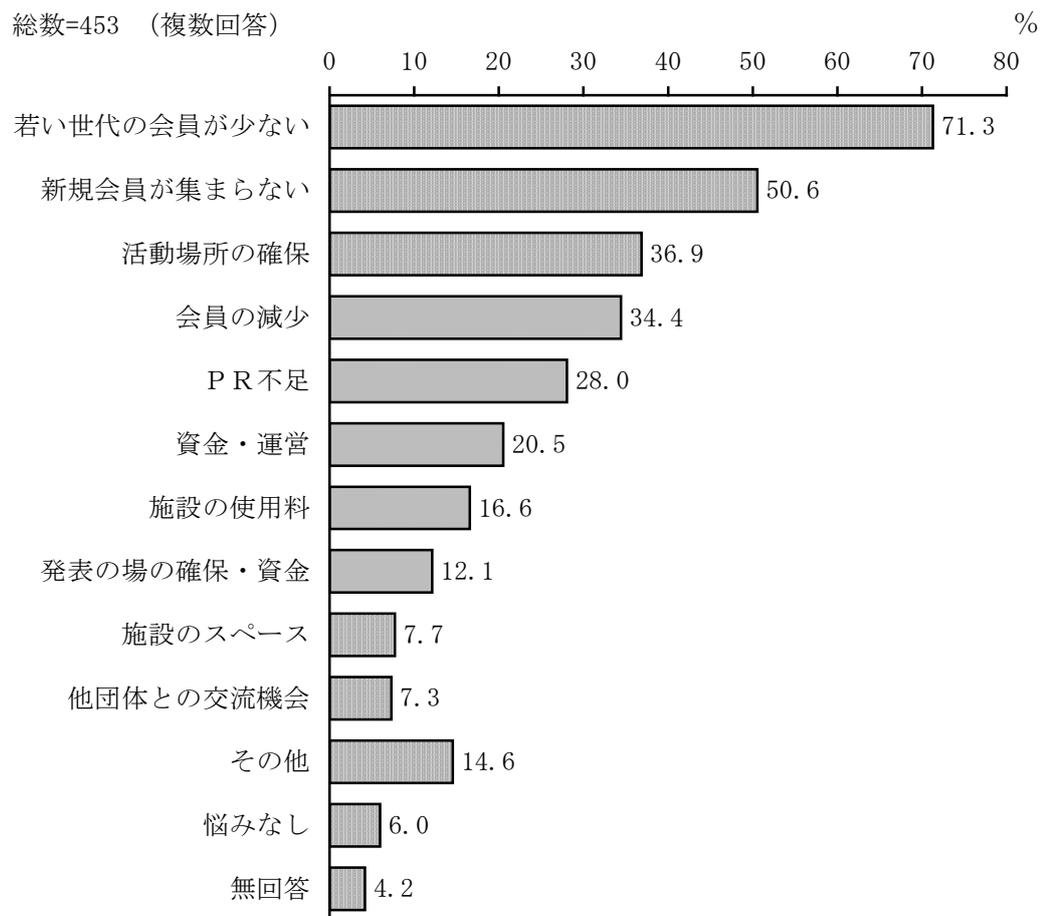
(2) 活動の成果・効果 問2

この設問は、活動の成果・効果を複数回答で聞いたものです。その結果、「会員同士の親睦」「楽しみや生きがいの創造」が9割台半ばと多く、「成果発表会の開催」「会員の健康維持・増進」が6割台と続いています。



(3) 活動の悩み 問3

この設問は、活動の悩みを複数回答で聞いたものです。その結果、「若い世代の会員が少ない」が最も多く、7割強となっています。次いで「新規会員が集まらない」が5割、「活動場所の確保」「会員の減少」が3割台半ばと続いています。



4 文化的環境

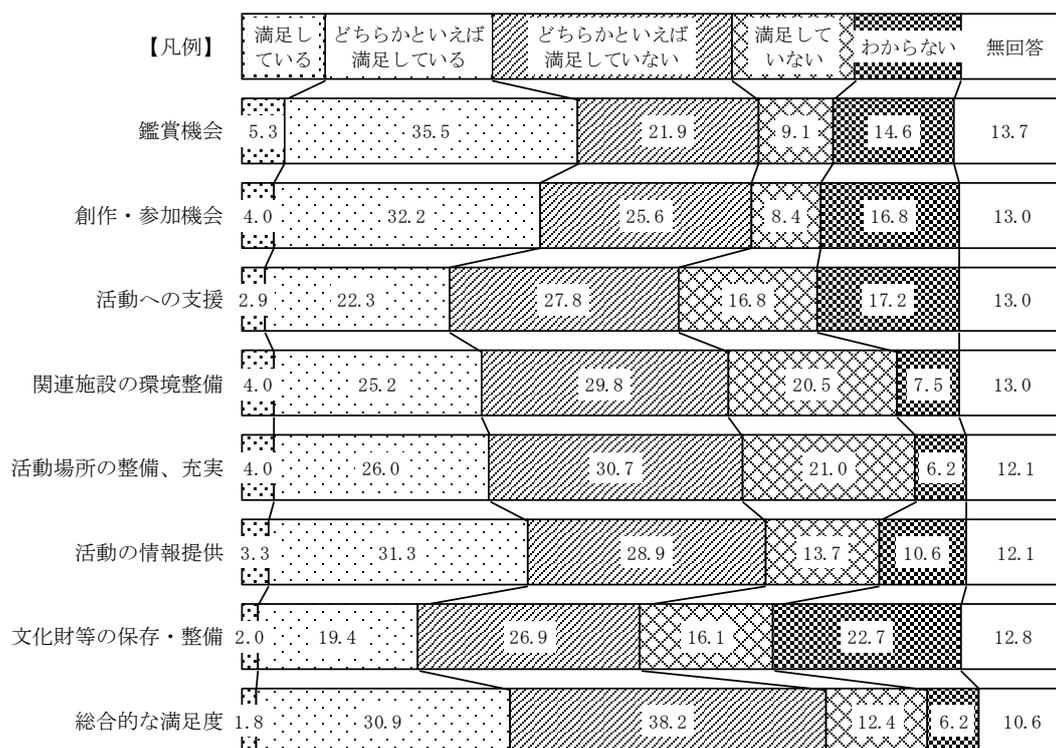
(1) 文化的環境に対する満足度 問4

この設問は、文化的環境に対する満足度を聞いたものです。その結果、「総合的な満足度」は、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、3割強となっています。

各項目について見ると、満足度の高い項目（「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合）としては、『鑑賞機会』で4割となっています。一方、満足度の低い項目（「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた割合）としては、『関連施設の環境整備』『活動場所の整備、充実』で5割台となっています。

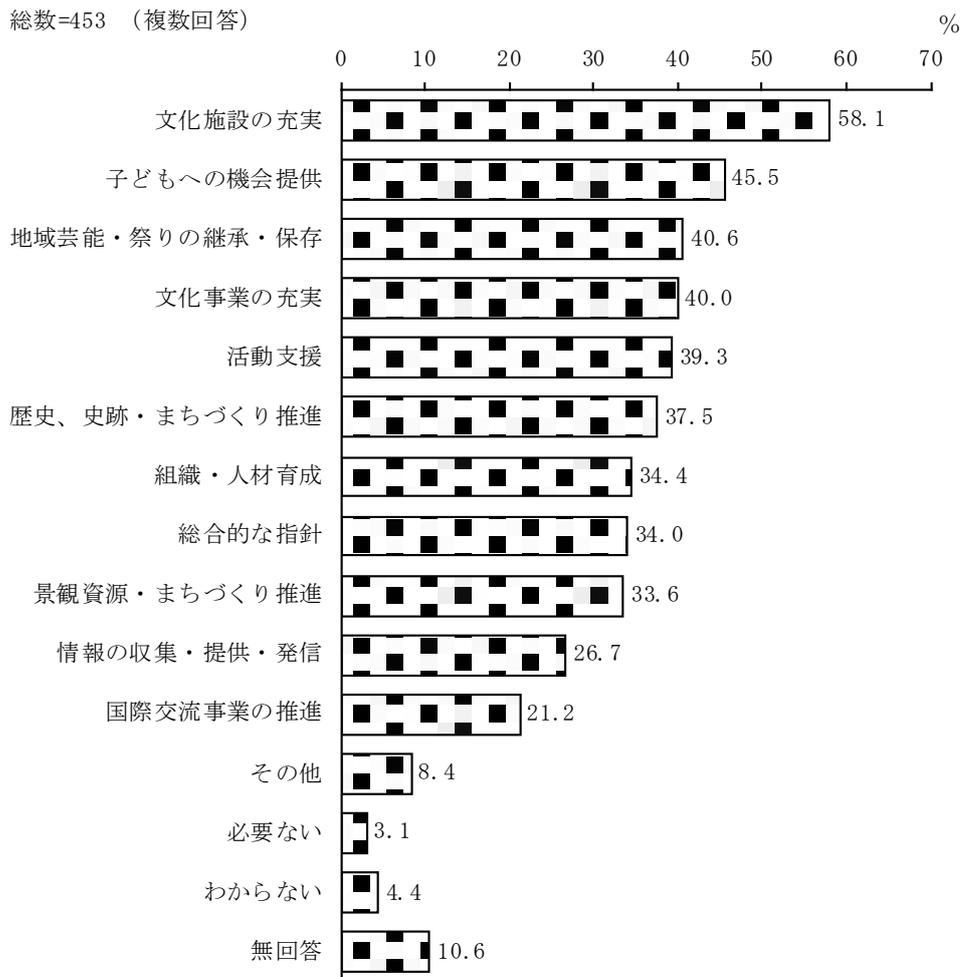
総数=453

単位：%



(2) 文化的環境の満足に必要なもの 問5

この設問は、文化的環境の満足に必要なものを複数回答で聞いたものです。その結果、「文化施設の充実」が最も多く、6割弱となっています。次いで「子どもへの機会提供」が4割台半ば、「地域芸能・祭りの継承・保存」「文化事業の充実」が4割と続いています。



5 自由意見 問6

この設問は、文化芸術の振興によるまちづくりに対する意見を聞いたものです。複数の分野にまたがる意見については、それぞれの分野で計上しています。その結果、「施設の整備・充実」「広報や情報提供の充実」が44件と多く、次いで「住民の意識向上や参加の促進・指導者の育成」が41件と続いています。

主な意見	件数
施設の整備・充実	44
広報や情報提供の充実	44
住民の意識向上や参加の促進・指導者の育成	41
活動の場や発表の機会の充実	32
住みやすいまちづくりの促進	20
施設利用料の減免・資金援助	20
催しの開催や充実	16
子どもたちの文化芸術活動の充実	15
伝統文化の継承や地域に根ざした事業の推進	12

○主な意見

①施設の整備・充実（44件）

「美術館もなく市民劇場も老朽化しており文化活動などのイベントを行うには不向き、施設の充実を希望。」

「廃校になった施設を有効に活用し、地域の人が集い、使い勝手の良い会館が欲しい。」

「市民の高齢化もあるので施設にエレベーターを設置するとかの配慮がほしい。」

②広報や情報提供の充実（44件）

「市内で行われる文化イベントの周知が図れるようなネットワーク作り、そこに行けばあるいは問い合わせればどんなイベントがあるかわかる、ある意味『観光案内』のような存在があってもよい。」

「いろいろな催事や祭りなどの広報をもっと多くの媒体で広報してほしい。道路や駐車場を確保して、年配者や足の悪い人も気軽にいろいろなところへ行け

るように考えてほしい。」

「文化活動団体の活動状況や連絡先がわかる一覧表のようなものがあると嬉しい。市の周辺部地域にも文化活動を広げることができたら良い。」

③住民の意識向上や参加の促進・指導者の育成（41件）

「職場、学校、地域等若い人が集まる場所での文化のあり方、楽しみ、生きる力、人との交流を指導する。」

「市民が積極的に参加出来るような方法を考えたい。利用する人、関心のある人が一部の人に限定されている気がする。」

「地域の活動団体と鑑賞する側との間を仲介するようなシステムがあれば活性化も進むかと思います。」

④活動の場や発表の機会の充実（32件）

「例えば私たちのあみものサークルにしても、会員の高齢化によって退会される方が多く、続けたくても参加人数10名以上などの制約があると会場が利用できなくなる恐れがあり、それが心配なので少人数でも使用できる等の配慮をお願いしたい。」

「勉強した成果を発表することを目的としているサークルですので、高年齢ですが、市の催し物に参加できるチャンスがあったら、社会に与える事、会員の向上にプラスになると思う。」

「松戸市の写真コンテストの場がなくなり写真愛好家の励みの場がない。」

⑤住みやすいまちづくりの促進（20件）

「森のホール21への交通の便を良くするため、森のホール21駅を作る。また、文化施設への行き方を分かりやすくするため、駅や道すじに看板を立てる（大きく目立つように）。」

「小回りの利く小型バスを配置して交通の便をよくなり、移動手段を工夫すると、人の流れも良くなるのではと思います。そして、施設を充実して、趣味の会（サークル）が利用しやすくなると良いと思います。」

⑥施設利用料の減免・資金援助（20件）

「市民会館の利用料など、大きい施設は安くなればもっと良いと思います。」

「市も大変なことと思いますが、もう少し文化活動方面にも予算をアップしていただけたらと思います。」

⑦催しの開催や充実（16件）

「有名人、文化人などを呼んで、講演会などを行ってほしい。」

「住みたい人が集まる街にするための一歩として駅や街をきれいにし、ワクワクするようなイベントの開催などで松戸のイメージアップが必要。」

「松戸市の祭りの利用。例としてさくら祭りなど、生バンドの演奏等及びカラオケ大会を行う。」

⑧子どもたちの文化芸術活動の充実（15件）

「芸能、祭りなどの継承、保存に若い世代、こども達の参加が活性化につながっていくと思います。」

「子供向けの文化芸術の公演機会を増やすなど、芸術文化の振興の基盤づくりが大切と思う。」

「情報発信がもう少し子供向けの物があっても良いと思う。広報の情報量は多いが子供の目に留まるものが少ないと思う。」

⑨伝統文化の継承や地域に根ざした事業の推進（12件）

「現在の松戸の中心市街地でもある松戸駅周辺はかつて江戸時代に江戸城と水戸藩を結ぶ水戸街道の宿場町だと聞いています。こうした所の保存などにも力を注ぐことも必要だと思います。」

「21世紀の森と広場や戸定邸、江戸川などを生かした文化的イベントを開催し他地域の人が訪れるようにしてほしい。宿場町としての名残を生かす街づくりも必要。」

資料

文化芸術の振興に関するアンケート調査

■■ アンケート調査ご協力のお願い ■■

市民の皆様へ

現在、市では平成 23 年 4 月に「文化の香りのする街構築プロジェクト」を設置し、歴史・伝統文化を受け継ぎ、地域文化の振興を目指した「まつど・文化が薫るまちの継承と創造」のための基本方針を策定しています。

この基本方針を策定するにあたり、市の文化芸術の現状やニーズ等について、市民の皆様のお考えを幅広く伺うため、アンケートを実施することと致しました。

本調査では、市内にお住まいの方々から 3,000 人を無作為に選び、調査票を送付させていただきました。アンケートの結果については、統計的に処理し、調査目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 24 年 10 月

松戸市長 本郷谷 健次

■■ ご記入にあたって ■■

1. 回答は、原則として封筒のあて名ご本人がお答えください。あて名ご本人が回答できない場合は、ご家族の方や介助者の方などが、ご本人の立場で（ご本人の意見に沿って）お答えください。なお、この調査票で「あなた」とはあて名ご本人のことです。
2. この調査票にはお名前を記入する必要はありません。個人が特定されることはありませんので、普段あなたが考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 回答は、質問により、1 つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
4. 質問の中には、選択した番号により、問題の進み方が変わるものがありますので、ご注意ください。
5. 「その他」と回答された場合には、〔 〕内に内容を具体的にお書きください。
6. ご記入いただいた調査票は、**平成 24 年 10 月 23 日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご返送ください。**

< 問い合わせ >

松戸市 市民環境本部 企画管理室 文化の香りのする街構築担当

〒271-8588 松戸市根本 3 8 7 番地の 5

電話：047-366-7312 FAX：047-366-2043

E-MAIL：mcshikikaku@city.matsudo.chiba.jp

1. 地域の文化芸術[※]の現状についてお伺いします。

※本調査における「文化芸術」とは、文化芸術振興基本法の分類を基に以下のようなものを想定しています。

- ・芸術…文学、音楽、美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、手芸など）、写真、演劇、舞踊、ダンスなど
- ・メディア芸術…映画、漫画、アニメーション（動画）など
- ・伝統芸能…雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など
- ・芸能…講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱など
- ・生活文化・国民娯楽…茶道、華道、書道、園芸、囲碁、将棋など
- ・文化財…有形及び無形の文化財、地域の郷土芸能など

問1 あなたの住んでいる地域の文化芸術について、お伺いします。次のア～キのことからについて、満足度を1から5の中からそれぞれ選び、○をつけてください。
(アからキのそれぞれ1つに○)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
ア. 文化芸術のイベントにふれる機会	1	2	3	4	5
イ. 市民による文化芸術活動の活発さ	1	2	3	4	5
ウ. 文化財や伝統芸能の数と保存状況	1	2	3	4	5
エ. 子どもたちの文化芸術活動の活発さ	1	2	3	4	5
オ. 文化芸術活動のための施設整備状況	1	2	3	4	5
カ. 文化的な雰囲気を感じる景観やまちなみの状況	1	2	3	4	5
キ. 文化芸術に関する情報量	1	2	3	4	5

2. 文化芸術活動の実践*についてお伺いします。

※文化芸術活動の実践とは、自身で作ったり、描（書）いたり、演じたりすることを言います。

問2 あなたは、文化芸術活動の実践について、どのように思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 大切である | 4. あまり大切ではない |
| 2. どちらかといえば大切である | 5. 大切ではない |
| 3. どちらともいえない | |

問3 あなたは、現在、文化芸術活動を実践していますか。（1つに○）

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 実践している | → (4ページ 問4-6へ) |
| 2. 実践していない | |

問3で「1」と回答した方にお伺いします。

問4-1 あなたが文化芸術活動を実践するきっかけは、どのようなものでしたか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 以前から興味や関心があった |
| 2. 家族・親族が参加していた |
| 3. 活動している知人・友人に誘われた |
| 4. 文化芸術活動を鑑賞した |
| 5. 文化芸術活動を紹介するテレビや雑誌を見た |
| 6. その他〔 〕 |

問4-2 あなたが実践している文化芸術活動は、どのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 文芸（詩、俳句、小説など） | 9. ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、歌謡曲など） |
| 2. 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など） | 10. 日本の伝統音楽（民謡、詩吟など） |
| 3. 演芸（落語、講談、漫才など） | 11. 歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など |
| 4. 写真 | 12. 地域の伝統芸能（神楽、獅子舞など） |
| 5. 演劇（現代劇、ミュージカルなど） | 13. 生活文化（茶華道、書道、盆栽など） |
| 6. 舞踊（バレエ、ダンスなど） | 14. 国民娯楽（囲碁、将棋など） |
| 7. 映画、漫画、アニメなど | 15. 地域の歴史、文化財に関すること |
| 8. クラシック音楽 | 16. その他〔 〕 |

(4ページ 問4-3へ)

問7で「2」と回答した方にお伺いします。

問8-5 あなたがこの1年間に文化芸術の鑑賞をしなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

- 1. 時間的な余裕がない
- 2. 経済的な余裕がない
- 3. 子育てや介護をしている
- 4. 会場が近くにない
- 5. 興味のある催しが開催されていない
- 6. 文化芸術に関する情報がない
- 7. 一緒に鑑賞する人がいない
- 8. その他〔 〕
- 9. 文化芸術の鑑賞に興味がない

すべての方にお伺いします。

問9 今後、あなたが新たに鑑賞したいと思う分野についてお答えください。(〇は3つまで)

- 1. 文芸（詩、俳句、小説など）
- 2. 美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- 3. 演芸（落語、講談、漫才など）
- 4. 写真
- 5. 演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- 6. 舞踊（バレエ、ダンスなど）
- 7. 映画、漫画、アニメなど
- 8. クラシック音楽
- 9. ポピュラー音楽（ジャズ、ロック、歌謡曲など）
- 10. 日本の伝統音楽（民謡、詩吟など）
- 11. 歌舞伎、能、狂言、文楽、日本舞踊など
- 12. 地域の伝統芸能（神楽、獅子舞など）
- 13. 生活文化（茶華道、書道、盆栽など）
- 14. 国民娯楽（囲碁、将棋など）
- 15. 地域の歴史、文化財に関すること
- 16. その他〔 〕
- 17. 新たに鑑賞したい分野はない

4. 文化芸術に関する情報の入手方法についてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問10 あなたは、文化芸術に関する情報をどのように入手していますか。(〇は3つまで)

- 1. 市の広報
- 2. 掲示板等のポスター
- 3. 市のホームページ
- 4. テレビ・ラジオ
- 5. 新聞・折り込みチラシ・雑誌
- 6. インターネット・メールマガジン
- 7. 友人・知人・家族
- 8. その他〔 〕
- 9. 入手していない

5. 今後の取り組みについてお伺いします。

市では、街の賑わいを取り戻し、また、子どもを生み・育てたくなる街とするために、市民が身近に文化芸術にふれる機会が増え、文化芸術への関心が高まる「文化の薫るまち」の構築を目指しています。そこで、今後の取り組みについてお伺いします。

すべての方にお伺いします。

問 11 あなたは、市を「文化の薫るまち」とするために、市の担うべき役割をどのように考えますか。(〇は3つまで)

1. 文化芸術に関する催しの開催
2. 文化芸術に関する情報提供の充実
3. 文化芸術活動を行う個人や団体への資金援助
4. 芸術家や指導者の育成や派遣
5. 次世代を担う子どもの文化芸術活動の充実
6. 文化財の保護や伝統文化の継承
7. 文化芸術と調和したまちなみや景観づくり
8. 地域に根付いた文化芸術事業の推進
9. 文化施設の整備充実
10. その他〔 〕
11. 市の担うべき役割はない

問 12 あなたは、次世代を担う子どもたちの文化芸術活動の充実のために、市として重視すべき取り組みは、どのようなことだと思えますか。(1つに〇)

1. 子どもたちが芸術家の作品や公演を鑑賞する機会の充実
2. 子どもたちの文化芸術活動にともなう費用負担の軽減
3. 子どもたちが体験できる文化芸術活動の充実
4. 子どもたちへの情報提供の充実を図る
5. 文化芸術に関する学校教育の充実
6. その他〔 〕
7. 特にない

問 13 市を「文化の薫るまち」とするために、地域の住民として担えることがあるとすれば、どのようなことだと思えますか。次のア～カの取り組みについて、地域住民として可能な関わり方をそれぞれの枠内に○をつけてください。

(ア～カそれぞれあてはまるものすべてに○)

	主催や運営	ボランティアとして参加	アイデアの提供	募金などの資金援助	担えることはない
ア. 文化財の保護や伝統文化の継承	1	2	3	4	5
イ. 国際的な文化交流	1	2	3	4	5
ウ. 子どもたちの文化芸術活動	1	2	3	4	5
エ. 文化芸術と調和したまちなみや景観づくり	1	2	3	4	5
オ. 文化芸術活動を担う組織や人材の育成	1	2	3	4	5
カ. 文化芸術活動の場の整備充実	1	2	3	4	5

問 14 あなたが市にあったらいいと思う文化芸術のイベント等を教えてください。

問 15 文化芸術振興を目指した今後のまちづくりの視点を含め、お考え、ご要望等がございましたら、自由にご記入ください。

6. 最後に、あなたご自身のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)

1. 男性

2. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに〇)

1. 20～29 歳

4. 50～59 歳

2. 30～39 歳

5. 60～69 歳

3. 40～49 歳

6. 70 歳以上

F 3 あなたの職業をお答えください。(1つに〇)

1. 正社員

2. 公務員・団体職員など

3. 自営業（農業を含む）

4. アルバイトやパートなど（短期雇用契約社員・派遣社員を含む）

5. 学生

6. その他 []

7. 家事に従事している

8. 無職

} → (11 ページ F 5 へ)

(11 ページ F 4 へ)

F 3で「1」～「6」と回答した方にお伺いします。

F 4 あなたの勤務先・通学先はどちらですか。(1つに○)

1. 市内	3. 東京都内
2. 市外(県内)	4. その他〔 _____ 県 〕

すべての方にお伺いします。

F 5 あなたは、松戸市にどのくらいの期間お住まいですか。他市町村に住んだことがある場合は、松戸市での通算居住年数を以下から選んでください。(1つに○)

1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる
2. 5年未満
3. 5年以上 10年未満
4. 10年以上 15年未満
5. 15年以上 20年未満
6. 20年以上

F 6 あなたの家族構成をお答えください。(1つに○)

1. ひとり世帯
2. 夫婦のみ世帯(事実婚を含む)
3. 親と子どもの2世代世帯
4. 親と子どもと孫の3世代以上の世帯
5. その他〔 _____ 〕



F 6で「3」～「5」と回答した方にお伺いします。

F 7 同居家族のなかに中学生以下の子どもはいますか。(1つに○)

1. いる	2. いない
-------	--------

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

記入済みの調査票は、平成24年10月23日(火)までに、返信用封筒にて返送くださるようお願い致します。

◇社会教育関係団体に関するアンケート調査◇

= 調査ご協力のお願い =

社会教育課では、平成22年11月に市民サービス向上と本市社会教育における施策展開の参考とさせていただくためアンケート調査を実施したところですが、その後の各団体における問題点や活動成果などについて今年も調査することとなりました。

また松戸市では、平成23年4月に「文化の香りのする街構築プロジェクト」を立ち上げて、歴史・伝統文化を受け継ぎ、地域文化の振興を目指した「まつど・文化が薫るまちの継承と創造」のための基本的な方針の策定を検討しているところです。このアンケート調査の結果は、社会教育関係団体の皆様から貴重なご意見としてプロジェクトにおいても活用させていただきます。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

☆このアンケートは、貴団体の一員として活動しているあなた自身の判断によりご回答ください。

☆記入済みの調査票は、同封した返信用封筒で平成24年3月23日（金）までにポストに投函してください。

No. _____ 分野 _____ 団体登録No. _____ 団体名 _____

問1 貴団体の活動状況についてお聞きします。

1 現在、松戸市の施設を利用していますか。(1つに○)

ア はい (主な利用施設名 (具体的に): _____)

イ いいえ

2 利用頻度はどの程度ですか。(いずれか1つ)

(毎週 ・ 月 ・ 年間) _____回

3 次に掲げる市の支援について必要と思いますか。ア～ウについて、それぞれの右側の番号に1つずつ○をつけてください。

	必要	不要
ア. 使用料の減免 (減額) 支援	1	2
イ. 広報紙への掲載支援	1	2
ウ. 後援等の支援	1	2

4 貴団体を構成している年齢についてわかる範囲でお答えください。

未成年 20～39歳 40～59歳 60～69歳 70歳以上

(%) + (%) + (%) + (%) + (%) = 合計 (100%)

問2 松戸市社会教育関係団体としての活動がどのような成果・効果をあげていますか。(いくつでも○)

1 活動を通じて楽しみや生きがいを感じている。

2 会員の健康維持や健康増進につながる。

3 会員同士のつながりが出来て親睦が深まる。

4 活動の成果品 (詩集、文集、画集、ビデオなど) を発行している。

5 会員の増加により活動が活発になる。

6 活動の成果発表会 (大会) を開催したり参加したりしている。

7 類似団体や他のグループとの交流を行っている。

8 催し物や講習会などを通じて地域の多くの人たちと交流をしている。

9 ボランティア活動を活発に行っている。

10 その他 (下記にご記入ください。)

[_____]

11 特に成果をあげているものはない。

問3 松戸市社会教育関係団体としての活動にあたって悩み事がありますか。
(いくつでも○)

- 1 会員の減少により規模が縮小している。
- 2 新しい会員が集まらない。
- 3 若い世代の会員が少ない。
- 4 施設の利用予約等、活動する場所の確保が難しい。
- 5 利用している施設の使用料が高い。
- 6 利用している施設のスペースが狭い。
- 7 資金的に運営が厳しい。
- 8 活動内容のPRが不足している。
- 9 活動の発表をしたいが場所の確保や資金面の関係で難しい。
- 10 他の団体との交流を望んでいるが、その機会がない。
- 11 その他（下記にご記入ください。）

[]

- 12 特に悩み事はない。

問4 あなたの地域の文化的環境の満足度についてお聞きします。例えば、鑑賞機会、文化芸術活動の創作・参加機会、文化財や伝統的なまちなみの保存・整備などに満足していますか。ア～クについて、それぞれ右側の番号に1つずつ○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない
ア. 鑑賞機会	5	4	3	2	1
イ. 文化芸術活動の創作・参加機会	5	4	3	2	1
ウ. 文化芸術活動への支援	5	4	3	2	1
エ. 文化関連施設の環境整備	5	4	3	2	1
オ. 活動する場や拠点の整備・充実	5	4	3	2	1
カ. 文化芸術活動の情報提供	5	4	3	2	1
キ. 文化財や伝統的なまちなみの保存・整備	5	4	3	2	1
ク. 総合的に判断したときの満足度	5	4	3	2	1

問5 あなたは、地域の文化的環境を満足できるものとするために何が必要だと思いますか。(いくつでも○)

- 1 ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
- 2 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
- 3 芸術家や文化団体の活動の支援
- 4 こどもが文化芸術に親しむ機会の充実
- 5 文化芸術活動を担う組織や人材の育成
- 6 外国人とのふれあいを持つなど国際文化交流事業の推進
- 7 文化芸術情報の収集及び提供、発信
- 8 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
- 9 歴史的な建物や史跡などを生かしたまちづくりの推進
- 10 ふるさと景観資源を生かしたまちづくりの推進
- 11 文化芸術振興のための市の総合的・継続的な指針の作成
- 12 その他

- 13 特に必要ない
- 14 わからない

→○そう思われた理由をご記入ください。

問6 松戸市が今後文化芸術振興の観点からまちを活性化するためにはどのようにしたら良いかご意見をお聞かせください。また、その他、ご意見がございましたらご記入ください。

☆ ご協力ありがとうございました。

記述内容	性別	年齢
映画ロケ。	男性	20代
・市内の重要文化財等の紹介。・市内の歴史、発展の紹介。	男性	40代
江戸川の芝刈り。まちの掃除。	女性	30代
森のホール 21 を何でも活用して欲しい。それには近くに駅をつくって欲しい。交通整備を良く便利にして欲しいです。	女性	70代以上
・子どもと一緒に参加できる絵画、工作などの1日体験。・子ども連れで行ける劇場(子ども向けでなく母親が個人として楽しめるもの。子どもの泣き声など、周囲に気を遣ったり、気にしなくても良い環境で鑑賞できる場所があればいい)。	女性	30代
森のホール 21 でのコンサートをもっと増やしてほしい。	女性	40代
松戸市出身の文化人を招いたイベント。新進気鋭のアーティストの催し。	男性	30代
ライブスタジオがあり、そこでライブがあったらいいです。	男性	30代
歌舞伎、能などを鑑賞できる場所があると良い。金額が高いので、市民には負担がかかるので気軽に楽しみたい理由から、年1回でも良いから出向きたいです。	女性	60代
映画祭。	女性	30代
国際交流による伝統の交流。	男性	60代
演劇、音楽、歌舞伎、手芸など。	女性	70代以上
もっと子ども達に日本古来の三味線、踊り、浪曲などの人情物を聴かせてあげたい。浪曲等は特に聞かせたい。とても良いと思う。	女性	70代以上
市全体(踊り等)で出来るもの。松戸まつりなどで。	男性	50代
親子が一緒に参加できる音楽会などがあると良いと思います。	男性	50代
美術の面で材料費だけの参加費で月に1~2回くらい参加できるカルチャーセンターを設けて欲しい。	女性	60代
・松戸市の文化祭に仮装大賞(欽ちゃんの)の様に市民が出演できる大会を催す。・現在の日本はアニメ文化において世界でも1位、2位を競う位置にいます。人材育成と原作(ストーリー)作者の育成を自由に提供場所を与えて、陰で大人やプロフェッショナルが支えるシステム作りが重要と思う。	男性	50代
今、介護等で忙しく、どのようなイベントが開催されているか、把握してないのでコメントできません。申し訳ございません。	女性	50代
都心に近く芸術鑑賞は都に行くことが多く、松戸では観るべき物ではありません。地域の子ども(小中高)達の主体となる各種イベントを一括して行えるイベント会場の設定と参画。	男性	70代以上
伝統芸能、音楽会。	女性	50代
老人達が気兼ねなく集まって談笑できる場があると楽しくできると思います。	女性	70代以上
音楽鑑賞に関するイベント。	女性	30代
市民が参加して作成するようなイベント。文化財等の見学会。	女性	50代
松戸は何もかもが、大きさなどが中途半端のため、今ひとつ、参加しかねていると思います。きちんとした目的、考え方などまとめ、大きな設備で行ってほしいと思います。	女性	50代
消防局音楽隊の定期的な公演。大道芸大会。	男性	60代
戸定邸を春、秋、無料開放して飲食自由にさせる。竹林の活用。春にはタケノコもいっぱい生えるので提供する。秋には庭で祭を日中やる。写真会、俳句の会をやる。うまい物と音楽をやる。21世紀の森と広場で仮装大会、ボーリング大会、歌謡大会。	男性	70代以上
なかなか実現するのは容易ではないとは思いますが、今注目されている優れた芸術家のコンサートや展示会など、講演会など、使えるコネクションを必死にたどり、熱意と情熱(同じ?)が伝わる説得が出来れば何とか可能かも。駅周辺は市の顔だと思うので、その辺りから文化の薫り漂う街整備が出来ると尚良いのではないのでしょうか?	女性	40代
森のホール 21 があるがはじめに器ありきの感がある。すでに出てしまったので仕方がないが、違った方面へのお金の使い方があったのでは。市民会館があったのだから。	女性	50代
市報とかくらいでPRが少ないのでは?色々やっていることが市民に伝わっていない気がする。釣りが出来る施設等があればと願っている。	男性	70代以上
松戸市文化祭を期待します。ぜひ継続して、質の向上を図っていただきたい。	女性	50代
伝統芸能はなかなか見る機会がないので祭などで観られたら嬉しい。	女性	20代
松戸祭等、子どもの参加が少ない。率先してくれる保育園児達のソーラン節や踊りを見たい。	女性	70代以上
〇〇通りなど、〇〇にあたる町づくりから常設して見られる、聞ける場所作り。	男性	50代
特にない。年齢のため遠くに行けない。	女性	70代以上
2つある相撲部屋の協力をいただき、大々的にイベントを考える(市民が参加できる、運動会等)。	男性	60代
常設美術館があると良いなと思います。	女性	40代

記述内容	性別	年齢
小学校、中学校等に文化芸術の経験者や過去に携わってきた人に出向いてもらって、身近に感じたり触れる機会を増やせたらよいと思います。	女性	40代
・ロックフェスティバルやジャズフェスティバルのような音楽イベント。・アジア(ユーラシアでも)の文化が学園祭のような形で身近に感じられるお祭りイベント。・バンダイ等のメーカーなどとコラボレーションしたアニメイベントなど。	男性	40代
東京都は文化芸術家の住んでいた家が保存され記念館になっているところが多いです(軽井沢も)。松戸には、あまりないので仕方ないですが、例えば「正岡子規展」とかいって森のホール 21 や戸定邸や市民会館などに借りてきたものを展示して欲しい。絵はお金掛かりますけど、作家(文学)関係ならあまりお金がかからないのではと思います。与謝野晶子の展覧会などももっと大々的にやって欲しかったです。欲を言うと絵もやって欲しい。	女性	30代
文化芸術というよりは、ミュージシャンのコンサートまたはスポーツなどに若い方は興味があるのではないのでしょうか？文化芸術はとても大切だと思いますが、内容がなんか年代の高い方という気がします。イベントについては交通の便が良く、時間的にも幅広い年代の方に行けると良いと思います。	女性	40代
写真展、絵画展。	女性	30代
本当は定禅寺ストリート JAZZ フェスのようなイベントや吉祥寺の野外手作り市や鬼子母神での手作り市のような、芸術作品を販売するようなイベント。でも、町全体がそんなイメージではないし、市民の関心も薄いように思う。	女性	40代
美術鑑賞しながら1日ゆっくり出来るようなイベント。	男性	20代
・お笑い(漫才など)。	男性	30代
無料コンサートなど。	女性	20代
思いつきません。	女性	60代
アニメや動画などの文化施設を作って欲しい。	男性	40代
無料の劇の鑑賞などを企画して欲しい。子ども向けなど。	男性	30代
中、高生もアニメが好きなのでアニメのイベントを企画してもらいたい。	女性	40代
プロがマンツーマンで教えてくれる体験活動(小学校での茶華道のお手前や歌舞伎体験など)。	女性	30代
・ミュージカル(子どもから大人までが楽しめる)。	女性	40代
・映画館の充実。	女性	40代
・クラシックや歌謡曲のコンサート実施と情報提供。	女性	40代
・市民センターでの茶道や華道等の習い事。	女性	40代
市が支援している文化イベント(市が支援している姿勢を見てもらうことが大切)。	男性	70代以上
音楽等(クラシック音楽)を特に。	女性	60代
定期的な街中で行われるコンサート。	女性	40代
・絵画教室。	男性	40代
・陶芸教室。	男性	40代
・体験型。	男性	40代
・若者向け料理教室。	男性	40代
誰でも出会う事の出来る松戸駅東西の広場を、芸術活動をしている人々へもっと開放:簡単な雨よけのあるミニ舞台等設けて、発表させてあげたい(地味な手芸、囲碁、芸能など)。	女性	60代
森のホール 21 のイベントの情報が少なすぎる。	女性	50代
江戸川の土手がきれいになったので、浅草みたいに船で東京湾の方まで行けたらいいです。	女性	50代
娯楽施設の充実を願って。初心者向けの囲碁、将棋、書道他、文化交流イベントがあったらいい。	女性	50代
ポピュラー音楽等でアーティストの方々を呼んでコンサート、ミュージカル等呼んで欲しい。	女性	40代
ヨガ教室。スイミング教室。	女性	50代
野外での音楽祭があれば楽しいかと思いますが、音量の面で難しいでしょうか。音楽の好みにより、騒音と感じる方もいらっしゃるでしょうし。	女性	40代
市民によるコンサートや美術展。	女性	50代
地域ならではのお祭り。	男性	20代
日本の伝統芸能の発表会、ステージ。	男性	50代
バレエ、ダンスなど。	女性	50代
気軽に参加できる場所の提供。	男性	70代以上
落語や歌舞伎等、カラオケ発表会、舞踊等です。	女性	70代以上
よく分かりません。育児が忙しく、広報のチラシなど読む時間がないので、すでに取り組みされている事があるかも知れないので。	女性	30代
・狂言や能などは初めて見る人でも分かるような演目を、子どもと一緒に鑑賞できるようにして欲しい。・市内で一流のパフォーマンスが見られたら嬉しい(劇団四季や、有名な落語家など出来れば、休日や夏休みに)。	女性	40代
・羽生さんと子ども将棋大会。会ってみたいと思う有名人を絡めたイベントが良いです。	女性	40代

記述内容	性別	年齢
総合芸術、文化展の開催。絵画や書道、写真など個別展はあるが、一時に同一場所での展示会があれば、鑑賞領域が広がる。新たな分野への興味も湧いてくる。	男性	60代
文化芸術課を設置し活動を広げて欲しい。文化の町松戸を作って欲しい。心の豊かな松戸市！	男性	60代
気軽に聴ける(無料等)吹奏楽のコンサート。	男性	50代
ミュージカル。	女性	40代
クラシック音楽のコンサート。	男性	60代
歌舞伎、映画、演芸。	男性	70代以上
公園の整備、散歩できる広場の充実。	女性	70代以上
松戸市在住の芸術家や伝統工芸家の作品展を開催して欲しいと思います(日本伝統工芸展の中に松戸在住の人も入っていました)。	女性	70代以上
よく分からない。	女性	60代
将棋大会。文化財周辺のウォーキング。	男性	50代
日本の未来。	男性	60代
松戸市出身の文化芸術で日本でも有名になっている方の展示会や公演会等のイベントの合同開催。	女性	30代
21世紀の森と広場での屋外フェス。森のホール 21 ももっと色々な事に使ってほしい。私の周りには入った事がない人が沢山います。	女性	50代
・名画鑑賞会。・クラシック、名曲オーケストラの鑑賞会。・松戸を詠む、短編小説の文芸集。・現存の文芸団体の作品集。	男性	70代以上
プロのオーケストラのコンサートが増えて欲しい。	男性	40代
21世紀の森と広場をもっと自由に楽しめる場所にして欲しい。参加型のイベントがあれば子どもを連れて行きたい。学校によっては楽器が揃って無くて、楽器に触れる事さえない子どももいるので、その様な機会があればよいと思う。	女性	40代
市でイベントをやっても意味無し。「文化の香り」は住民のレベル(金銭的、意識的、その他)に買うところが大きい。パチンコ店の出店規制、街並みの整理誘導くらいしかできないのでは？それも難しいですか。役所のいう薫る文化とはどんな薫りですか。絵に描いた餅みたいな話に予算を使うべきでない(このアンケートも含めて)。	男性	60代
海外の人との交流イベント。	女性	40代
素人ジャズコンサートを屋外で開く。場所:21世紀の森と広場。	男性	70代以上
森のホール 21 を利用して、著名な音楽家を呼んで、子ども達に無料で鑑賞させてあげたい。	女性	50代
とにかく町が死んでます。	女性	60代
クラシックバレエやオーケストラ等の鑑賞会。	女性	30代
21世紀の森と広場、野外コンサート、博物館、華やかな美術展、写真展(イベントはあるようですが、少し地味な感じがします)。	女性	50代
・クラシックコンサートは市役所だけでなく市民センターや公園などでも行って欲しい。・市に期待するのは無理と考えていた。・クラブ活動をもっと詳しく知られる情報が欲しい(どんなサークル、クラブがあるのかさっぱり分からない)。・センターに行った時に聞いても素っ気ない態度。一覧表の作成もしてないとの事。	女性	60代
松戸市は麻雀教室(市主催)等全くなく施設場所もない、国民娯楽も偏っていて残念に思う。例えば東京都の品川区等充実しており自分自身移住したいと思うほど羨ましい。	女性	70代以上
絵画、陶芸等の鑑賞後販売が出来るようなイベント。	女性	40代
親子で参加して楽しめる音楽やダンスなどのイベント。	女性	30代
古き良き文化芸術も良いとは思いますが、やはり時代に沿った文化芸術で若者達が興味を示せる物に変化していくべきではと考えます。	男性	40代
地元在住のプロの方による気軽にリサイタルなど。普段着感覚で。	女性	40代
21世紀の森と広場音楽祭(クラシック野外コンサート)。	女性	60代
・文化芸術を体験できる(身近な場所で行える)、楽しく始めるきっかけを持つ場があるといい。・公園などで自然と一緒に体験や鑑賞が出来る。	女性	40代
美術展、研究発表会等。研修する場所(市民センター等)公用でとれない事が多く、不満です。廃校利用等場所の提供をお願いします。切に望んでいます。	女性	70代以上
独自性と広報の充実。	男性	70代以上
市民センターや近くの支所で映画鑑賞やミニコンサートを行っていただけると手軽に参加できます。	女性	60代

記述内容	性別	年齢
情報がないとある特定のししか触れあえないのではなく、松戸の小学校・中学校は必ずこの文化芸術を体験する、といったような松戸ならではのことがあると良いと思います。文化芸術の内容については松戸出身の芸術家によるものとか、これから力を入れていきたいものとか。	女性	40代
オペラ→カルメン全曲。	女性	70代以上
無料で参加できる手芸教室。	女性	20代
森のホール 21 などの大きい施設でなく、一般市民が気軽に参加できるミニコンサートなどが月1～2回あり、そこで音楽を楽しみ、必ず入会したら出席しなければならないという参加方式でなく、気軽に楽しむというやり方もあって良いと思っています。	女性	70代以上
野外で駅中など。写真展・クラシック音楽・映画音楽。人生の悩みが多い世の中なのでお坊さんの説法など気軽に聞ける時があったらいいかと。	女性	40代
高齢(84才)で腰痛足痛のため、松戸市までの美術展の鑑賞できず、本当に残念でなりません。体が不自由になってしまいました。電車にも乗れません。元気なときは美術展に参加、グループ展にも参加し、長い年月楽しむことが出来、今はそのことが楽しい思い出となっています。子どもの作品展などの文化活動のお手伝いも長い年月致しました。施設も各市民センターにでも催しが出来ると楽しみが出来良いですが、アンケートにも記入が出来ず本当に淋しいです。文化活動の発展をもっと整備して下さることをお願いします。	女性	70代以上
・野外コンサート(大勢の人が一度に多く集まれる、知名度アップ)。 ・単発ではない、毎年恒例の芸術祭(分野別)。例:松戸舞踊コンクール・バレエ国際コンクール(有名なものがひとつあると注目される)。	女性	40代
特に面白いと思うイベントがやっていない。子どもと一緒に楽しめるような(とくに何かは分かりませんが)イベントをやってほしい。	女性	40代
有名ゲストを招いての芸術鑑賞会。	男性	20代
質問自体がむずかしい。	男性	60代
無料で誰でもが学べる文化芸術を多く取り入れて欲しいです。	男性	70代以上
文化芸術の前に市活性化、若い人が集まるよう、空き家の整理、安く貸す、東京に近いので集まるのではないかと思います。松戸の魅力を創り出すのです。	女性	70代以上
若者から老人までカラオケゲームで私の地域にも20名～30名くらいの70才以上の男女が家庭用の器具で持ち寄り、集会所で10年近く継続しています。こんなところに老人ホームにあるような簡単な器具が欲しい。貸与出来る方法でもあれば。老人ホームではほとんど食事、麻雀などで使用されてた器具がたくさんあります。カラオケは文化芸術ではないですか？	男性	70代以上
生涯教育などの実施。	女性	70代以上
市の広報誌とかを読んでいる限り、いろいろな団体があり様々な活動をしていることに感心いたします。千葉大の園芸学部もあることですし、園芸に関するイベントがもう少しあればと思います。	女性	50代
現在市内の100年以上の樹木がどんどん切り倒されています。「文化薫るまち」より緑のある街の方が大切だと思いますが。	男性	70代以上
郷土文化を取り入れたお祭りが近くであれば参加してみたい。	女性	70代以上
松戸には交響楽団があるのか分からないが、40万都市としては松戸交響楽団の定期演奏会もあっていいのではないかと。美術館も松戸市立美術館があったらいいと思う。年を取ってくると上野まで出かけるのも大変になって地元にあったら良いとも思います。	女性	70代以上
・松戸運動公園の弓道場の拡大、新・設立！無理ならばリニューアル工事、今のところを残しつつ、下水の臭いが下から上がってきて臭い。他の道場はキレイなのに、弓道場だけちょっと劣る気がするので整備してほしい。今年のJOCでは六中男子団体が日本一。女子個人は栗中から日本一が出ていますのに弓道場がこれでは・・・観戦場所もなく全くたち遅れているのではないのでしょうか。 ・話題を呼べるくらいの博物館展示・企画が出来ないのはまわりが悪く、人件費と維持費の税金無駄使いなので、顧客集金できて運営も潤うイベントもして欲しい。ファッションやブランド関係のものとか。もしくは、ものづくり(今ドキの)市とか。例)もみじ市(タマ川)とか、うまいパン特集とかでも。	女性	40代
親子で参加できる音楽鑑賞会。	女性	40代
講演会など。	男性	60代
大きなショッピングモールを兼ねた映画館。例えばおたかの森 SC。	男性	40代
無料のコンサート。市主催のワークショップ。	女性	30代
美術展覧会。	女性	40代
日本の伝統音楽は特に「邦楽」であって民謡などはカラオケ化してしまっている。例がおかしくないですか。イベントとしては邦楽は老人のものと思われています。子ども達に興味を持たせるような会はないでしょうか。	男性	70代以上

記述内容	性別	年齢
野外コンサート。広い公園でいろいろな場所でいろいろな音楽を演奏してもらおう。大道芸人などにも来てもらってわいわい騒ぎたいです。	女性	40代
絵画・彫刻・工芸などでもほとんどが都内まで出ないと鑑賞できないのか。予算や集客など問題があるでしょうが、少しずつ実施されては？	男性	70代以上
地域対抗ダンス祭り。地域アイドル育成。	女性	60代
指導者レベル・趣味レベル・子ども達が合同で行えるようなイベント。	男性	40代
美術・博物館。	男性	40代
国際的な交流(子ども同士・学生間・社会人間などでそれぞれ参加できるもの)。街並みや街路樹、植え込みなどに植物を植えたりする景観作り、またはコンテストなど。	女性	40代
渋谷の野外音楽堂のようなところがあって、人を集めているいろいろな方が演奏、歌、踊りなどをやって身近に多くの方が楽しめたらいいと思います。松戸の音楽なんて良い響きだと思います。ただ駅から森のホール21のように遠いと駄目だと思います。40～50代の人達が興味を引くものは何か、先日の目黒のサンマ祭りじゃないですか？これといった名物の文化的なものをずっと続けていけば・・・。	男性	40代
演芸会、地域の歴史、クラシック音楽会。	女性	70代以上
演劇・舞踊・音楽会などを定期的に安い料金で観られるとよいと思います。	女性	70代以上
夏フェスみたいに若い人のライブとか、ダンスとかの大会をやるなど「松戸といえば・・・」というくらいフェスティバルを作れば他の市などからも人が集まり、文化の街として認められるのではないのでしょうか。地味な活動だけでは広く認識はされないと思います。	女性	40代
歴史を感じるものなどの鑑賞会など。	男性	20代
陶芸体験のできるイベント、オーケストラなどを鑑賞。	女性	30代
ジャンルレスのフェスティバルがあったら面白いかも。音楽だけでなく演芸なども全て催すフェスを21世紀の森と広場でやってみたらどうでしょうか。あと21世紀の森と広場は休日になるとコスプレの人が集まって披露しあってる場面をよく見かけます。それを催し物としてやってみるのはどうでしょうか？催し物の場所を提供するのは大きな支援のひとつになると思います。	男性	20代
坂川で桜の季節に音楽イベント、成功すれば毎年開催。	女性	20代
地域ごとの歴史などの場所や写真などの展示。	女性	40代
それ以前に緑の保全や街の景観を充実しなければ芸術も色あせてしまう。	女性	30代
イベント会場への送迎バス(障害者・高齢者の為)。		
青空コンサート。	女性	40代
能・狂言・文楽の催し物。	女性	70代以上
高校や大学などと市と一緒にみんなで参加できる文化祭のようなイベントをやって、お年寄り子ども達とみんなが楽しめるものがあればよいと思います。	女性	50代
オカリナコンサート。	女性	50代
山下清さんの絵の展覧会(前に上野でやってたのを見逃してしまった)。アラビア語にふれてみたい(文字の読み方とか)。	女性	40代
・市内の文化財をめぐるウォーキングイベント。・市内の文化財を利用した季節のイベント。・市内の文化財を利用した芸術鑑賞のイベント。・市の歴史文化に関する講演会。・市内の歴史マップ(子ども達が作って地域で配布するなど)。	女性	40代
子どもと老人と一緒に競える将棋など。何の接点もなければ話も弾まないが、同じ趣味の元に集まれば年に関係なく楽しめると思うし、子供も大人を尊敬すると思う。	女性	30代
松戸市を舞台としたメディア芸術(ショートムービー)などのコンテスト。	男性	30代
色んな文化芸術を気軽に体験してみたい。	女性	20代
若い親子で参加できるイベントを！子育て支援策の幅を広げ豊かな創造力を育み、受験のための勉強に傾いている現状に新しい子育てを学んでほしい。	女性	60代
子ども達が楽しめて参加できるようなイベントを企画してほしい。親は忙しすぎてしたくても出来ない状態です。	女性	60代
お琴、クラシックギター。	女性	60代
陶芸家の作品を是非みたいのですが。	女性	40代
私的希望、松戸～新松戸沿線で2000人収容のコンサートホール欲しいですね。でも大切な財源の中からということになるのでですから住民皆様のOKがあればということです。	男性	70代以上
美術展の開催。	女性	60代
音楽・美術に関するイベント。	女性	60代
小さな子供でも一緒に観られる映画などの上映をもっと安い値段で月1回くらい頻繁に行って欲しい。	女性	30代
コンサートなどもっと多くの方が参加できるもの。	女性	30代

記述内容	性別	年齢
仕事が都内なのでどうしてもイベントの情報は都内中心に見てしまう。よって地元にいる休日のイベントをもっと増やすのがよい。	男性	50代
映画祭・国内外から集客が出来るイベント。	女性	40代
子ども達は未来があるので活動・交流は賛成ですが、あと2年もすれば年金暮らしになります私達。東京都 33 年間在住の時は、もう少し安価でたくさんの活動内容があり、充実していました。都と県の予算枠の違いは理解できますが高齢者の楽しむ範囲に限界があります。問8-1で×に訂正したのは、以前行っていたものは鑑賞できなかったからです。高齢者にも語学コースが欲しいですね。	女性	60代
私の住まいの近くには店も少なく、駅の近くに映画館なりホールなりを作っていただきたいと思います。	女性	70代以上
市民ミュージカルの企画。	女性	40代
市営のホールなどを利用したコンサートの開催。	男性	50代
絵画展。	女性	50代
松戸市内に転居する際、千葉は「文化果つるところ(特に松戸は)」、東京都内に出掛けた方が多数。	男性	70代以上
高校生などのダンス甲子園など。	女性	50代
生活文化や芸術に関する市民が参加型のイベントは、現在でもそれぞれ地域で行われている方だと思います。もう少し伝統芸能のイベントに力を入れても良いのかと思います。	女性	30代
クラシックの世界的なものを森のホール 21 で開催していただければ、近いので鑑賞しに行けて有り難い。	女性	60代
青森県十和田市のような美術館とPRイベント。静岡県静岡市のような大道芸イベント。	女性	30代
21 世紀の森と広場での野外コンサート。科学も取り入れてほしい。JAXA の住居もあることですし。	女性	50代
ミュージカルや映画の無料開催。	女性	30代
絵画展・オーケストラ演奏会・若者のポピュラー音楽のコンサート。	女性	40代
松戸アートプロジェクト(松戸の空き店舗を利用した現代美術の展示参加)。	女性	60代
文化芸術を通じて国際交流できる場があればよいと思います。INTERNATIONAL な地域は子ども達にも良い影響を与えるのではないのでしょうか。	男性	40代
柏市でやっているストリートミュージシャンが自由に参加できるフォークソングのイベントや、ダンス甲子園のような若い人を中心としたイベント。	男性	40代
日本の伝統芸能を年間を通じて体験できるようなワークショップ。各学校での芸術鑑賞教室の充実。市民参加のミュージカル・演劇などの公演。	女性	40代
やる必要はない。	女性	30代
これから先は介護の問題がいろいろと出てくると思います。しかも子ども達の減少となると現実問題です。大変だけど明るい老後などを題材とした映画なんかを市民が安価で観られる催しを年 4 回くらいやっていただけたらうれしい。某新聞社で 1 人 100 円の映画鑑賞を見に行ったことがありました。	女性	60代
イベントに夏休み、冬休みの宿題である書道・絵画などの書き方を無料で教えてくれる教室を市が運営して欲しい。松戸市にはレクリエーションインストラクターがたくさんいます。有資格者を有償で上手に使えばいい。	女性	30代
問 13 に関して正直言って良く分からない。	女性	60代
市有文化財に出会える市立博物館はイベント等のみの入場でも入場料を徴収される。これはかねてより不満で、年に数回でも無料のイベントを考えてほしい。	男性	60代
オーケストラの定期演奏会、吹奏楽の演奏会。	男性	60代
子連れでいける映画や音楽鑑賞。	女性	40代
特に思い当たらないが広報にはそれぞれ良い物があると思う。	女性	60代
もっと話題になるような絵画の展覧会などを催せばよいのではないでしょう。	女性	40代
女子の興味があるファッションショーの開催。男子の興味があるゲームシアターの開催。	男性	40代
日本の伝統、文化、日本の良いところを子ども達に伝えていく。松戸市の良いところ。	男性	40代
公園などで気軽に鑑賞できる場があれば嬉しい。ジャズ演奏や大道芸が見られる感じ。	男性	30代
1ドルコンサートのような、気軽に参加でき、手軽に音楽に触れる機会があったらいいなと思います。松戸市のホールは古く、おしゃれ感に欠けていると感じます。私は横浜市出身なので物足りなさを感じてしまいます。クラシック音楽と聞くと堅苦しく聞こえますが、CM で使われていたり、子ども番組で替え歌にされていたり、作者の写真が面白い(パッハなど!)等思いのほか興味を持ってくれたりするのです。	女性	30代
市が直接関与すべきことではない。イベント等のための場所の提供だけでいい。	男性	70代以上
文化芸術を体験するイベント(無料であるとなお嬉しい)が多くほしい。	女性	50代

記述内容	性別	年齢
落語や歌舞伎。	女性	30代
特にありません。期待もしていません。	男性	70代以上
乳幼児も一緒に鑑賞できるコンサートとかあると良いと思います。やはり小さい子がいるとなかなか行くことは無理なので、多少うるさくしても大丈夫なように、親子が楽しめるイベントがあると嬉しいです。	女性	30代
松戸B級グルメ大会。	男性	30代
①松戸駅の立体になっている広いスペースで、もしくは野外で(江戸川の河川敷もすてき)、名画座鑑賞会とか、夏に。カラオケ大会も楽しそう、夕涼みに。②獅子舞が大好きなので、公共のたくさん人がいるところで、獅子舞が見たい。松戸駅のあたりとかで。③クラシック鑑賞会とかもいいなあ。今日はモーツァルトとかで、あと世界の音楽会とか、今日はブラジルの音楽会 in 松戸駅 or○○公園とか、とにかく！それが目的じゃない人にも触れてもらって、なんだこれって興味もってもらえたらサイコーだと思う。	女性	30代
講習会や芸術的な内容の教室(近くに少ないため)。	女性	20代
市主催で本アンケートにて想定されている各種文化芸術を、年1回、2~3日同時に同じ会場で発表するような機会があると、足を運びやすいのではないかと思います。	男性	60代
森のホール21にくるアーティストの充実。演歌ばかりでなく、小さな子どもや若年層も参加できるように。またホールだけでなく野外イベントなど、子連れで参加できる音楽や文化のイベントがあると良いです。日比谷公園などはとても多いので。さすが都内だと思います。	女性	40代
市民の方々の展覧会のようなもの。	女性	70代以上
工芸等は特に次世代に引き継ぐため、事業の推進を希望する。	女性	60代
有名な文化芸術関係者を呼び、ふれ合う企画。	女性	20代
気軽に鑑賞できる伝統芸能の場があると良いと思う。	女性	60代
落語会(定期的)。	男性	50代
子供と参加できるイベント。	女性	20代
オペラ・ミュージカル月間など重点をつくる。	男性	30代
子供と一緒に体験ができる陶芸や何か昔のものをつくったり出来るものがあればよいと思います。	女性	40代
駅前などでものづくりのカルチャースクール、アマチュアアーティスト参加の場。よさこい、クラシックコンサート、カラーの勉強。松戸市は駅前で文化イベントをたくさんやっている方だと思いますが、どこかさえない。設備が洗練されていなく、身内のイベントのような雰囲気。	女性	30代
子ども達も一緒になって楽しめるイベント。	女性	40代
全小学校44校合同の文化祭「こどもまつり」。	男性	40代
文学、歴史の史跡めぐりがあれば、参加したい。	女性	60代
・松戸市の歴史(街並みの写真や、人口の変化など)の展示。・子どもが作った作品(絵画、書道、演奏会、スピーチなど)の発表の場の提供。・「子どもを生き、育てたくなる街」として、お子さん連れの親(ママさん、パパさん)と、新米ママさん、パパさんが情報交換できる場やイベントの提供。	女性	20代
広報まつど10/15号を見ても、各部門における催し物やイベント、市民の自主企画やサークル活動、また講座等、盛りだくさん開催されており、各担当部門の結果の分析を踏まえて、一層の振興を望みます。	男性	70代以上
アニメーション。	男性	20代
・子ども達の絵画や書道など、優秀な作品の展示、発表する(できる)施設の充実。公式に表彰される(レベルの高いもの)コンテストなど。・森のホール21で開催されるコンサートなどで、市民優待の割引料金で鑑賞できる機会など。	女性	40代
松戸駅東、西口の整備による、フリーで使用できるイベントスペースの常設で、「毎月、毎週、○○日、○○曜日に何かやっている」というピーアールが大事。	男性	60代
子どもの体験型イベント。	女性	30代
美術展(絵画)。	女性	50代
花火大会、松戸まつりで十分です。	男性	40代
松戸まつりに際して、市や地域の文化、芸術活動の実際を紹介する(実演や映像など)。公開できる範囲の実物の展示等。	男性	50代
どこの会館を見ても老人の集会が多く、若い人達の集会がほとんどなく、良いものがないものか考えて下さい。	男性	70代以上
戸定邸を観るだけのものにししないで、ここで文化芸術活動の演芸、ポピュラー音楽など、場違いではないかと思われるイベントを行うのも面白いと思う。	男性	60代

記述内容	性別	年齢
松戸市小中学校に文化芸術が体験、ふれあうイベントがあればと思います。中学校へオーケストラが数年に一度演奏会を聞かせてくれますが、毎年一度、無料で来校してくれれば・・・と思います(興味がある親も参加できますし・・・)。演劇、舞踊でも良いと思います。子ども達は身近に観られて興味がわくし、生で見られることは、テレビで観るより刺激になり、文化芸術が心に残ると思います。	女性	40代
このアンケートの予算はどのくらい取っているのかわかりませんが、3000人無作為に送付費用、3000人×160円=480000円、もっとも無駄だったアンケートのお礼とお願いのハガキ、50円×3000人=150000円、合計630000円。松戸まつりでアンケートを取るとか、市役所にコーナーを設けるとか、市役所、市民会館等、人の集まる場所で取るべき。市民環境本部の皆さん、机の上での業務だけでなく、身体と頭を使って仕事して下さい。松戸市はそんなにお金が残っているんですか？税金の一部です。有効に使って下さい。民間ならそんなにお金をかけないでアンケートを取っていますよ。お金をかけずアイデアで良い文化芸術の振興に努めましょう！	女性	60代
全国規模の絵画公募展、ファッションショー、映画祭など。	男性	40代
市内のデッドスペースを使い、広域で表現するアートが見たい。	男性	30代
イベントだけで文化の香りがする街にはなりません。街、特に松戸駅前の看板の乱立する雑然とした感じと文化は馴染まない。	男性	60代
東京の江戸川区の文化センター、初めて行って、素晴らしい施設があり感激した。千葉市の文化センター、これも素晴らしい。10月に船橋市の文化センターも行きます。72才ですが、個人的に若い頃の映画音楽をオーケストラや、管楽器の演奏があると、何人かを誘って行きます。松戸市では上記のような演奏会が(特に映画音楽主体で、その中で歌手の人が2~3曲歌うと本当に楽しい)、情報が少ないのか、行ってません。上記の3市に行きましたが、全て無料でした。	男性	70代以上
限定はできませんが、森のホール21を生かしたイベントは、学校単位でも参加できて良いと思います。	女性	40代
演劇祭。	女性	30代
地域の伝統芸能等、学校の運動会等で披露できたら良いと思う。	男性	70代以上
子ども達が体験できるような参加型のイベントが、身近で手軽な感覚であつたらいいなと思います。	女性	40代
松戸市の10月1日の松戸まつりでよいのではないかな。	女性	70代以上
子ども参加型(体験)の美術、音楽、伝統文化に触れるイベント。興味を持った子どもには、情報、会員等、バックアップを提供(次世代を育てることが大切)。	男性	40代
市が主導で開催してほしい。	男性	30代
美術(西洋、日本を問わず)鑑賞。	女性	50代
定期的に、親子で参加できる観劇会や音楽会。	女性	50代
ダンス。	女性	30代
市を象徴する美術館がほしいです。	男性	50代
日常生活常識・講座。	女性	60代
落語など演芸のイベントが多くあつたらいいと思う。	女性	60代
・ミュージカル。・歌舞伎。	女性	60代
日本文化を子ども達が体験できるイベント。私は子どもの頃、野外で野立てを楽しんだことが良い思い出です。木の枝から釜をつるし、土を掘って炭を組み。常盤平桜祭りでのことで、松本市長がお元気だった頃のようですが、あんな身近な楽しみ方が、もうできないのでしょうか。	女性	50代
海外の文化芸術作品の紹介、展示等。	男性	60代
陶芸品等の発表並びに即売会。	女性	50代
森のホール21でクラシックのコンサートを無料で開催してほしい。	男性	50代
市内に美術展覧会があつたらいいと思います。	女性	50代
親子で楽しむクラシック音楽、ミュージカル等々(本格的なもの)、民間主催では難しいイベントを市が開催してほしい。	男性	30代
ジャズフェスティバル。	女性	60代
オーケストラ演奏。美術館での有名絵画展示会。	女性	30代
毎年、春風亭小朝さんを楽しみにしています。立川志の輔さんも来てくれると嬉しいです。先日市立博物館へ初めて行きました。企画展示の量が少なかったのですが、解説のリーフレットが大変丁寧で、とても良かったです。美術、特に絵画系の芸術イベントがあると嬉しいです。	女性	40代
松戸は古い。ショッピングモール等もないし、映画館も少ない。松戸市が栄えるためには「松戸市に買い物に行く」といった発想を、若い世代にさせるような市にならなければ、資金が回らない。買い物に行くなら柏、鎌ヶ谷、船橋等に取り残されている。税金を上げたら市民が逃げる。そろそろ大規模な開発をしないと、ダサイ市になりますよ。	男性	30代

記述内容	性別	年齢
音楽や演芸は21世紀の森と広場があり十分だと思いますが、映画館や美術館がほとんどなく、東京や他県に行って鑑賞しています。その施設の充実をお願いします。	男性	50代
松戸の民芸、伝統文化を体験できるイベント。	女性	30代
・JAZZ フェスタ。・個展。	男性	20代
映画やダンスの鑑賞会、体験。	女性	20代
映画祭。	男性	50代
CGの活用。	男性	30代
硬式野球場。	女性	60代
場所的に遠いとなかなか足が遠のくので、地域には学校というとてもいい場所があります。使用できるのであれば、回覧等を利用して、皆様から何を望み、何をしたいのか、何が出来るのか、声掛けも一案ではないでしょうか。	女性	60代
絵画コンクール(うつく市のビエンナーレのように賞金も出す)。	男性	30代
歴史や文化遺産的なものにとっても興味があるが、地域に限定しない方が良いと思う。	男性	60代
私は絵手紙を楽しんでいるのですが、松戸の文化、名産等に関する絵手紙を、松戸市民から公募し、市のPRに使って欲しい。	女性	70代以上
演芸ホールのような気楽に鑑賞できる施設の充実や、森のホール21のもっと親しみのある活用の仕方。	女性	60代
・松戸市の歴史と地理－市民の暮らしから見る。・旧水戸街道沿いの歴史地理(江戸～平成)。・松戸の地形学の変遷(明治、大正、昭和、平成)。・市民なら知っておきたい松戸学(歴史地理主体)。	男性	50代
・クラシックのコンサート。・演劇。・合唱サークル。・ギター、ウクレレ教室。	女性	70代以上
柏市で行っていた、子どもが日本舞踊や華道等を、公民館で月に1、2回無料で教えていたイベントを、松戸市でもやってもらいたいです。	女性	30代
松戸市に移転してあまり月日経っていないので、今いろいろ歩き回っています。	男性	60代
他県等で好評なものを調べてみては。市の取り組みのレベルがわかりません。	男性	50代
中高年が気軽に集まれるサロンやカフェのような場所。市民センターの和室では、足の不自由な人、膝に負担を抱えた人は利用しにくい。ボランティア的グループが、自主的に低額料金で細々とやっているのが現状ではないでしょうか？大きなイベントもよいですが、もっと身近に集える場所が大切だと思います。文化芸術の枠を大きくとらせて下さい。	男性	50代
松戸市民が参加できる芸術イベント。美術 etc、気軽に簡単。	女性	20代
夏休み、小学生対象の演劇やクラシック音楽。	女性	60代
①開発や準備、トレーニング、リハーサルなど(PC利用、音響、映像制作機器)、共用できるワーキングスペースがない(低額利用)。24時間利用可能とする(場所をA・B・Cとわけて、清掃は順次交代)。②市の公認項目を増やす。③市役所、支所のより有効な人材活用(民間施設活用の拡充などで。施設利用の自由度の拡大。極論、空きの事務施設でダンス練習など)。ぼーっとしている人が多い。管理職(ポストが多すぎる)のコストパフォーマンスが民間に比べ低い。④地域コミュニティとの交流の打ち合わせ数を増やす。	男性	40代
市在住の文化人の作品展示や講演など。	男性	70代以上
①長野県松本市のような、たとえば”サイトラ・キネン・フェスティバル”のような、長年にわたるイベントを定期的に開催し、世界にその名が知れ渡るようになると良いと思う。②世界的なコンクールを新たに創設する。	男性	70代以上
商業ベースに乗らない、隠れた社会性のあるドキュメント映画、あるいは芸術性高い文芸作品を、常時上映するアートシアター。例、渋谷・アップ・リンク。	男性	70代以上
招待券の配布。	男性	20代
落語。	女性	50代
クラシックなどのコンサート(施設がなく難しいかもしれないが)。絵画や伝統芸能に触れる場がほしい。	女性	30代
地域音楽サークル。	男性	60代
市単位よりも、地域単位でのイベントが出来るような環境を作る。たとえば、森のホール21でやるイベントよりも、商店街や地域のお祭りなどでのジャズの演奏とか。	女性	40代
とても興味あるアンケートなのに、市が「文化の薫るまち」を目指していることを知りませんでした。これから自分なりに考えるきっかけになりました。思い付かなくてごめんなさい。	女性	60代
イベントより場、特に児童、生徒のいられる場所を作り、そこからイベントなども生まれてくると思う。してもらいイベントより、市民が自ら作り出せる場を作るべき。	女性	60代

記述内容	性別	年齢
最新の映画館つきテーマパーク(食(体に優しい)、温泉(効果、正しい入り方)、美術館、図書館等)。高齢社会に対応できる、人に優しい、お財布にやさしい、心豊かになれる場所づくりをしてほしい。陶芸教室。	女性	50代
もっと身近に文化芸術に触れられるような機会を多く作る。例えば、ジャズフェスティバルのように、一つの町を1日(1~2日)フェスティバル会場にする。アートフェスティバルなら、カフェ、駅、商店街をアートギャラリーのようにする。アングラ劇、スペインのフラメンコを、レストランのような店でライブとして上演する場を作り、身近に触れられるようにする。	女性	40代
クラシックコンサートの充実(子どもが参加できるもの、子どもが体験できる等)。	女性	30代
サークル等の文化祭。	女性	40代
芸術週間のような期間を作り、市内のホール、文化施設等で短い時間のコンサートなどを多数催して、安い金額で鑑賞できるようにする(GWに東京国際フォーラムで行う、ラ・フォル・ジュルネのようなもの)。	女性	40代
大きな映画館(松戸駅に)。	女性	60代
水墨画で私も入選、新人賞、優秀賞、特選と、日の目を見た作品はよいのですが、文化芸術イベントの前に、特に陶芸等を実践している方は、大から小まで日の目を見ない作品が家の中にゴロゴロしていて、家族の者に邪魔にされているので、よかつたらもらって下さいと言われ、2~3の方より頂きましたが、”うもれた作品祭(展)”原価販売として、イベントを年1回でも大々的に行ったら、また作品制作に意欲が出、素晴らしい芸術家の誕生となるのではないかと思っております。	女性	70代以上
松戸市民劇場があるので、松戸市が援助して演劇に力を入れてほしい。	女性	60代
親子で楽しめるクラシックコンサート。	女性	30代
それぞれの道の達人と言われる人のお話を聞く会が、時々でもあればよいと思います。	女性	70代以上
私個人的にオペラを他県で演奏、うたってきたので、オペラをぜひ提案したいです。とても大変ですが、総合芸術ですので、オーケストラ、舞台美術、バレエ舞踊、ホールも活かして、合唱、ソリストと、歌ももちろん、大勢参加できます。練習期間は長いですが、友人も多くできます。松戸市の組織はアマチュア団体のみで、プロの組織化がない(難しいことかと思いますが)。優秀な方々が多く住んでいるのに、みんな都内へ向いてしまい、もったいない気がします。個人的に聖徳大学は音楽科はありますが、聖徳が松戸をより立てる音楽の中核を担うのは反対で、いろんな立場の芸術家個人が多く集まって、民主主義的に意見を交換して決めていく方を推進してほしいです。	女性	40代
若者向けのイベント。	男性	50代
松戸は上野に近く、芸大のキャンパス(上野~取手)間上に位置しているので、芸大の学生、または教員も多く住んでいると思いますので、何か若いエネルギーを感じる、魅力あるイベントを、アイデアを出し合ってもらい、単発だけに終わらない、継続して続けられるものを考えていてもらいたい。	女性	50代
質問と少し違いますが、一つ！イベント等を行うスペース(広場)があってもいいかと。公園や街中など、それ程大きくなくてもいいかと。舞台や観覧席になりうる、または化けられる場所があると、文化の発信に役立つと思います。	男性	50代
松戸祭りのように文化芸術活動している人達に、発表する場を定期的に開催する。例)ダンスコンテストやバンドコンテスト、秋の芸術祭といった感じで創作物の展示や伝統芸術の公演。	男性	20代
①上野の施設、六本木の施設等充実しており、松戸市内より一時間以内の距離にあり活用すれば良い。②民で出来ることは民に委せれば良い。③「ハコモノ」は建設の必要はない。	男性	70代以上
有名画家の展示会。	男性	40代
昔、移動サーカス団が町に来たことがあったが、幼い頃の私にとって非常に印象に残ったので、そういった機会があったら良いなと思います。小さいお子さん連れで都内に出て行くのも大変だと思うし・・・。	女性	20代
手軽に参加出来る健康的な体操教室やヨガ・ピラティスなどの教室。	女性	40代
子どもから大人まで体験(無料)出来るようなものを開催する。蕎麦打ち、芋掘り、梨狩り(季節ものを狩る)、映画無料日(人が来て地域が潤うもの)、プラネタリウムの無料日等。	男性	30代
・文化芸術系の教育機関の誘致。・上記機関とタイアップした文化芸術都市づくり。・日本ビエンナーレ等の主催都市。	男性	60代
国内・海外からの公演(招へい)、展覧会等のイベント、親しみやすい音楽・美術。	男性	50代
・国際交流の場。各地で行われるドイツのオクトーバーフェスト(ビール祭り)の様な、他国のイベントを取り入れ、子ども達に国際交流の場を与える。アイルランドのセントパトリックフェスティバル(表参道で行われているような)なども。・季節のイベント。原宿で行われているようなハロウインの様な仮装行列で子ども主体で楽しいもの。・市内大会。ミュージカル(劇団)やロックバンドのようなコンテストを行う。	男性	20代

記述内容	性別	年齢
例えば松戸市文化賞のようなきちんとした賞を設けて、文化面で活躍する人が目標を持っているようにして優秀な芸術家を育てると、市のレベルが上がると思う。賞金もあると良い。	女性	60代
文化芸術関連講演会。大学等と連携したオープンカレッジ等。	男性	70代以上
旧時計台ステージを利用した催物。	女性	20代
常時鑑賞出来る文化芸術全般に関する展覧会等の開催。市内の史跡等を巡るハイキング・ウォークラリー等の開催。	男性	50代
祭り。	男性	30代
絵や写真の展示。色々な地方の祭りを開催(ねぶた、etc)。	女性	50代
親子で参加出来る陶芸など。	女性	40代
国際的な文化交流、町内に住む外国籍の人々と。	男性	60代
住んで居る所が中心地なので今は出かけようとは思いませんが、小学生の子どもの学校で何らかの作品が、大きな会場で展示されたりすれば、見に行くし、同じ会場に他の文化芸術作品が並んだりすれば見やすいし、見たいと思います(既に開催していたら済みません)。	女性	40代
有名な絵画の作品展示等があると良いのでは…。でも松戸駅周辺で開催すると家から遠いので見に行かれないかも…。	女性	40代
谷川俊太郎の詩の朗読会。	男性	40代
・市民向け音楽祭。・市民が安く聴きに行けるプロのオーケストラや演奏会など。・茶道教室(先日探したが市内には余り無かった)。	女性	20代
オーケストラやクラシックの音楽鑑賞等。	男性	20代
日本に由来したものなら何でも良い。	男性	20代
松戸駅の展示所のコーナーが古すぎる。もっと芸術的な文化的な演出や見せ方の工夫があつてほしい。単なる通路ではなく、アートカフェ的な空間作りをして欲しい。	女性	40代
ポピュラーな音楽や演劇など、週末など定期的に気軽に行けるイベントがあつたら良いと思います。駅近くのギャラリーの案内が駅構内の目立つ所があれば良いと思います。	女性	50代
問 15・・・映画館が松戸駅西口から無くなると聞いたのですが、映画館の(広い)充実が必要だと思います。	女性	50代
歌舞伎、能、狂言、お琴の演奏会。	女性	50代
映画祭・・・市民会館・森のホール 21 等で子ども向け、大人向けの映画を上映する。	男性	50代
絵画展(美術展)。	女性	40代
・自作映画の上映会やコンテスト。・市内で自作漫画を集めて発行したりする。	女性	20代
松戸駅周辺の整備・美化、統一性を持ってその中で文化活動を行うこと。例えばクラシックの演奏会等。	女性	50代
松戸市の昔からあるもの～現在までの写真の展覧会。	女性	60代
歌舞伎。	女性	20代
・松戸はラーメン店が多いこともあるのでラーメンにちなんだイベントをやると、人々が松戸に寄って来てくれるのでは…。・寺か神社が多いことをもっとアピールして江戸川も利用有りと思う。江戸川の歴史・イベント等。・松戸はとても良い町だと思うので、コアライベントなんて物もあつたら…。	男性	40代
市が奨励する映画の無料鑑賞、あるいは子どもの無料鑑賞等のイベント。	女性	20代
森のホール 21 や隣接する 21 世紀の森と広場の景観や施設は素晴らしいと思うので、どんどんイベントを開催してほしい。例えば森や公園を使った(展示)モダンアートとか野外コンサートも開いて欲しい。夏～秋に夕方公園を開放して親子で楽しむクラシックコンサートやジャズのライブなども良い。	女性	30代
過去に東京都内の岩崎庭園で、田中健さんのケーナ演奏を聴きました。文化財の前でとても素晴らしかったです。松戸市の庭園などで演奏など聴けたら嬉しいです。	女性	50代
日本は元より、その地域によりいろいろな文化や環境など様々だと思いますが、私自身の年齢の 30～40 代の一番の働き盛りに、生きていく自信ややる気などプラスになるような気持ちにさせて頂ける様なイベントや文化芸術の機会があれば良いと思います。	男性	30代
DIY。自転車。農業。	女性	40代
クラシックコンサート。演奏。	女性	60代
演劇。	男性	50代
問 15 にもつながるのですが、大きなイベント等はどうしても東京へ行ってしまう。でも、自宅近くで小さな規模でも、自分の興味のあることがあれば気楽に行けて良いなと思います。東漸寺で”お寺のコンサート”を年に 1～2 回有名な方々を招いて行っていますが、まだ 1 回しか行ったことがないのですが、気軽に行けて良いと思います。そういう事があちこちであれば良いなと思います。	女性	40代

記述内容	性別	年齢
色々な文化の発表交流会を一同(同時期)に行う企画をして頂きたい。	男性	70代以上
文化芸術の発表会(市内のものを一度に集めて開く)。	男性	30代
伝統文化の子どもの体験講習会など。子どもの参加出来る国際交流のイベント。子どもが文化的な活動を多くするようにすれば自然と大人も付いてくるので・・・。	女性	40代
スピーカーを使わない音楽のイベントフェスティバル。	女性	50代
小中学校の合唱コンクール。小中学校のダンス甲子園等。	男性	40代
ダンスや音楽など明るく楽しいイベントがあったら良いなと思います。	女性	40代
既に実施されていると思うのですが、地元の工芸品を取り扱うイベントをする事によって、何かしら産業の発展につながるような形にすればと思います。経済につながらなければ、継続は難しくなるはず。コンサートホール等の維持費も大変でしょうが、出来るだけ無料で文化活動の発表の場を提供することも大切です。	女性	40代
商店街の空き店舗を利用したアーケードカフェ。幾つかを中継拠点とし、商店街を結び、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催したり、それぞれ委託、アイデアを募り企画・開催する。	女性	40代
大谷口城の再建など良いと思います。箱物は敬遠される昨今ですが、かつて千葉県最大級と言われて城には興味があります。矢切の渡しなどのマンホールは蓋はともいいと思います。そのような小さな成功を積み重ねていくこと。自然と「文化の薫るまち」になるとと思います。	男性	50代
・市民で作る映画の映画祭。・市民で作る演劇の演劇祭。	女性	40代
「出前コンサート」・・・学校や地域に演奏者を派遣し、身近に音楽を楽しんでもらう企画。	女性	40代
楽器の低額レンタル。	男性	60代
子ども達が興味を持てるようなイベントがあれば良いと思います。サーカス、ミュージカル、手品ショーなど。	女性	40代
松戸市に歌舞伎等が出来る場所が欲しいです。		
俳句募集や発表会等。	男性	70代以上

記述内容	性別	年齢
シンボルスポットをつくってそこから情報発信する。	男性	20代
・長野県小布施のような古い街並みの景観修復。・地域の食材を利用した食事処、地域の歴史の紹介。・図書館の充実、整備。・文化芸術に関わる人材育成補助。・東京に充実した施設、イベントが多数ある中で、松戸市としての独自性を考えて発展させてもらいたい。	男性	40代
文化芸術振興よりも松戸駅東、西口の街並みを整理して欲しい。バー、キャバレー、パチンコ、ホテルが多すぎる。	男性	70代以上
今まで古ヶ崎センターでお花を教えておりました。その時は花器がありました。今度教える樋ノ口センター(青少年会館)には花器がありませんので、お花の花器を購入してもらいたいです。	女性	70代以上
やるなら徹底的にやって欲しい。中途半端に実施することほど、無駄なものはないと思う。文化芸術振興を目指した先駆者の町など、吸収、応用できるものは最大限に利用して、より良いまちづくりをしていただきたい。	男性	30代
このアンケート調査で、「文化の香りのする街構築プロジェクト」を知りました。伝統文化等を残していくことは、とても大切なことだと思いますが、どのようなものがあるのか、残っているのか分かりません。周知することも必要と考えます。	女性	50代
森のホール 21 は立派な建物ですが、交通の便が悪い。子ども、高齢者も安全に行けるように駅からの交通手段を考えて欲しい。	女性	60代
若者が熱くなれる文化芸術があれば街の不良も少しは目的を持ち、マシな行動を取るのではないのでしょうか。今駅にあるポスターなどは若者の興味を引かないかと思います。	男性	30代
将来子ども達が思い出に残るような施設をつくり活発に動けるようなまちづくりにして欲しい。	女性	60代
松戸にはカルチャースクールがない。北千住や柏、金町などには大型のカルチャースクールがあるのに松戸にないのはおかしい。わざわざ電車で他市に通わなくてはいけない。もっと近くに手頃に芸術に触れられるようにして欲しい。	女性	30代
市内の施設、例えば森のホール 21 へ行くための交通手段が極めて不便。会場まで行く気にならない。住まいの近くには施設がない。地域に偏りすぎている。	男性	60代
消えゆく日本独特の芸術を今からもっと子どものうちより、観たり、聞いたりさせ、消さないようにすべきである。大人の責任です。	女性	70代以上
歴史的な文化財の保護と、その良さを伝える活動があると良いと思います。	男性	50代
松戸都民と言われるとおり、松戸は東京で仕事をしている人が大半を占めています。たまの休日に、コミュニティーに参加する気力もあまり出てきません。自然の散策、図書館の利用などの行動になってしまいます。休日が来るのが待ち遠しい子ども心に戻れるような、1人でも楽しくサークルでも楽しい娯楽(趣味)場所を提供して欲しい。	男性	50代
衛星都市として膨張した街にありがちな各種施設の点在。人心の多様化など、市として統括されていない感じがします。長期的に環境づくりが大切で、みどりのまちづくりの継続推進、駅周辺の集約充実(駅ビルの拡大含む)、県などの施設の誘致、現在大学との連携など、将来を担う子どもさん達の文化芸術、教育レベルの向上を施策し、歴史的に見どころのある松戸市特有の財産保存も加え、文化薫る街の創造を期待しています。	男性	70代以上
松戸市で残したい文化芸術は何かを市民にアピールして気軽に鑑賞できるようにして欲しいです。松戸駅のギャラリー周辺整備をして欲しいです。	女性	50代
アートプロジェクトなど期間限定の取り組みは中途半端であり評価できない。	男性	50代
子どもが継続的に参加できる内容があったら助かります。	女性	40代
若者が文化を考えられる状況をつくる。ファッションブルな街、アートを感じられる街にする。	男性	20代
やたらに小さな施設を作りすぎている。森のホール 21 は足の便が悪い。これらを踏まえ、施設のあり方の見直しが必要。	男性	60代
色々の現在行われている催し物に対する宣伝、広報の不足、例えば、今で言えばコスモス畑にしても全市の人がどれだけ応援しているか。市民会館の前に山崎直子さんの顕彰碑を建てた時も市民会館に集まった人は通りすがりの人 20 人ほどであった。桜祭り、花火はあれだけの人が集まるわけですから、長い目で見た宣伝力が必要と思う。	男性	70代以上
前項に書いてしまいましたが、市外の人々のイメージはあんまり良くなくて、どうしてか尋ねると駅周辺が危なそうな雰囲気なのだそうです。あんまりパチンコ屋さんやゲームセンターばかりだと射幸心が強いばかりの人が多そうに見えるのかも。喫煙場所になっているのも良くないと思います。	女性	40代
もっと自由に参加できる場を作って欲しい。市民図書館は充実している。私も常に利用させてもらっている。	男性	70代以上
休日の学校などを使用して習い事などが出来たらいいと思う。近いと子育て中でも通うのが楽なので。	女性	20代
他県では、その市、地元のカルタ等あって、読み上げている子を電車の中で、その様子を見たことがあります。松戸も戸定邸の様な歴史と共に他にも多数あると思います。	女性	70代以上

記述内容	性別	年齢
芸術に関係する者が住みやすいまちづくり。	男性	50代
気楽に行けるところ。気軽さ。	女性	70代以上
松戸駅徒歩圏内に居住していますが、駅周辺には古くて歴史を感じさせる建物、場所が数多くある一方、駅前の秩序無い景観、店舗等にガッカリしております。地元町会同志、もっと松戸のまちづくりについて方向性を定めて取り組んでいけるよう、市の役割に期待したいです。	女性	40代
・市外の人々から注目され、年間数十万人の人々が訪れるような継続的イベント施設(大規模業者の企画誘致)。・松戸市のイメージを大胆に変える施策(地道な活動も大切であるが、大規模、大胆さが必要)。	男性	60代
文化芸術施設は上野公園及び都心部にあるもので充分であり、松戸市内に必要性は感じない。松戸市の「まちづくり」は東京のベッタウンに徹するべきである。	男性	60代
・シニアの方や小さな子どもがいる方などが楽に移動、参加できるように、バス、路面電車(トラムなど)、モノレールなど、交通インフラをもっと考えていただきたいです(今のままでは不便すぎ)。・まちづくりがちぐはぐなような気がします。松戸の良いところ「売り」は何でしょう? 今回のアンケートはよい機会になりました。これからも「考えて」いきたいと思いました。	男性	40代
市にゆかりがある俳人や作家の作品(一部でも良い)を町のあちこち(関係があるところだけでなく)、看板など貼るなり立てるなりする(台東区は家々に俳句が貼ってある)。	女性	30代
私ではなく、今新聞もとっていない、パソコンもない、出歩かない等の方が多くと思います。松戸に活気が無くなっているように思います。とても、淋しい町になってしまいました。やはり、もっと活気のある町になって欲しいです。市の広報でもっと一人一人に行き届く情報が欲しいです。参考にならないことばかりしか書けずすいません。	女性	40代
市民の意識改革からだと思う。そもそも松戸市はベッタウンのイメージが強く、私自身都内に出やすいという理由だけでも住んでいて、松戸に芸術を求めているし、市のイメージも、なんとなく「汚い」「ガラが悪い」の方が強い。全くクリーンだったり芸術のイメージからは程遠い。	女性	40代
まず街並みが汚いので、それをきれいにしないと、いくら文化芸術といっても目を向けてくれる人が少ない。松戸市は転出入も多そうなので、市民が一体となるような文化芸術の振興を目指すなら、まず町のイメージから変えて欲しい。	男性	20代
柏や北千住に挟まれて今ひとつこれといった目玉的なものがないように感じられます。若者や老人達が気楽に安くて借りられる活動の場がもっとあったら、そこから芽を出す人材も出るのではと思っています。	女性	70代以上
駅まわりをスマートな緑ある風景に変えなければ松戸のイメージは変わりません。江戸川に続くまでの道の充実度です。	女性	60代
駅前の景観をきれいにして下さい。図書館を大きくきれいにして下さい。	男性	30代
今の生活が大変で文化芸術に関心が持てません。	女性	60代
もっと文化施設を交通の便の良いところに。	男性	40代
松戸市は他の市より色々な事で市民に対する取り組みが遅れている。絵の展示会なども取り組んで欲しい。	男性	30代
義務教育課程に芸術活動を取り入れて欲しい。	女性	30代
・駅周辺の西部。	女性	40代
積極的に文化グループの支援をする。	男性	70代以上
こういうアンケートが何の役に立つのか、全く理解できない。税金の無駄遣いでは無かろうか。	男性	70代以上
森のホール 21 の交通の利便性。	女性	40代
文化芸術が松戸市の象徴となったら、素敵だと思います。あまり堅苦しいものだけでなく、若い人も気軽に関わりやすい分野の催しがあると良いと思います。	女性	20代
文化という前に「まち」をきれいにしたい。住民の意識が低い! 大人がゴミを捨てるので、子どもも捨てる、犬の糞を残したまま。公園が汚い。まちが汚い。	女性	30代
市報の配布→新聞をとっていないと手に入れにくい。申込みにより自宅へ配布されていますが、若い人の多くが新聞離れをしています。市の文化情報も含めて、各戸配布を進める事は出来ませんか?	女性	60代
私が以前住んでいたところでは神社やお寺で、よく能などの芸能などが行われていました。子ども達にも神社や、お寺に足を運ぶ機会などを増やすと言う事も良いのでは。	女性	40代
市の中心はどこなのか? ・人が集まりやすいところでの活動。・古い昔からのものも大切だが、新しい活気あるものの提案。・歩きやすい道の整備。・駅の周りもスッキリしていない。段差があって自転車置き場ももっとなんとかできるでしょう。	女性	50代
ゆったり歩ける歩道の整備をして欲しい。文化芸術だけでなく、色々と考え事をしながらのんびり散歩が出来る環境があればよいなと思います。もう一つ、犬と一緒に歩ける自然豊かな公園が欲しいです。	女性	40代
若者が感心を持てるものが少ないと感じる。	男性	20代

記述内容	性別	年齢
文化を大切にすることも良いが、松戸市は子どもの手当(医療)や母子家庭医への手当など少ないと思う。そちらも重視したらいかがですか？	女性	20代
松戸市は、色々と文化芸術振興に対して催し物があったり、展示したりと発表の場が多いのではないかと思います。例えば、市民センターなどでの書道、生花、絵画など…。大きな場所での発表も良いけど、すぐ近くで行ける市民センターなどの、そういう場所(小さな)での活動が多い方が良いかと思います。	男性	60代
日本の古典芸能などに子ども達が触れる機会を作る。	女性	50代
子どもの将来を基本を考えて実践する事。	男性	70代以上
交通の便の良いところ(例えば、博物館に何か見たい物が開催されていてもなかなか行きづらい。歩いて20分くらい、バスもありますが、森のホール21も然りです)。	女性	50代
舞台劇や歌舞伎や音楽等をお願いします。	女性	70代以上
文化、芸術に資金を使うのはよいと思いますが、名前だけの役員などへの報酬を無くして下さい(天下りの役員とか)。	女性	30代
自宅の周りの家はほとんど子ども達が独立し、夫婦のみの世帯です。町の活性化に役立つ工夫が必要なのではないのでしょうか？	男性	60代
松戸駅に市民の絵画、書などを展示するコーナーがあるが、その前にホームレスの人たちがいて、全くみる事ができない。駅が汚れていて文化の香りが全くしない。・出かけるのが楽しくなるような、きれいな施設が駅周辺にあったらいいなと思います。	女性	40代
このアンケート内容を見る限り、市当局(あるいは事務局)に松戸市は文化の香りがあまりしない町という認識があるようだ。海外も含め「モデル都市」の存在があると思われるが、参考にすべき都市の実態をよく勉強する(研修する)のも一策かと思います。豊かで住みやすいまちづくりにご尽力いただきありがとうございます。	男性	60代
街にもう少し花がある街づくりから始めたらどうでしょうか。	男性	50代
文化芸術振興のためのホールを建設して欲しい。	男性	60代
松戸が経営難にある事を知っているので市からの援助に頼らず、出来るイベントしかないのではないですか？これ以上無駄なお金を使わないで。森のホール21はコンサートなどの使用で充実していますが「21世紀の森と広場」に入場料を(100円か50円)取ればいいと思う。	女性	50代
町内会活動があまり活発でない。活動していても見えない。毎年桜祭りは楽しみにしており、松戸のアピールには役立っている。	男性	50代
国を愛する心の育み。	男性	60代
何か観光スポットになれるところがあって、そこへのアクセス(交通の便)が容易であって欲しい。生まれた時から松戸市を出た事はないけれど、文化財が何か郷土芸能があるのかどうかさえ分からないので、記憶に残るような教育や情報提供をしてほしい。	女性	30代
図書館の充実、近くにあるのはよいのですが、もっと本の数を増やしてほしい。子ども達が生の舞台を見たり、様々な体験ができる企画をして欲しい。	女性	50代
戸定邸よりの写生、吟詠会。名画、演劇鑑賞市民の夕べ等の市主催の比較的に安価で参加できる機会が望まれる。また、桜の花、名産の梨、矢切の渡し等の食品や文化品の展示販売の「松戸の駅」などの開設。	男性	70代以上
文化芸術に市の予算を使う事に賛同できない、文化、芸術に触れる機会が増えたところで子どもを産み、育てたくなる町となるとは思えない。犯罪が少なかったり、医療が充実していたり、学校教育が充実している事の方が大事。	女性	30代
各団体の発表の場が増えると地域文化の活性化につながる。	男性	40代
松戸市の玄関である松戸駅周辺(西口、東口とも)が、とても汚い。文化のかけらも感じない。再開発が必要だと思います。→子ども達が安心して、安全に歩けるまちにして欲しい。	男性	40代
全ての施策が抽象的すぎてよく分からない。	男性	30代
市がどういう「まちづくりをしたいのか」。そのコンセプトが不明確では、市が求める「文化が香る町」になることは難しいと思います。直島や、えちごまつりのように町をアートにしたいのかどうか。本日、平和都市宣言事業(同時にとても良い会だったのに参加者が少なく、残念にも感じました。)に行きましたが、そこで中～大学生まで沢山のいい経験をしているときけましたし、市が「平和都市」だとは今回まで知りませんでした。例えば、「平和」というコンセプトから、各種イベントを発進する、サポートすることも市に出来る事だと思います。平和を願う、歌、フォト、絵、文芸を今ある森のホール21や戸定邸で行う。一度に行う(祭っぽく)ことで認知を高めるなど、やり方はたくさんあると思います。まずはどこに視点を置くかからスタートだと思います。そこから組み合わせていく事は出来ると思います。	女性	30代
文化芸術振興に限らず、土台となる地域内に子ども会等のグループを作り、何でもやる環境を先に構築する事が必要だと思います。	男性	70代以上

記述内容	性別	年齢
松戸市民会館の建て替え。現在の建物の耐震強度は？松戸駅前プラール裏の話はどうか？建て替えできるならふれあい22のような(工場の外観)建物ではなく、センスの良い物を金をかけずに正しく選択して。	男性	60代
街並みや景観づくりは、市民の力では守ったり、意見を言うのは難しいので、市が規制をしっかりして欲しい。	女性	40代
地域老人達の細やかな文化芸術を満足させるための施設の無料開放(市民センターなど)。	男性	70代以上
もっと早く色々な事を考えて欲しかった。古い街並みがあったような気がしましたが、今はマンションだらけでこれからまちづくりというのはちょっと遅いのではないのでしょうか？	女性	60代
森のホール 21、アクセスが良くないです。近くに住んでいますが皆さん良く道を聞いてきます。何か良い方法があればいいですね(ちなみに住まいは桜通り近辺です)。	女性	50代
只今、介護中(12年間)で心の余裕がありません。サークルに入会したいが時間がない。これからは老人ホームを多く建てて、その中でのサークルも考えて欲しい。特養ホーム10年待ち状態である。	女性	60代
テニホールハーモニカの愛好家のサークル活動をしたい。また魅力を知ってもらいたい。	男性	70代以上
著名人を学校に招いて直接指導を受ける機会等があれば、刺激を受けたいと思います。	女性	30代
必要性を感じるが、資金面で無駄が多くならないか？「ハコモリ」だけで終わってしまわないか？先を見通して進めて欲しい。	女性	50代
新聞をとっていないため、イベント等の情報が入ってこないのがフリーペーパー等にイベントの情報を載せて欲しい。	女性	30代
あるべきであるとは考えますが、費用対効果であると考えます。住民の福利厚生、健康促進などの施設を最優先すべきでは。文化芸術は健康の上に成り立っていると思います。	男性	40代
東京にそれほど遠いわけではないので、出掛けていった方が本物に出会える気がして(パフォーマーも施設もオーディエンスも終演後の食事も)地元が目が向かなくなる。森のホール 21では開かれるような催しがほとんどない(個人的な主観だけ)、ミュージアムもない。せっかく中学の部活の吹奏楽など盛んなのだから音楽はじめ芸術好きの下地は充分ある町だと思いうのに残念。	女性	40代
松戸駅の構内に美術作品等を展示するコーナーがあります。毎月数回は楽しみに見学しておりますが、残念な事に、コーナーの半分(伊勢丹川)はホームレスに占拠されております。悪臭もあり、通行人も近寄れず鑑賞できる状況にありません。市内にある身近な文化施設としては唯一の場所が、この有様では情けないでしょう。JRと協力してホームレスを排除する事が「市の担うべき役割」の第一歩と考えます。	男性	50代
松戸市に住んで20年以上経っていますが、残念ながら文化の香りはしていません。これから先50年100年後の事を考えて調和がとれた街並みを作っていただけたらと思います。学校教育での質の良い芸術鑑賞、体験をより多くされたい。	女性	60代
・使用する施設への交通機関の充実。・町全体の景観を整備する。・バリアフリーを取り入れて欲しい。・価格の設定。・素敵なまちづくりになる事を楽しみにしています。	女性	40代
研修するための場所の提供。廃校利用等。公用で松戸市民センターを利用出来ない事が多くとても不満です。	女性	70代以上
新松戸駅を使って通勤していますが、私が気付かないだけなのかも知れませんが、例えば市内でやる(森のホール 21とか)、イベントのポスターとか、絶対目に付くところとかに貼ってくれたりしたら嬉しいと思います。	女性	40代
自分のまちに文化芸術に取り組める施設(拠点)がほしい。	女性	60代
現在の日本は駅を降りれば同じ様な景色が広がっていると思います。松戸の歴史的特長を活かしたまちづくりと、近くに江戸川、松戸市内に網目のように流れる河川と一体となったまちづくりが出来ると良いと思います。そして子ども達が安心して外で遊べるまちづくりをお願いします。	女性	40代
21世紀の森と広場を活用してほしいです。文化・芸術などもっと幅広く、特に池や周辺を整備して低料金で利用できる温泉、周りには地元農家を中心に道の駅などのテント村を作り各種のイベントにも活用、市の中心に位置するこの場所の有効利用を考えてほしいです。	男性	60代
芸術が好きで若者に気軽に参加できる催しを多く取り入れてあげられる町(市)になればよいかと。	女性	40代
芸術を目指す小・中・高校生はスポーツとは違い、何の優遇もなくそれでも芸術を好きで頑張っている人がいます。一生懸命にという意味ではスポーツも芸術も同じはず。もっと学校や教育現場からのサポートがスポーツと同じくらい与えられてもよいと思います。	女性	40代
前にも書きましたが、子どもと一緒に、そして子どもが興味がある興味を持ちそうなものを多くやって欲しいです。	女性	40代
積極的に。	男性	20代
情報の提供をもっと充実してほしい。啓蒙も非常に大切なことだと思います。	男性	60代

記述内容	性別	年齢
市の情報が静かです。	女性	70代以上
専門家ではないので文化芸術復興なんて語れません。	男性	70代以上
文化芸術復興とするには子どもの頃から良い芸術家の作品などを鑑賞させること、それには森のホール 21 などの入場料の助成等々、もっと安価で鑑賞できるチャンスを与えること(ミュージカル・バレエなど)。	女性	70代以上
松戸駅周辺をもう少し上手に活かせられないものでしょうか。旧水戸街道沿いの街並み、風情があってとても良いと思うのですが。	女性	50代
文化の薫る町にしたいと誰が決めたのですか。軽薄なものしか達成できないと思う。むしろ東京の展覧会など入場料の一部、交通費の援助をした方が良いと思う。	男性	70代以上
せめてもう少し森のホール 21 のクラシック音楽の回数を増やしてほしい。	女性	70代以上
森のホール 21 で無料のイベントを行う。のど自慢とか。	女性	60代
とにかく人の集まらない内容ばかりではにっちもさっちもいかないでしょう。プロを入れるか。センスの本当によい人(専門業者)に任せたい。	女性	40代
お金の無駄使いをしないように！！	男性	70代以上
イベントなどを行っている場所までの交通機関の利用で費用がかかりすぎる。	女性	30代
サークルの会費が高すぎる。市民センターの駐車場の数が少ない。	女性	60代
クラシックバレエの情報がほしいです。	男性	30代
森のホール 21 など施設は充分。支所などの地域で俳句や囲碁などの会を開いては。	男性	70代以上
道や歩道の整備！！	女性	40代
もっとPR 活動をすべきでは。広報松戸などの利用、地方 TV への参加など。	男性	70代以上
芸術文化村を市内に作る。	女性	60代
松戸市、近隣エリアも含めて既に他市に比べてレベルの高い分野があれば、まずその分野にスポットを当てて予算などを集中させる。	男性	40代
問14と同じ。	女性	40代
今の人は不便なところだと行くのが面倒くさくなり行かなくなってしまう。また駐車場が少ないと家族の多い方は行かない。森のホール 21 もまだ 1 度しか言ったことがありません。脇は車で通りますがどんなイベントをしているのか車ではわからないので。	男性	40代
映画館が少ないと思います。整備の整った大型映画館の建設を希望します。	女性	50代
図書館が狭く、本もないものばかりで、汚い本ばかり。あまりにも悪すぎる。音楽の CD も置いて欲しい。	男性	70代以上
地域に根付いた文化芸術と調和した街並み景観づくり。	女性	70代以上
子どもに芸術鑑賞の機会を与えてほしいです。	女性	70代以上
今できる事で言えば、市民のサークル活動などを地区毎に分かりやすくネットに載せることは大事ではないでしょうか。例えば馬橋で歌などをクリックしたら音楽活動しているサークル、教室など出てくるとか。今の市のHPでは分かりづら過ぎて各市民センターに行かなきゃいけないので大変です。あとバリアフリー、子どもも一緒なども大事だと思います。	女性	40代
松戸市民、もしくは東葛地区の住民を対象にイベントの派遣の登録をやるのはどうでしょう？学校や施設、会場で派遣の依頼があったらその要望にあったジャンルのパフォーマーを送って。登録できる人は松戸市民、もしくは東葛地区住民だったら誰でも OK で。	男性	20代
まずは放射能除汚が最優先、その後。	女性	20代
そのようなお金があるなら市長の公約である「減税」を実施して欲しい。本件は民間活力を活用すればよいこと。	女性	30代
お寺以外に施設がない。	男性	70代以上
小さくとも美術館があって、それに心休まる小さな庭園などがあればさらに良い。でもすぐ寄れる駅近くは無理ですね？	女性	60代
市内メーカー協賛によるイベント。	男性	50代
みんなが気軽に参加できる場所がたくさんあればよいと思う。地域単位とかで取り組めば、多くの人に知ってもらい、参加者も多くなると思う。	女性	50代
流山市を舞台にしたマンガがあるそうです。そういうのうらやましい。ドラマ・映画などのロケ地にでもなったら楽しい。いつまでも矢切の渡しだけじゃちょっと弱いな。	女性	40代
松戸は歴史の古い町だと思うので、その歴史・地理的背景をもっと知りたいと思う。そのような案内板が目立つ場所にあるとよいと思う。	女性	40代
学校教育内で日本の伝統文化を体験できればよい。新たにイベントなどで設定しても、参加するのに限りがあると思います。家庭の具合で子供が興味があっても参加するチャンスがないのでは可哀想。	女性	30代
ゆったりした駐車場とバリアフリー。	男性	60代

記述内容	性別	年齢
新松戸駅前の景観が最悪。赤い鳥居もどうかして欲しいけど、駅前にあんなに広々と喫煙スペースを設けるのはありえない。駅前があんな状態だと文化的何もスタートからこけてしまっている気がする。	女性	20代
コミュニティセンターなど設置してほしい。松戸市、その他の情報があまりにも少なすぎます。65歳以上なので人との繋がりがもっと多くあればいいと思う。	男性	60代
市民参加が基本。芸術復興に限らず「あれをやっている、これもやっている」だけじゃなく、費用を使っている以上、検証を忘れないようにお願いします	女性	60代
スポーツは楽しくやっておりますが、文化芸術には…。時間に余裕が出来、経済的にも安定してきたらいろいろ参加したいんですが、今は情報を得ることもしてません。	女性	60代
一部の人のためでなく、万人に鑑賞・参加ができる機会に出会えるような形式にしていきたいです	女性	60代
どうしても都内にすぐ出かけてしまうので…。魅力的なものがあつたら是非この辺にも出向きたいです。	女性	40代
盆踊りの太鼓でも良い、体験させる。何人でもさわらせることから始めさせれば。	男性	70代以上
なんでもよいので市民の意識を高めていくことがよいと思います。	女性	60代
森のホール21へのアクセスをもっと便利にしてほしい。緑を多くしてほしい。小さくても良いので文化ホールをもっと増やしてほしい。	女性	60代
我々が松戸市民憲章にふれる事はまずない。今回のアンケートの封書を見てあらためてこれがあることを知った。文化芸術を目指したまちづくりをするとの考え方があり、市民はどの程度の参画と意欲について知ろうとする試みか?市が考える文化芸術の重要性・全体予算に占める比率の中でどのように広報し、どのように参加を取り進めようとしているかをもっと明確にし、市民にアピールすることが必要ではないか。	男性	70代以上
今のところはないが、やはり情報量が東京・神奈川の地域に比べれば少ない気がする。もう少し表に出ていても良いと考える。松戸市として文化のポジションが相対的に低い気がする。	男性	50代
文化芸術などのアンケート調査その物がここに書かれているような質問自体が約30年間ふれる機会がありませんでした。	男性	70代以上
芸術家村のような場所を提供し、様々な芸術に触れることが出来れば人も集まり、理解も深まり、振興に役立つと思います。文化の薫りのする街も大切だと思いますが、安心安全で暮らしやすい街にしてほしいです。	女性	40代
図書館を広く使いやすくしてほしい。閉館時間を流山市なみに遅くしてほしい。内容の充実。	女性	40代
65才以上の高齢者に楽しめて、継続できるような金額でのイベント。高齢者も万国共通の英語は必要だと思います。	女性	60代
ドラマ・映画のロケの誘致、ご当地アニメの制作に力を入れてほしい。働き手世代が松戸に興味がないので視線が外に向きがちです。	女性	40代
松戸市民会館や市民劇場は古くて使いにくく、森のホール21は交通の便が悪くて使いにくい。駅の近くにきちんとした劇場や美術館を作り、市民も使い一流のアーティストの公演を観られる機会がほしい。	女性	60代
美術館の創設。	女性	50代
松戸はハコものばかりで中身がまったくない。	男性	70代以上
文化交流などを通じてチームワークの大切さを知り、イジメなどを少しでもなくすことが出来たら良いと思います。	女性	50代
松戸市は東京都の隣に位置しており、ベットタウンであるので文化芸術より静かな良い環境づくりの方が優先される。文化面は東京に出て行けばいい。きれいな緑あふれる街、誰もが住みたくなる町にすることが何よりも優先される。文化的なものはその後でよい。	男性	70代以上
予算があまりない現状の中で難しいと思いますが、市民が活動の主催としているところへの助成金。森のホール21はきれいなのですが、交通の便がどちらかというと悪いので、市民会館の改築、プラネタリウムの催し物を多く。立地条件がよいので活用しないともったいない。	女性	30代
文化芸術復興の前に松戸の治安を良くして欲しい。市立保育所の保育カリキュラムを知的・文化芸術に触れるよう再編してほしい。	女性	30代
文化芸術を目指すのなら、まず街の景観をもっと良くして欲しいです。新松戸の駅前などはトイレの場所、デザインも良くない。タバコを吸う人の休憩所になっているし、放置自転車。駅前からは残念ですが文化の薫りはほしいですね。図書館の返却ポストを駅前に設置して欲しいです。	女性	50代
新松戸限定で言えば、鳥をどうかしない限りは何とも言えない。木々は美しいがあれだけ鳥がいると文化どころではない。よい共存が出来るような街並みにはできなものか。新松戸の図書館も充実してほしい。	女性	30代

記述内容	性別	年齢
屋外広告の美的観点からの調整。道路など公的施設、インフラの整備。図書館の整備。インターネットでのアンケートを進め、経費削減を！！	女性	60代
歩道が狭く、段差が多い。人に優しいまちづくりをお願いしたい。住宅街は車両がスピードを出せないよう、段差が必要である。ゆとりある生活空間が大切である。	男性	40代
文化芸術に限らず、私の住む地区は駅に近いにもかかわらず、本屋すらありません。図書館の蔵書も全く充実していません。そういう場所はどうしても文化レベルが低いなと思ってしまいます。まず身近に情報と触れあえる拠点を作り発信していくことが大事なんじゃないかなと思います。	女性	40代
とにかく、無駄なことはやめて欲しい、税金の無駄。	女性	30代
松戸での「よさこい」を1度だけ見に行っただけに感じたことですが、本場の高知で見た後だったこともあり、あまりに規模が小さいのにビックリしました。それは駅の周りが前は江戸川、後は山で広げようがないということ、道路の狭さなど、景観のステキな街づくりは本当に大変なことですが、少しずつ歩道が整備されてきて最近変わってきたと思っています。	女性	60代
道路の歩道を整備して誰でも歩けるようにして文化芸術のまちづくりをしてほしい。	男性	70代以上
まずイベントに参加するために駅を利用する事が多い。駅に駐輪場もない、エレベーターもない。松戸は酷すぎる。常磐線・新京成ともにエレベーターがないなんて。ベビーカーも車椅子もこれでは出歩くのが億劫になります。イベントが森のホール 21 の場合は無料シャトルバスを出してほしい。	女性	30代
あれもこれもいろいろなことに手を出すのではなく、これぞ！というひとつ一分野に支点を置き、統一感、こだわりがあるまちづくりをして下さい。ばらばらだと何がしたいのかどのようにしていきたいのかが中途半端になる為。	女性	40代
市民ホールや会館・博物館や資料館など、相互の連絡が遠く不便である。文化センターのように中心となる場所に集めるなど考えて欲しい。	男性	60代
活発な市を見習って松戸も頑張ってもらいたい。	男性	60代
やりたいことや習ってみたいことはあっても、参加できる教室、サークルが少ないし、1人で参加できるのか不安を感じる。初心者でも取り組めるイベント、そしてその周知展開がもう少し行き届くとよいと思う。「文化芸術」という点では、市川市の方が優れている印象を受けるので。	女性	30代
文化芸術振興よりも不便な部分を治す方が優先だと思います。	女性	40代
誰にでも分かりやすい情報提供をお願いしたい。	女性	60代
松戸駅などは全く文化芸術の香りがせず、世知辛い雰囲気。人の出入りがあるところもアピールの場であり、変化のきっかけとなるので工夫してみたらよいのでは？	女性	40代
現在は文化芸術と認められていない分野(特に小学生が興味を示す分野)を文化芸術と位置付けて催し物をして欲しい。	男性	40代
芸術振興の施設がまとまっていない。21世紀の森と広場の周りに集中すべきだ。昔からの祭りや夏の盆踊りなど交通やら周りの環境にて行う事が難しくなってきた。	男性	50代
松戸の大きなホールは森のホール 21 ですが、アクセスが悪い。交通手段を整える事で改善が図れると思います。支所の会議室なども古く、トイレなど、子ども連れなどには不便を感じる事があり、足が遠のく事があります。市民病院の予定地だった紙敷に新しい市の施設の建設を強く希望します。	女性	30代
町の本屋の店程度の規模の図書館なら不要です。他の用途への変更希望、市の図書館は貸本屋のレベル以下です。本郷谷市長！一度見てみたら如何！市の図書館不要。名前だけの図書館不要。	男性	70代以上
まちの中を歩くだけで、オブジェや、琴の音や、清らかに流れ目に入る、そんな町。	女性	50代
松戸駅西口のビルからぶらさがっている看板(例、2F アコム、3F 居酒屋とか)、大きさや色が溢れていて統一感がない。にぎやかを超えてみっともないと思う。	女性	30代
当市はすでに成熟していて、もうあまり発展の余地はないと思います。市の外れまで良くすることは無理でしょう。	男性	70代以上
私が小学生の頃、学校行事でオーケストラの方が来て、生演奏を聴かせて頂いたり、ミュージカルを見に行ったり、中学生の頃は、落語家の方や、あるロックバンドが来たりと、いろいろなものを観る機会がありました。小学生の頃からいろいろなものを見たり聞いたりする機会を与えることによって、将来、趣味や仕事につながっていくこともあるのかなと思います。	女性	30代
昨年？松戸駅周辺でのアートフェス？のような取り組みはとてもいい試みだと思う。あと新しい感じの不動産屋が松戸駅前にできたことも。東京にお勤めに行くのは仕方ないとしても、お休みは地元で遊べる楽しい町になったらいいな。それは大手チェーンが出てくるのではなく、個人店が活気がある街ってこと。じゃないとらしさがなくなる。高円寺とか西荻窪とかいいなあって思う。ああいう街を目指せないものか…。若者が店を出しやすくするシステムを作るとか。	女性	30代

記述内容	性別	年齢
小中学校の部活動の充実。私の小学校では公立でしたがバトン、吹奏楽、絵画などがあり、もちろん無料で、放課後でしたので何となく興味を持ったものに何でも取り組むチャンスがありました。東部小は吹奏楽部もなく驚きました。楽器に興味を持つこともなく、それでは接する機会もありません。ピアノやバイオリンの室内楽などもあればいいですね。	女性	40代
地域の活性化や住みよいまちづくりにつながるものと思いますので、ぜひ市民へのPRを行っていただき、積極的に推進いただくことを期待しております。	男性	60代
21世紀の森と広場、江戸川河川敷をはじめ、野外広場の開放。イベントやフェスティバル系の開催など求めます。文化レベルが中高年向きに偏っている。	女性	40代
近隣にある大型のシネコンが松戸市内にもほしいと思ってます。	女性	60代
子供が芸術に触れる機会が少ないように思います。体験・経験すると感性が磨かれて人として成長し結果的に文化的な街につながる様に思います。	女性	40代
どこで何をやっているのかわかりにくいのでもっと情報量を増やしてほしい。	女性	60代
以前から思っていたのですがこれだけ大きな市にもかかわらず、図書館があまりにお粗末です。以前住んでいた街では新しくCD、DVD、画集などありとあらゆるものが充実し休日図書館だけでたくさんの文化に触れることが出来ました。また、西口は空ビルが多く、古びた景観が非常に悪いです。例えば、松戸のテーマカラーなどを決め、色やイラストを描いたり、アートカフェを開いて新人アーティストの参加の場にして欲しい。そして松戸はカルチャースクールの無さが本当に問題だと思います。	女性	30代
気軽にみんなが行きやすい場所があったらたくさんの方が文化芸術にふれ合う事が増えるかも知れないですね。	女性	40代
ボーイスカウト、ガールスカウトによる啓蒙、啓発活動。松戸駅自由通路の作品展が今ひとつ目立っていない。	男性	40代
交通機関が便利なところへ劇場など施設を作してほしい。例えば松戸の駅前などに！	女性	60代
・アーティストによるワークショップや、ボランティアスタッフと運営が協力して行うイベントなど、催しのために必要なスタッフを、もっと積極的に募集しても良いと思う。・柏市ほどではないが、「治安があまり良くない」というイメージがあるので、大人から子どもまで安心して暮らせるまちづくりにも力を入れてほしい。	女性	20代
文化芸術振興の視点を含め、それには住む生活者が何を望んでいるかが重要であろう(地域の的確な把握)。この地域は昨今、社宅の譲渡、物納等により、小規模な開発が数多く見受けられる状況にあり、各々の周辺住民と新住民との交流と融合を図る工夫に努力している自治会、町会等の活動に、市の担当部門の協力をお願いする。今後も段階的な活動が必要であり、それぞれ地域のポジションの的確な把握には、もう少し年月が必要に思える。	男性	70代以上
お年寄りを大切に。子ども達に夢とチャンス(希望)を持ってもらえるような街になってもらえたら、と思います。	女性	40代
問14と同じ。「松戸まつり」内容の再検証。※文化芸術的なものを。	男性	60代
市民の文化活動は参加していないと発表会等があってもなかなか見に行こうとは思いませんが、名高い方の芸能や美術展などは、興味があります。予算の問題もあるでしょうが、松戸市で開催されれば見に行きたいと思います。	女性	50代
図書館、文化ホール、市民会館の内容と施設の充実。図書館は蔵書を増やし、芸術関連の本を揃える。ホールや会館などの催しの内容を芸術性の高いものにする。またこれらの施設を使いやすくする。駐車場代や利用料を低価格にする等。	女性	40代
町会単位の規模で、市民センターや集会所などで、市が費用を負担して、無料の講習会や講演会など開催していただけたら、時間を作って行ってみたいと思います。	女性	60代
そんな予算あるのなら、使いづらい松戸駅を何とかしてください。線路のあっち(西口)とこっち(東口)を使いやすくして下さい。駅の所に図書館作って下さい。	男性	40代
松戸駅周辺に、松戸の文化等を知らせる観光案内や、地図、ガイドブック等を設置する。戸定邸や江戸川への道のわかりやすい表示や整備。松戸市の魅力をもっとアピールできるような、具体的な年間通しての予定表等を表示する。	男性	50代
秋の松戸まつり、花火大会、さくらまつり、楽しみのイベントです。各町会の盆踊り、運動会、全く魅力ない。市のプロが考えて下さい。	男性	70代以上
森のホール21の活用を広げて、分野が違いますが、日本一の(少なくとも県内一でも)プラネタリウムドームや天体望遠鏡のある「市」として、日本全国の少年少女たちが、あの宇宙飛行士になれる、憧れと希望が膨らむ松戸市になれたらいいなあと思います。	男性	60代

記述内容	性別	年齢
松戸市の施設の駐車場を無料、もしくはもっと安くしてほしいと思います。例えば森のホール 21 など、鑑賞するのにチケット代がかかるのに、また駐車場代がかかり、負担がかかります。あとイベントに参加する際に、地域の子どもは無料であれば助かります。子どもが多い家では家族で参加したくても、お金がたかさかかき、観たくても諦めるしかありません。中学生も大人料金は大変です。沢山の人が文化芸術に触れ合えるように、今後のまちづくりをよろしくお願いいたします。	女性	40代
とにかく情報を得る機会が乏しい。世代を問わない芸術活動がほしい。	男性	30代
・金をかけるだけが能ではない。箱物は不要。・そういう雰囲気のない街並みづくりから始めることです。どの街でも最低やっているソーラン踊りのようなものをやってもしょうがない(松戸まつりでやっているが)。	男性	60代
問 14 に記入しました。有楽町でクラシック(よく知っている曲がほとんど) ¥5000 でした。この金額以下なら OK、松戸でも？先日松戸まつりに行き、小学生たちのひたむきな演奏しながらの行進に感激したのですが、男子の数があまりにも少ない。ほとんどが女子。また市役所の前で散会したと思うが、汗だくの子ども達へのありがとうのご褒美はなかったのでしょうか？	男性	70代以上
伊勢丹近くの線路を渡る地下道。大学生さんのペインティングがほどこされたりしている。これはいい。殺風景な地下道が明るくなった。たしかアートの一環だったと思うが。	女性	20代
全国的に有名な矢切の渡しを中心に、葛飾区と共同プロジェクトなんてどうでしょう。大きな公園などフリースペースとともに、郊外型ショッピングモールもあれば、市内でも人も集まってくるのでは？	女性	40代
現在松戸市の無形文化財(万作踊り)の継承に力を尽くしています。しかし市からの補助が全くなく、個人が継承のために自己資金を使うことはいかかなものなのでしょうか。市は万作踊りが途絶えてもよいと考えているのでしょうか。	女性	50代
地域の大学生等、若い人の意見も参考に。	男性	70代以上
まず老人、子どものボランティア、景観保存のための清掃等。市民、企業からの寄付を募り、ボランティアに参加した人達の弁当代やグッズ、状況によりバイト代に充てる。	男性	40代
駅前などでストリートライブ、パフォーマンスができる環境がほしい。	男性	30代
松戸は図書館の整備が他市と比べて遅れているように感じます。設備も古いし、規模も貧弱です。森のホール 21 と近くの図書館を一体化し、文芸の森として造ってほしい。	男性	50代
テーマに即しているかわかりませんが、21 世紀の森と広場の博物館は、多額の建設費と維持費がかかっているわりには、全く活かされていないと思います。もっとイベント等利用するべきでは・・・。	女性	50代
子どもへの文化の伝え方が貧弱。四季の移ろいの行事も、給食のメニューで取り入れられるだけになり、給食がしてくれるからと、ひな祭りに母親は娘のためにちらし寿司を作ることもなくなり、町には桜餅やひなあられではなく、ひな祭りケーキが溢る。日本の季節を表現できるもの一つに生花がある。気軽に観賞できる場があったらどうだろうか。	女性	50代
「箱根の森」のような施設、作品づくりの場所等を設置していけば、環境的にも良くなるのではと思います。	男性	60代
梨園等の充実、PR(全国へ)。	女性	50代
松戸市立図書館は行ったことがないのでわかりませんが、分館をもう少し充実させてほしい。新刊が少ないし、狭いし、もっと立派にしても良いのかなと思います。結構皆利用していますよ！	女性	70代以上
子育て世代のための文化芸術という視点で推進してほしい。高齢者のためにという視点であれば、市がやる必要はない。時間的にも金銭的にもゆとりがある高齢者向けに、民間がいくらでもサービスを提供しているし、公的なサービスも全て充実している。不足しているのは子育て世代への公的サービスである。	男性	30代
20 歳代、日本舞踊公民館で出ていましたが、現在は何も出席していません。精神的余裕がありません。	女性	60代
映画館の規模拡大と施設の設備充実。	女性	30代
他にやることあるのでは。	男性	40代
昨年松戸駅周辺で秋に行われた、アートフェスティバルがとても良かったです。新潟で行われた大地の芸術祭ぐらい大規模に育ってくれたら、松戸の知名度も上がってくれたら嬉しいです。21 世紀の森と広場の公園あたりで、屋外アートはどうでしょう？	女性	40代
これからの子ども達には色々なことを体験させた方がよいと思います。文化芸術だけでなく、いろんな職業を体験できるような施設を作してほしい。他の市や県、都から人が来るような市にしてほしい。	男性	30代
音楽や演芸は 21 世紀の森と広場があり十分だと思いますが、映画館や美術館がほとんどなく、東京や他県に行って鑑賞しています。その施設の充実をお願いします。	男性	50代

記述内容	性別	年齢
予算も大変だと思いますけれども、会場の数が少ないように思います。また会場も老朽化しているように思います。	女性	70代以上
今年引っ越してきましたが、松戸は自然が豊かだし、戸定邸のような歴史ある建物も多く、魅力のある町だと思います。大きな都市になっていくのと同時に、緑や歴史を大切にしてほしい(私も含め)です。	女性	30代
時々講演会などで「ふれあい22」のピアノを使用させていただいておりますが、アップライトピアノの方の調律や、ペダルなどの調整をしていただきたいです。	女性	20代
正直なところ松戸市には失望しています。20年ほどの間にどれだけ松戸が変わるのか、とても期待していました。松戸は流山のように緑が豊かな街でしたが、流山では緑を残したまちづくりや、子育ての取り組みが、松戸よりずっと進んでいます。一方松戸で何が変わったかと言えば、緑を切り崩して、あまりに遅い計画の下、考証の甘いつまらない公園がいくつか出来ただけです。何の取り柄もない街だと思います。これでは若者は違う街へ移り住み、老人だけの街になることは目に見えています。	男性	20代
松戸市民会館の建て替えと場所(駅前には便利なので何とか移動しないでこのまま)。松戸市としての顔だけに、立派にしてください。	女性	60代
ハードウェアで対応するのではなく、現在保有しているハードウェアを活用して、ソフトウェアで対応することを、市は考えていただきたい。	男性	50代
昔と違い町内の方たちとの、共用して話し参加することが少なくなり、漠然としてですが、隣近所に声を掛けて出かけられるような文化芸術から(地域伝統芸能)進めてもらえたらと思います。	女性	60代
松戸駅付近に美術館を作る(森のホール21は交通の便が良くない)。	男性	30代
松戸駅周辺のゴミゴミした感じが嫌いです。	女性	20代
市民センターのホール等で展示会を行っておりますが、選挙で使用が出来なくなることがあり、3ヶ月も前から準備していることが無駄になることがあります。選挙にホールは必要ない(スペース的に)と思いますので、他の室で行うことは出来たらよいと思っております。	男性	50代
文化ホールを新しく、場所もわかりやすいようにしてほしい。松戸文化ホールを使うとき、見に出かけるとき、物置のような所でさびしい。遠くからいらして下さる方は、わかりづらいとおっしゃる。文化レベルは建物から上げて欲しい。	女性	70代以上
世代を超えて憩える施設、催し物の開催。※市立病院の充実を図り、健康な市民生活を支えることによって、文化芸術も振興すると思う。まずは市民の健康な生活を充実させること。	女性	60代
歴史的に興味深いことが多いので、それをバラバラに進めるのではなく、関連性をもたせたまちづくりを希望したい。一例として、水戸家に関する伝承、文化施設をピックアップし、市民はもちろん、市外の人にも見てもらえる連続的なまちづくり、「江戸の地まであと一歩、水戸家にとってのまつど」など。	男性	50代
・音響の良いホールがもっとあると良い。・サークル、楽器練習の出来る場所が、安く借りられるといい。・市の補助で手軽に参加できると良い。	女性	70代以上
松戸市に居住してこの方、全くといってよいほど、文化芸術振興をめざしていると思える場面に直していませんが・・・。	男性	50代
・小金図書館のCDの貸出が閉架式になってしまい、身近に音楽等に触れる機会が、大幅にレベルダウンしました。実物を手にとって聴いてみたいと思う気になる機会が全くなくなり、大いに不満です。開架式に戻すようにして下さい(今までのスペースを他に転用したためですが、住民サービスの質の低下です。市側の都合であり、住民としては納得できません)。・今回のアンケートでどれだけのことが把握できて、それが市政に反映されるのか疑問です。担当者には申し訳ありませんが、ただアリバイ的にアンケートを取りました、という程度の意気込みしか感じられません。だいたい現在市の文化施策でどんなことがやられているかの全体像が、全くつかめない中でのアンケートで、どう答えてよいかもわかりません。添付資料で検討材料がほしかったです。「文化の香りのする」構想にしては、あまりにもお粗末ではないかと思えます。	男性	50代
文化芸術振興は大変多くの時間が必要だと思います。生まれた石川県は伝統の物産やものの考え方(古いかも)、建物が多くあり、100年単位以上、300年以上の積み重ねがあります。あれもこれもでなく、何か一つ、若い方を育てていけるとよいですね。	女性	60代
松戸市歴史的背景に基づき、地元資産家の参加、協力を促すことが必要だと思います。	男性	40代
森のホール21は交通が不便である。せめてJR駅から徒歩で10分程度で行ける場所に、音楽専用ホールがほしい。	男性	70代以上
樹木に囲まれたミニコンサートホールや、展覧会場(多目的)、そして図書館の充実。これからは大きなものでなく、小さなものへのシフト。	男性	70代以上
県民の興味を引く何かがあると良いのではないかと思います。意識を向けさせないと、賛同する方も増えませんし、廃れていく可能性があると思います。	男性	30代

記述内容	性別	年齢
積極的に情報提供をお願いしたい。催しがある際は、チラシなどだけではなく、駅(松戸駅だけでなく私鉄の駅にも)ポスターの掲示を行って欲しい。メルマガやツイッターなども利用してもらいたい。	女性	30代
学校(小・中・高)に楽器を積極的に貸し出したり、指導者を派遣したり、本物の芸術を無料(か低料金)で鑑賞できる制度。	女性	50代
市民センターが古い。使い道がない。図書館ももっと充実させた施設にして、小さなホールとして利用すべき。誰もが徒歩や自転車で行ける生活範囲でないと、文化は広がらない。盛り上がらない。	女性	40代
問 14と同じ。自分の問題として考えてみたいです。	女性	60代
森のホール 21 の使用時間が短すぎて、老人など暇な人しか日常的に利用できない。夜間ほどもかく、もっと自由に出入りできるようにすべきである。他市はもっと早い時間から遅い時間まで利用できます。	女性	60代
各駅に町花を咲かせ、花いっぱい松戸市になると素敵です。	女性	50代
駅前(松戸)の街並みの整備などは必須だと思います(柏駅などを参考にしてはどうでしょうか?)。松戸駅周辺が整備され、コンサートホール、映画館、美術館など、うまく点在させるといいと思います。	女性	40代
町の玄関口、どこの駅も六実駅もれなく殺風景である。まずは壁面を使って、特に子ども達の絵やお習字等の作品を展示し、明るい駅にしてほしい。六実駅には、東京より18年前引越してきて、妹の家に行くとき話しながら電車を待っていたら、電車がすーっと入ってきて、待っていたのにすぐに出発してしまった。妹が駅員さんに、どうして放送しないのかと聞くと、放送施設がないと言われ驚いたものでしたが、今は放送施設も整い、良くなりました。駅の屋根上は天まで空いています。美術展でも何でも出来る施設、設備を整えてほしい。膨大な費用がかかりますが、まず第一歩から、徐々に行い、駅をコミュニケーションの場にしてほしい。	女性	70代以上
森のホール 21 への交通が不便。	女性	60代
21 世紀の森と広場を充実させる(美術館 etc)。※無人にしては駐車場が高い。その割にはスペース少なく、整備も不足。	男性	60代
代表を1人決めて、運営を任せる形でない方がよいと思います。文化芸術は生産性でなく、個性なので、様々なもの、人が同時にイキイキと発揮されていくものです。認め合うこと、尊重が大切です。方向が一つの方へ向いて、言うことを聞いていく一元化でなく、それぞれ意見を出しやすい環境が大事だと思います。会計や運営は芸術家に行わせるべきでなく、ある程度の透明性をもって、専門家が組織運営をして、運営班も芸術家のわがままもありますが、道徳をもって、見守って協力してあげてほしいです。理解するための勉強も必要です。インターネットや本があるので、勉強もある程度短期間で出来ることがあります。芸術はどれもかなりの年数や努力をしてなしえているので、簡単に遊びで楽しいと思うと、実はそんなに簡単なことでないです。でも楽しみでもあります。(苦勞)課程を楽しむことだと思います。	女性	40代
大きい図書館が松戸駅あたりにほしい。	男性	50代
松戸には美術館もなく、これといった美術、アート系の文化施設もないように思います。イベントだけではなく、アートの発信基地としての役割を持つ場所が必要だと思います(ただのカルチャーセンター的なものではなく)。たとえば、川崎市民ギャラリーやあずみ野(横浜、アートセンター?)や、川口市民ギャラリーなど、参考になればと思います。ここに行けば、身近にアートに触れ合える、また制作も出来る場所があったらいいと思います。	女性	50代
現在音楽活動をしています。練習の際には柏、ライブをする際には都内へ・・・といった状況です。松戸市内でも練習出来る場所や発表の場があればと思います。勿論、音楽に限らずですが。	男性	20代
前「問 14」に記載した通り。	男性	70代以上
文化芸術も大事だが、治安が余り良くないと感じているので、そういった事が安心出来る町になった方が、人も集まって来るのでは？	女性	20代
図書館をもっと充実させて欲しい。	女性	40代
イベントの充実と共に、日常の活動の充実が必要だと考えます。金町の図書館に是非一度行かれた方が宜しいと思います(松戸と差があります)。松戸も金町の図書館のようにならないといけないと思います。	男性	30代
問 14と同じ。松戸市は文化芸術にかかわるリーダー性のある施設がない。今のままでは埋没してしまいかねない。魅力ある都市づくりが必要。	男性	60代
今、廃校になっている場所を考えて欲しい。	女性	70代以上

記述内容	性別	年齢
各地で小さなイベントを行うのも良いけれど、大きな場所で大勢の人々を集めてやるイベントの方が、多くの人に知って貰え予算の不公平感なども無くなると思う。松戸市の仕事が良くわからないけど、新松戸駅の赤い鳥居は全く持って負の遺産でしかないと思う。大がかりな事をする時は、デザインなど市民の意見をとってから行って欲しい。	男性	20代
江戸川沿いで東京にも直ぐという、安全できれいな環境に唯一のデパート(伊勢丹)があるのだから、親子が安全に楽しく遊びながら、参加出来る良い広場にすべきだ。最近人は人も少なく良い場所が勿体ないと思っている。本来、もっと良い場所だったはずだ。あるのだから活用して欲しい。	女性	60代
仕事だけに目を向けて、文化芸術には関心が無く過ごし、これからは文化芸術に触れるようにしたいと思います。	女性	60代
まちなみ「特に6号線沿線」が、この頃特に草茫々です。これで市(?)と思ってしまいます。	女性	70代以上
市街の外観を工夫すると良いのでは？	女性	20代
関心が無く回答が難しい。	男性	40代
文化芸術の発表する場所や施設は駅の近くで誰でも行きやすい所をお願いしたい。	女性	60代
参加しやすい取組が必要。又個人参加でも気兼ねなく行ける場所をつくる。	女性	50代
まずはきれいな街づくり！ゴミ拾い運動など楽しくやったら良いと思う。	女性	40代
町内に文化芸術会館の設置。	男性	60代
時間が出来たら是非、文化芸術活動をしたいと思います。	女性	40代
私の実家が上野に近かったため、よく美術館へいきました。今は近辺にそのような施設がないので残念です。子ども達の事を考えれば、科学の実験が出来る施設が有ると楽しいと思います。	女性	40代
・森のホール21は設備も良いのだが駅からあまりにも遠すぎて、行く事を躊躇ってしまう。・映画館は今はシネマコンプレックスが便利なのだが市内にはない。映画・美術館・ショッピング・レストランなどが一ヶ所に有るような場所が欲しいと思う。	女性	20代
秋葉原の様なマンガやアニメを充実して欲しい。駅を中心として街並みをきれいにしたい。	男性	20代
市議会の議事室でコンサートしていると聞いた。もっと公共的なスペースを使って宣伝してはどうか。	女性	40代
森のホール21はとても立派ですが、交通の便が悪いので夜は暗くて恐いです。	女性	50代
市民の意識が低いと推進は難しいのでは？市民も興味を持ち積極的に参加出来るような仕組み作りも大切だと思います。	女性	40代
市の広報、回覧板で回して欲しいです。	女性	50代
文化芸術も多方面から考えると大切な事と思いますが、松戸市の財政を思うと文化の薫る街づくりより、足元をしっかり見据えた市行政の方が大切・必要だと思います。アンケートには記入しましたが、これからの企画管理室をお手並み拝見させていただきます。市長が変わったらこの企画はどうなるのでしょうか。	女性	60代
横浜や世田谷の文化芸術活動を参考にしてみたいかがでしょうか？(ターゲットごとの興味深いワークショップや、質の高い演劇、ダンスのプログラム、テーマの定まった広い分野の展示等あり)。	女性	30代
アートペース(個展)の充実。	女性	40代
多忙な人々が多い。休日は身体を休めることになる。そんな中でも文化活動に励むには、魅力ある興味引かれる、楽しい雰囲気のイベントや活動拠点の充実・情報提供をお願いします。家に一人で居るよりも楽しめる文化的な集まりがあると良い。	女性	60代
文化芸術の情報発信の場として、図書館の充実は必須だと思います。松戸市は各地域に図書館があって日常的に利用しやすくなっていますが、情報の中心としての中央図書館を、規模・内容と共に力を入れて整備して欲しいと思います。	男性	50代
特に深い考えや希望は今の所はありません。	女性	20代
松戸駅前(駅内)の整備。今、展示スペースが駅内にあるが、ホームレスがいたり若者がたむろ場になっていたり、ゴミが落ちていたりして、なかなか芸術鑑賞出来る雰囲気ではない。もう少しきれいに清潔感のあるスペースにして欲しい。	女性	30代
特に言うことはありませんが、私自身松戸に住んで2年目になりますが、やはり自分の住んでいる町が一番ですし、好きなのでいつでも気持ちの良い所であり、昼夜問わず安心できる場所であって欲しいです。	男性	30代
継続的に出来る事。	女性	40代
身近に芸術に触れる場所があること。入場料が余り高くない催しが沢山あれば、多くの人々が参加出来ると思います。芸術文化がもっと身近になると(なれると)良いです。	女性	60代

記述内容	性別	年齢
本土寺の参道の並木道が、折角素晴らしく整備されているのに、並木道沿いの景観がとても残念に思う。道の駅のような地元野菜を大規模に販売したり、地元食糧を使った食事処など、一年を通じて人々が集まれる町並みに出来たら良いと思う。	女性	40代
・東京に近いので興味のあるイベントがあれば、そちら(東京)に行っています。・市の広場で市の文化祭や博物館の展示会の記事を見ますが、今一興味が持てません。・文化芸術といっても範囲が大きいので、文化財などの的を絞っては？歴史の香町(すみません住んでいる所が東漸寺や小金城趾に近いので)など。	女性	40代
団地のコミュニティーホール(町内会館 etc)等で中古でいいからピアノを提供する。多くの地域で歌声が聞こえる街づくり。	男性	70代以上
情報を取りやすいように、見つけやすい提供の仕方を探して下さい。	男性	30代
問 14と同じ。	女性	40代
コンクリートや石で固めたり、覆ったりするような事はもう要らない。元々ある地形を活かして緑多く、空気の流が気持ちよい、思索にふけることができる街づくりをして欲しい。芸術的素養を育てるには、本物の芸術作品に触れたり、音楽なら本物の音楽家の演奏を聴くことで感動する事が大事です。森のホール 21 でも芸術監督を迎えるべきです。	女性	50代
何分にも都心に近いため、極論を言えば鑑賞においては都心に出かけることになってしまうことが考えられます。文化芸術振興という実にザックリしたテーマで、何をすべきか？この厳しい時代には余計難しいです。募金活動を汚らわしきものとする方も多い様ですが、基本的に資金が無ければ何も出来ません。法律がどこまで容認するかわかりませんが、募金と減税をセットにして、更にその募金者(企業)を顕彰する思い切った方策を考えては如何でしょうか。それから当事者に意見を聞く時も寝ばけた年寄りに聞かず、まさに今活動中の 20代~60代そこそこから聞くべきです。イベントばかり考えず、まずは資金環境を整えることが必要と考えます。国内の行政は何かと及び腰ですから、もう少し欧米のモデルなども研究されては如何でしょうか。欧米のメセナを研究されている学者から意見を頂いても良いのではないのでしょうか。ロングスパンで考えて頂きたい。	女性	40代
畑や緑、共有の土地がどんどん減り、ただ住んでいるだけという感じがしている。子育てや活動の人間関係が無いと、愛着を感じることは難しい。松戸ならではの景観をアピールして頂きたい。川縁沿いもきれいなので、もっと整備して公園にしたり、何かの保養地として人が集まれるようにして欲しい。道路に花を植えるなどの緑化、美しい町並みの保護を継続して行って欲しい。	女性	40代
この分野は、人・資金・時間を必要とすると考えます。又、次世代任せでなく、大人達が実践していくことが大切だと思いますが、現役世代では時間的な余裕が無く厳しい状況ですが、リタイヤ世代は、知識・経験・時間など資源豊富なため、リタイヤ世代活性化にも良いと思います。この分野に興味のない人が多いと思われしますので、一番低いレベルに合わせて、誰でも理解出来る物を目指した方が成功すると思います。	男性	50代
私は音楽関係の仕事をしているため、音楽に関する要望になりますが、市民が身近に音楽を聴くことができる環境と、プロや愛好家が発表出来る場を増やして頂ければと思います。	女性	40代
まちが固い、柔らかくして欲しい。	男性	60代
子どもの頃都内に住んでいましたが、3ヶ月に一度、色々な芸術に触れることが出来る会の会員になっていました。そこでクラシック、パントマイム、人形劇など、色々なジャンルを楽しむことが出来ました。そんなシステムがあれば入れたいです。	女性	40代
俳句に興味があるため、その道の指導等の充実、募集選考等。	男性	70代以上

記述内容
未永く松戸市に暮らしたいという気持ちを確認してくれる。
各項目について市としての意見を聞きたい。各分野ごとに振興するには財政的に支援できるのか。
文化ホールの使用料が非常に高く、支援補助が少ないため、面積・期間など充分に取ることができない。各施設への公共交通機関及び駐車場の設置が不十分に思う。
期間研修のためだけの集会なので、それなりの関係だけ。
市の文化面でのレベルアップを期待したいから。
市民会館及び文化ホールの改善求む。
博物館・21世紀の森と広場に行くのに不便なので、松戸駅からのバスがほしい。せつかくいいところがあるのだから、もう少し便利になればいいと思う。
戸定邸と園芸学部を有機的に結びつける。坂川と江戸川を結びつける等、複数の資源をセットで楽しめる工夫。
美術館がなく、展覧会の開催、市所蔵品の充実展示等、まったく行われていない。
具体的に目に見えたものを感じられない。
自分たちの活動にかかわることなので。
美術館はすぐにできないと思うが、寄贈作品の保管庫はあってよいのではないかと。作品がたまったときに(数年に一度)公開するのはどうか。
美術館がない。
美術館・展示会等の情報をその種の団体に提供してほしい。
昔からある祭り・行事などが少なくなっていると思われる。子供たちに伝えるために町会など小さなところから、積極的に取り組むことが大切。
文化活動と街づくりを一体的に進めることが必要であると思う。成果を発表する場や施設も少ないと思う。
日本独特の芸事が少なすぎると思う。
最も基本的なことだと思う。
一つの事だけでなく、総合的に取り組むことが必要。
機会はあると思うが、知るためのツールが少ないと思う。市内の団体と交流できればいいと思う。
小さいコンサートから大規模コンサートまで活動によって使える施設が必要と思う。松戸市民会館前後のホールがあるといいと思う。
松戸市がもっと魅力的になるために。
森のホール 21 の交通の便が悪い。また、公演では是非というものがない。
300～500人ほどのホールがほしい。
備品・設備が古く補修もしていないことが多い。
文化都市は市民の意識からであり、市民の芸術活動をもっと行政側が支援する必要があると考えるから。
老若男女問わず地域の文化活動に参加できるような環境整備が必要。
地域に活動できる施設があつたらいいと思う。
趣味として長く芸術活動に親しむことのすばらしさを子どもたちに伝えていくことが大切だと思う。
芸術活動を身近に感じてもらうため、PR活動が必要。
市の活性化。
公用日が多く、演奏会の開催が困難。打楽器があるので利用したい。
音楽活動ができるホールや施設がもう少しほしい。
戸定邸で行われるコンサートはとて素晴らしいと思う。
文化活動や祭りはにぎやかに。
ホールが少ないため各サークルの人々がなかなか思うように活動できないで困っている。
いずれの項目も幅広く取り組んでほしい。
インターネットで会場が取れるようになり、会場の確保が困難になった。
地域の特徴を強調する。現状はあまりにも平面的。
昔の古いものを若人に残さなくては。
昔は学校や地域でお祭りなどがあつたが、近頃は一部のところしかなく、団体や学校に関係していないと見る機会も少ない。また、松戸は古い町なので、歴史的なものや場所を大事にしていきたい。
登録団体に市・団体の行事を知らしめる。招待券・割引入場券を送付することにより他団体との交流も図れる。
情報が提供されているとは思えない。
森のホール 21 への交通の便が悪いので、施設を分散させてほしい。
文化を継承する環境作りが必要。

記述内容
掲載事項について一歩前進させてほしい。
松戸を歴史・文化・芸術について理解を深め、ふるさと松戸に愛着を持ち、わが町松戸に自信を持てるようにする。
予算的支援がない。
すべて意識していく必要がある。特に子どもたちに芸術や文化に気軽に触れる場が必要。
文集の発行機会を増やす。PR活動(図書館の書棚等に文集を配置する)。
自分たちの住むエリアに公共施設がない。
意欲をもって生活しているから。
場所の確保。
人とのふれあい。
市立美術館がほしい。
松戸駅近くに500人位入るホールが欲しい。
文化を大切に残していくため。
子ども達に親しめる事業の推進が必要。
伝統や国際感覚が必要なため。
学校教育、社会教育との区別することの誤りを直し、是正する必要性を感じた。
将来を担う青少年のために、まず考慮してほしい。
公民館などに既に行われていない活動情報が貼りっぱなしで情報困難。
子ども達の作品に感動し、もっと人目にふれる機会を作りたい。
文化施設が少ないので、活動が制約される場の充実が望まれる。
各団体の連携を深めたい。
美術館があってもよいと思います。
他市と異なった後世に残る何かを欲しいと思います。
街が無計画に発展している様な気がします。
地域で健康的で文化的な生活ができる。
練習場所の確保が困難なため、情報をこまめに流してほしい。
公共施設の利用方法を考えてほしい。
子どもに地域文化芸術や祭りに興味をもたせ、活性化に役立てる。
会場等の確保が難しい時がある。
中規模の施設が不足。
ホールの予約等が電子化により難しくなりとりにくくなった。
地域の文化レベルを向上させたい。
森のホール21の小ホール、市民劇場、市民会館ホールは音楽的には使用しづらい。
文化に対する推進と理解をしてほしい。
歴史や文化を継承、保存すべきだと思う。
文化、芸術にふれるのが一番の楽しみなので、行政側も力を入れてもらいたい。
絵画アトリエがほしい。
松戸市づくりプロジェクトが必要。
・クラブの運営を寄付等に頼っている。・市の助成金が全て光熱費として支払っている。
・各町又地域の活性化、人の交流が多くなる為。
・広報に出す機械、ポスター(チラシ含)を配布、掲示をもっと人々の目に触れるようにする(各センターに力を強く)
・特に上の8.9.10に関して松戸市がベッドタウンとしてだけに存在するのではなく、松戸が「まつさと」の部分も生かしたこれからの松戸づくりが必要。
・社会教育課の動きがあまり理解できていないため。
・多機能を備えた総合的な文化施設の設定して欲しい。文化財等保存していくものと開拓していいものの適切な判断が必要だと思います。特に11は希望します。
・煎茶の体験入門を催し、親子で夏休みに参加を企画したときが楽しかったため。
マンションの林立や再開発等で景観を損なうことが増えてきているように思う。戸定邸から富士山がみえなくなってしまう本当に残念です。
広報まつどの文化が薫るまち・まつどを楽しみにしています。益々充実した発信をお願いします。

記述内容
最近では邦楽(小唄、長唄、琴、舞踊)が横ばいまたは下り傾向ですので、日本の伝統ある芸術の発展に寄与したいと思っています。
あちこちで行われている活動が点として存在するだけで、線となっていない。
市民会館の和室の畳、いつも表面のたたみくずが衣類に大量につく。畳の質を変えてみたらいいのでは?等内容の見直しが必要である。
将来に向けてよりよく考えると、考えていくことは、大切なことだと思いました。
歴史継承と「まち」の活性化が豊かさを生み出す。
美術館建設のため、多数の署名活動を行いました。実現がかなわない。松戸の博物館が閑散としていて、残念。他の市町村、公共団体に比して一段の努力が必要と思う。
個々の努力だけでなく、それをつなげて交流するプランや企画など行政でも考え、地域が文化を通して豊かになることを望む。
既に長年、実施されてきているものばかりと思われま。松戸市の広報で感じます。
高齢化でなかへ若い人達が参加してこない。
場所と資金がないと芸術活動を支え、育成することができないため。
将来の担い手の育成が継承にとって大事である。
交通の便利なところにホールを作り、みんなが親しみやすい公演を希望。また、こどもたちにも、芸術系の講座を開くなどしてほしい。
子供のころから文化芸術に親しむことが重要、広報活動の拡充。
松戸市はベッドタウン、天領だった為か、戸定邸位しかみるべき歴史的施設がない。
文化的環境づくりといっても難しいが、地道に少しでも実行しないとイケないと思う。
アマチュア団体が活動するための適した規模の施設が少ない。
私が生まれ育った鎌倉市と比べると、歴史をアピールする場面が少ないように感じられる。
文化施設が地域に集中せず、バランス良く分散配置してほしい。稼動していない施設(ごみ焼却炉など)の活用が必要。
本物の活動をもっと市民に周知してほしい。
千葉市立美術館のようなものが、松戸市にもあったらいいと思うので。
情報が無い。
文化的環境に大体満足しています。今現在の状況を保てばいいと思います。
未来の担い手である子どもを取り巻く文化環境を良くしたいと思い日々活動している。豊かな文化環境にするためにはトータル的な視点が必要と考える。
市立博物館に時々行くがいつも人影が少ない。せっかく立派な施設があるのにもったいないと思う。色々原因はあると思うが、大きな要因は交通の不便さではないだろうか。21世紀の森と広場の利用者の少ないこととあわせ、一刻も早く新京成線の最寄り駅を作って多くの人に利用されるようにしてもらいたい。
新松戸地区は人口が多いのに市民センターが1つあるだけで、まず、文化施設の充実が急務である。
祭り、芸能による故郷作りで子どもたちに残したいから。
社教に登録している文化サークルは数多くあり、各々のサークルは活発に活動しているが、それらをまとめた市の文化活動としての行事(例えば文化祭、合唱祭、音楽祭)になるとなかなか盛り上がり欠ける部分がある。これは各サークルの意識の問題と企画自体へのもう一工夫が必要ではないかと思う。その意味から「5」が必要と考えた。
市内の図書館では調べ物をしたり、ゆっくり本を読むスペースがない。都内との差があり、失望する。
情報がうまく得られない。
個人的には話し方を生かし戸定邸のガイドをしているが、松戸宿や小金宿、矢切など歴史や文学が多くある松戸の文化も広めたい。
これらの事項は住みよい街づくりのための根幹だと思います。
芸術に対する環境整備が必要と思われるから。
充実したものにするには「人+物+資金+情報」と考えます。
松戸市が発展してほしいので。
文化活動状況のPRが市民に届かない。
ホール、劇場などの施設の全面バリアフリー化を希望する。
誰もが興味を持つような講演会などが松戸市はない。もう一步踏み込んだ内容が必要。
多種多様な観点から文化芸術に親しむ心の育成又活動が発展し、伝統として次世代に継承していくためにも今のあらゆる活動を推進していくことが大切だと思う。

記述内容
あまり考えずに家を購入し 20 年近くになりますが、休日は地域より東京に遊びに行ってしまう。
体育系には、力点があるようです。文化にも力を入れていただきたい。習志野市のように文化都市宣言をしてはいかがでしょうか。
東京の隣の町で芸術家も多く、上野の美術館・六本木の美術館へのアクセスも良いせいか、松戸市の美術施設がさみしく思います。
文化、スポーツ活動が活発になるということは、年寄りが、人間が元気になること。元気になるれば病気や介護に対する市の財政支出も減ることになる。ホールや活動の場をもっと増やし、安い金額で利用できるようにすることが必要。芸術は子供の時から興味をもたせ、年をとっても充実した生活に出来る事を。
施設利用の申込方法、使用料の軽減。
例えば森のホール 21 は良いが、足の便が悪いので車を運転しない人には不便、専用バスがあると良いが。
文化活動に関わる人たちが増えていくと良いと思います。子どもたちの心が豊かになるように芸術に触れる機会が多くなると良いと思います。
文化事業、芸術作品展示会等等市民の啓蒙も兼ね、何しろ目に触れ、接する機会を辛抱強く続ける。工夫をこらし知恵をしぼり心にひびかせることも継続すること。これにつきるのでは。
登録団体には市の行事(募集含め)、その団体の行事を(3ヵ月毎)周知する。その招待券または割引入場券を送付することにより他の団体との交流、動員も図れる。
個人的に古い街道などが好きなので松戸近辺の歴史のある建物や街道を市民に知らせてほしいです。
市民劇場、市民会館の 2 つの施設を多くの人に利用してもらえるように考える。プラネタリウムももう少し人々に関心を持ってもらえるように考える。子供向けの劇、オペラ、音楽会を主催する。在住の外国の方と日本の文化交流をもつ。松戸神社辺りの桜並木を充実させて「桜祭り」をする。
松戸の顔としての文化のアピール。松戸を知り、愛する心を養う。
「松戸宿坂川献灯まつり」。
毎年作品展を文化ホールで行っていますが、希望する団体が多く、なかなか良い日程が取れません。
通常の活動の場である市民センターの設備の充実を希望します。空調設備の老朽化が目立ちますし、利用者の高齢化対策も必要だと思います。
文化向上のために努力はおしまない様にと思われます。
同窓会を作った時、講師をさがすのに困ったから。
森のホール 21 の 4 階レセプションホール、土、日、祭日の確保が非常に難しい、市役所関係が確保する回数をもっと減らして欲しい。
松戸市は人口 50 万の大都市でありながら文化施設が少なく、特色がない。
将来、社会を担う子どもたちを取り巻く環境が充実したものであり、それを支援する大人の活動が大切であると思うから。
森のホール 21、博物館、公園という環境があるのに、もっと市民が活用できる内容を作ってほしい。
文化芸術を大切にすることは、人間社会にとっての豊かさのバロメーターと考えています。
地域活動から輪が広がっていくのではと思います。
今後、若い世代に頑張ってもらいたいと思います。
市役所通路(又は市民センター)に美術展示場をつくる。時には、小中高校の音楽部の発表の場として活用させる、開放することで行動が生まれる。
市としての地道なPR活動を見聞きしているため。
施設の利用を継続的にできるような配慮がほしい。
馬橋、新松戸地区に文化施設が少ない。
森のホール 21 はステキですが、駅から遠い。駅から近い場所の文化施設は古くなっている。
建物が古いせいか空調が適温にならず、夏は冷えすぎ、冬は暑い、ON・OFF しかできないと必ず返事が来る。駅から遠い建物もあり、使用料をもっと安くしてほしい。夜間は掃除しないためきたない。
松戸を文化中心の都市とするのはよい。
全体必要。
豊かな人間形成。
松戸市の目指す文化的方向性が見えない。
立派な施設があっても、交通の便が悪いと車での利用にかたよってしまい、気軽に招待できないし行けない。
何が行われているのか情報が少ない。取組みもわかりにくい。齋藤邸があっても一般公開していない。気軽に利用できる施設や、ふれあったり勉強できる場があっても良いと思う。
松戸で自慢できるものを増やしたいから。

記述内容
松戸は歴史のある町だから。
松戸を誇れる街にしたい。
市立博物館が近くにあり、よく行くがいつも閑古鳥。森のホール 21 のようにメリハリのある企画はないのか？
広報を通していろいろな事業に参加し楽しんでいる。勉強させてもらい文化財産を大切にしていきたい。
人口の多い市であるにも関わらず特徴が乏しいと言われ近隣市と比べ全国的に知名度が低い。
市の中心部の文化施設の拡充が望まれる。
ホール等の施設が貧弱、森のホール 21 は娯楽中心、立地が不便。
より良い環境ができれば…。
地域のセンター等で行われる文化祭等も場所が狭い。
場所により利用度が偏っている。地域芸能や祭りの継承・保存に力を入れる必要がある。
文化は地域の中で老若男女を通して発展していくものだから。
将来の文化芸術振興のために子どもの教育。
いつでもどこでも誰にでも学べる(楽しめる)機会を多く作って欲しい。
市の発展のためには「子どもが元気でたくさんの活動経験と生きていることが楽しいと思える」事が必須。
歴史(郷土)を知りたいと思うことがある。
施設の充実。
48 万都市としては文化活動を推進するための施設が少ない。
松戸市には常設の美術館がなく 21 世紀の森と広場につくって文化芸術のセンター地域にしたらどうか。
近郊の市に比べて歴史的建物や史跡に対する説明板等が劣る。
ホールは多数あるが、松戸駅近くに大きいホールをつくり集約したほうが良い。伝統的な地域の芸能が消えてしまわないよう希望する。
市独自の文化芸術を疎かにすれば市民の活力が失われる。文化は市の住み良さのキーである。
文化ホール、駅ギャラリーの照明灯が不足、固定止め具が不備。
使用できるホール等が少ない。歴史的建造物保存の支援、公開の援助を希望。建物の場所を広報等で紹介してはどうか。
人々が集まるような魅力的な町づくりにしてほしい為。
独自性を生かしていく為。
選択肢が狭小で現象的なため基本的なところからの意見聴取が必要。
街造りのための活動に努力。
集客のため魅力的な企画立案と PR が必要。
市の積極的な助力の姿勢が見えてこない。
人生楽しく生きる為。
日本舞踊をする若人が少なく小学生等での学習の中に取り入れたらどうか。
能楽という古来のものの為、子ども達に特に伝え広めていきたい。また外国人へのアピールもしたい。
松戸市は東京の隣なのに文化芸術においては遅れていると思う。
夏の盆踊りにはたくさんの子ども達が踊りびっくりする。きっかけが大事なかなと思う。
日本の文化を大切に保存していきたい。
地域の活性化には文化活動が不可欠、IT 関係の活動が急務。
松戸市はコンサートホールはあるが美術館と呼べるものはない。都内では美術鑑賞の場はたくさんあるが高齢になると都内に出掛けるのが大変。松戸市内にそのような場があれば良いと思う。
戸定邸でのウィーンフィルフルートコンサートのような上質の催し物が少なすぎる。日本人演奏家でもよいので出演者と聴き手との触れ合いの場を増やす必要がある。
自然や街並みの美しさ、伝承芸能等を通して松戸の良さを考える機会になると思う。
今よりも活動する事ができる。⇒参加を望む方々を受け入れられる。
日常の暮らしの中に文化芸術を位置づけるのはなかなか困難、目先の社会的動き、経済によっても軽んじられたり破壊されたりする。今の状況に左右されないためには総合的な価値を判断、公的な立場で守り伝えることを大事にしたい。
いろいろな試みは有ると思うがアピール不足？なのか、伝わらない部分が多いように思う。
会場の費用が高く取りにくい。
美術館がない。

記述内容
隔年で会員の作品展を開催しているが文化ホールの確保が競争激しく大変。趣味的な文化活動なら現状でも良いが本格的な芸術人材の育成や文化事業の充実には長期的視点に立った支援が必要。
街づくりが下手。
陶芸の出来る教室を多くしてほしい。
松戸市民、特に次世代の人達が地元に着着を持ち自身を持って他と交流できるよう。
松戸にどうしても美術館がほしい。
①～⑫までの項目すべてが松戸市の文化的環境を衰退させないために必要なことばかりである。
人と人との繋がりが希薄な今、いろんな世代との交流や文化を通して子ども達の情操面での発達が必要と思うので。
歴史的な史跡などの保存はされているが、案内されていない。主要駅前に地域の文化遺跡、建物の案内板を作成しPRをしたらどうか。
松戸に移り住んで30年以上経つが、松戸と言えば〇〇と言えるものがないように感じている。第2の故郷として文化的、社会的な発展を期待したい。
集会場所が少なく、確保が難しい。重複予約(ホール等)があるのか解らないから、予約システムが解り難い。
市民生活における文化活動は浸透していない。
何れも不十分だから。少ないから。
いい物は残しておきたい。外国人も増えているので情報交換もできたら良いと思う。
松戸には森のホール21があります。そこは近代的な設備で充実していますが、市民劇場の設備は良くないと思う。これまで3回自主コンサートをしましたがステージの白い幕?はヨレヨレで舞台の雰囲気をつぶしている。また録音もMDしか使用できないのは古くて困る。市民劇場をもっと良くして欲しい。
老朽化が目立つ。
一定に使用するため。
公演会、研究体験活動発表会、文化芸術発表会、園芸品等作品展覧会など発表会に利用したい。
松戸にある旧所の良い所を、更に市民に伝え、知って貰った方が良いと思う。
森のホール21という素晴らしいホールがありますが、子供達(小学生や中学生)の為に伝統芸能やミュージカル、クラシックコンサート等、一流(本物)を見せる機会があると良いと思う。
強く取り上げていない。
市内には、樺や桜などたくさんの美しい街路樹があり、四季折々、人々の心を和ませてくれている。それらの並木道に親しみやすい名前や名称を付け、商店街(大分少なくなっていますが)などと結びつけたらどうでしょうか。桜だけでなく、樺や銀杏の紅葉も綺麗です。
地域を小分割した。小型ホールの増設が必要。現在ではホール、劇場が少なく、使用がなかなか難しい為。
市民会館の改修、音響板(固定)設置。森のホール21の小ホール音響板(固定)設置。
文化施設の充実では、駐車場施設に乏しい。各センターなども同様。
松戸は昔から文化の遅れた場所です。歴史的なものがあっても、それを市外に発信しないと同時に優秀な人材が埋もれている。商工観光課、教育委員会等の動きが足りないと思う。
各公共施設が分散していて遠くて不便である。未来を担う若い人口への文化的施策(施設を含めて)文化環境計画を立てて欲しい。
近隣の市町村など視察されたり、市の現状をよく見て欲しい。活動しやすく、公にひらかれた場所の提供を。
矢切地区は、子供の遊び場が他の地域にくらべとても少ないと思うから。
中規模ホールが必要と思う。

記述内容
文化芸術を担っている市民団体への支援が大切だと思う。
駅ギャラリーや文化ホールの見栄えを浴してほしいが、金がかかりすぎることは避けたい。
文化ホールの抽選日について、3ヵ月ごとの第3水曜日では、その行事に付随する業務の日付を市民センター等で申し込みの日に間に合わない。1月は別として、4・7・10月は第1水曜日にしてほしい。
市も大変なことと思いますが、もう少し文化活動方面にも予算をアップしていただけたらと思います。
よく、美術館があればいいという人がいますが、松戸は交通の便がいいので、都内の美術館にすぐいける。去年のように博物館の中に松戸市の持っている美術品や絵等を年に何回か展示して、それをもっと宣伝してほしい。市長室の展示はなかなか行きづらい。
多くの方々に参加していただくために、広報以外にも目立つ場所に(駅周辺・会館の入り口等)募集案内の掲示をお願いします。
美術館がないので、せめて県単位のレベルでの美術展の継続的開催等、文化ホールの活用拡大とレベルアップ。
50万都市に美術館がないのが残念です。
まず文化芸術振興に感心を持つ事だと思います。
美術館としての関係施設を充実し、時々絵画の企画展等身近で見られたらありがたい。子供達にも芸術に親しむ機会が増えると思う。
今後、老人が増え、スポーツ・文化活動の施設等の環境作りが要求されます。身近で自由に出入りできる安心・安全の環境作りが望まれます。
街や公園に彫刻作品がほとんどない。少しずつ増やしていくべきだ。
市民の参加を求める。
広報まつどなどで呼びかけ、多くの人が、各行事に参加できるようにする。
市内で行われる文化イベントの周知が図れるようなネットワーク作り、そこに行けばあるいは問い合わせればどんなイベントがあるかわかる、ある意味「観光案内」のような存在があってもよい。
森のホール 21・図書館・博物館等への交通機関の設置。特に駅を作る必要があると思う。
宣伝をもっとしてほしい。
交通の便のいい場所に文化芸術を発表できるホールを作してほしい(森のホール 21は不便)。
文化を推進するにはお金が掛かることを市民に理解してもらうためにどうしたらよいかも考えていかなければならない。人が生きるためには文化がいかにか大切か一人一人の意識が高まるのが一番。そうなるようにさまざまなどころからバックアップしてほしい。
合唱などは最初に切り捨てられる危機感がある。市内のイベントに呼んでほしい。
合唱活動などの活動支援がほしい(使用料の減免・会場の先行予約)。
たとえ私たちのような少人数のサークルにおいても活動できます場があることを感謝しております。
施設の改善。
若い人たちが住みやすい街づくりをしてほしい。
文化面は財政難になるといち早くカットされるが、市民活動を支えるため維持してほしい。
地域の活動団体と鑑賞する側との間を仲介するようなシステムがあれば活性化も進むかと思います。
文化活動を身近に感じられる場所がそばにあったらいい。
現在、各地区の掲示板にポスターを張ることを禁止されているようですが、これを検討して欲しい。
活動を目にしてもらう機会を増やしていきたい。
若い人の活用。
活動や人材を紹介・発表する機会を増やすことが必要と思う。図書館の内容充実。
市民が各世代・地域で何を望んでいるかの把握に基づいた事業及び施設環境の主催・整備。
「松戸市の文化」というものがどのようなものなのか具体的によく分からない。もっとアピールに力を入れてほしい。
指導者の育成の勉強などの催しがあってもいいと思う。
美術館がほしい。昔のものを見るのに最適な戸定邸をもっとアピールしてもいいのではないかな。
いろいろな催事や祭りなどの広報をもっと多くの媒体で広報してほしい。道路や駐車場を確保して、年配者や足の悪い人も気軽にいろいろなところへ行けるように考えてほしい。
単発ではなく定期的に行われるイベントの実施。
文化祭・地域の祭り等をもっと広めたらいいと思う。
広くて充実した図書館を。
犯罪のない安全で住み良い街づくりを基本として、伝統ある文化行事の振興の為引き続きご支援を賜りたい。
活動サークルを紹介して、市民に関心を持たせる。各地のセンター中心にした講座等を開催する。常時センターの活動を市民に知らせる。
社会福祉に準ずる資金支援がどこにもない。合同会議もない。
地元にあるよい物を見出しそれを中心とする文化芸術振興。
ギャラリーの拡充・広報でのアピール・街づくりに松戸らしい個性がほしい。
作品の発表を広く拡大していくことへの支援をお願いしたい。

記述内容
北松戸に支所・市民センターがほしい。
地域住民が自ら学べる様な方向性が必要。
啓発活動が活発になる町にしたい。
松戸駅周辺の整備・店舗の充実。
歌舞伎や能を低料金で鑑賞したい。
PR・周知方法を高めたい。
ソフト面の文化事業の充実。
新松戸駅周辺に施設がほしい。
規模の大小を取らずギャラリーのような場所が欲しい。
伝統を守るサポートをしてほしい。
文化芸術より人の育成が先と思います。
地域住民や活動団体への細かい呼びかけが必要。
文化芸術振興は優れているが、市民生活や教育の面で市政のサポートが不足していると思う。
子どもや若い人達が活動できる場所づくり。(雨天でも活動できる場所が必要。)
小さな子どもでも参加できる活動をもっと増やしてほしい。
市民会館の駐車場を広げてほしい。
子ども達から発信される活動を市内での総合的なイベントにできないでしょうか。
遊水施設がほしい。
この活動は松戸市のものというイベント出来るとよい。
若者が参加しやすい街づくりが必要。
高齢者が集まりやすい企画をお願いしたい。
実際に活動している方の意見を聞いてください。
各イベントを毎年多くの方からのアイデアを募り、市民が楽しいで参加できるよう考えてほしい。
個人もサークルも市の協会と同じ扱いなので困る。協会に対しては優先的に施設予約してもらいたい。
活動する施設に費用がかからなければと願う。
7割減免に戻してほしい。
もっと気軽にいろいろな所へ行けるようコミュニティーバスを(安価)走らせて下さい。
美術館がほしい。
文化ホールを利用しているが、市関係団体の公用が多いので困る。
森のホール 21 のバスの本数が少ない。
美術館の建設。
小、中学校に行って交流する場を設けてもらいたい。
図書館の充実。
・市川や流山市のように、生涯学習センターをしっかりと活動の拠点とすべきである(小中の廃校利用)新北小等・市の博物館に自然(理科)系の学芸員を配置すべきである。
・千葉大に世界に誇れる庭園を造設したい。無気力な学校に失望している。・福祉のための文化活動で独居老人を活性化し公共医療費の軽減につとめたい。
・各々住んでいる町(町会)から活動していく事。
・職場、学校、地域等若い人が集まる場所での文化のあり方、楽しみ、生きる力、人との交流を指導する。どの場でも行き渡るようにする。声掛けが少ないようです。日本の文化とは？に答えられない人が多い事を感じます。
・特に上の 8.9.10 に関して松戸市がベッドタウンとしてだけに存在するのではなく、松戸が「まつさと」の部分も生かしたこれからの松戸づくりが必要。ほとんど大切と思われるものが取り壊されてしまい古き良きものがないが、新松戸等の利点(交通)を生かした図書館、ホール、病院、公的施設等を取り入れたらいいのではと思う。
・金儲けの手段として公共施設を年に 200 回も利用させているが、市の考え方がわからない。
・現在実施している文化活動をより多くの人に知っていただき、理解し、参加していただけたらよいと思います。各々が、楽しく生きがいを持って生活して行く為の 1 つの場所、機会になればよいと思います。余り難しく考えず市民の意見を参考にして少しずつみんなが求む方向に変えて行くのが市民の幸福、つまり活性化にもつながるのではないのでしょうか。
・文化活動に取り組んでいる人たちの情報に触れることが少ないと感じるのは私だけでしょうか。広報にコラム等を設け継続的に発信し、松戸の良い所を伝えて欲しいです。
・松戸の主たる芸能にどのようなものがあるのか分からない・21 世紀の森と広場とホールで多くのプログラムが開催できるようにして欲しい。・市民 1 人年何回利用しているのか。
松戸駅周辺の坂川を利用したイベント等、大変よいと思います。(アートフェスティバルや河津桜祭り等)もっと PR して活気ある松戸の一大イベントに成長して欲しいです。
季節ごとのイベント情報の充実をお願いしたいと思っています。いまだに知らない素敵な所、芸術家を発掘してお知らせください。

記述内容
松戸市広報等に掲載をして頂きたいと思う。
アートフェスティバルは良かったと思う。もう少し宣伝をして大きくなっていくと良い。
細やかな気配りが不足している。花も植えて下さるのに、その後の見回り手がないため、すぐにかれている。シルバー人材、地域の方々に声がけすることでもっと長持ちし、経済的だと思う。
会場は使用料を7割引きにして欲しい。
試行錯誤を繰り返し実施する中から生まれてくる。
博物館が利用されているように思えない。多額の費用を使い、税金の無駄だと思う。美術館としてリニューアルはいかがでしょうか。松戸市には多数の優秀な作家がいらっしゃる。ぜひ趣向を変えて、色々な作家の個展、あるいは市民の皆さんのグループ展を開いてほしい。博物館をなくすことができないのであれば、一部、美術館を併用していただきたい。
環境整備として市民センターホールの床の張替え、カーテンの取替え、PR活動の充実推進が必要である。
世代を超えて、地域を越えて、今までがんばってきたことの上に、若者や子どもたちにプランを考えて参加したり、この指とまれプロジェクトが幅広い人々とできたら良い。震災を乗り越える力やできること、楽しんで出来ることも。
益々、人口高齢化が進む中、老人と子供との団体での接触のチャンスを増やす企画が増えると良い。
各活動サークルがボランティアとして活躍できる組織、広報活動の充実、施設の改善が必要。
勉強した成果を発表することを目的としているサークルですので、高齢ですが、市の催し物に参加できるチャンスがあったら、社会に与える事、会員の向上にプラスになると思う。
イベント回数と広報の拡大。
明市民センターにエレベーターがない。
・松戸神社や七福神とかを全面的なポックリ寺的伝説で有名にした。・ジャズコンサートとかうたごえサークルとかテニスのまちとか老人ゴルフとか俳句祭りとか特化したアイデアが必要である。東京の団体との交流を市も推進し、健康に関するプランを出す。
当市は歴史的に文化芸術のイメージが希薄な面があります。現在は21世紀の森と広場、戸定邸周辺、江戸川堤等もっとPRしてみるべき。新旧の魅力を見直してみるのもあり。
松戸市文化芸術マップをつくる。
市民会館の利用料など、大きい施設は安くなればもっと良いと思います。
松戸市の活動状況をもっと情報として流す。
PRと広報による周知。
駅ギャラリー以外にグループ展、個展など気軽に展示できる場所があると良い。
市民活動団体等民間のアイデアを取り入れたり、市民ボランティアが活動に参画する機会を多く作っていくと良いと思います。
ホール、劇場などの文化施設の充実を図り、市民文化活動がいつでも安価に展開できるようにする。
松戸市の小・中学校には全国レベルの合唱、吹奏楽を有する学校が数多くありますが、そのすばらしい演奏を地元の人々が聴く機会がなかなかありません。また、社会人の合唱団、吹奏楽団の演奏を小・中学生に聴いてもらう機会もなかなかないのが現状です。若い優秀な合唱、吹奏楽の力をもった人たちに社会人と交流する場を設けることによって地元の文化振興の活動力となるような仕掛けを考えていただきたいと思う。
他県にある様な立派な図書館は望めないものでしょうか。
活動に伴う資機材貸出または会で購入する際の補助金の充実。
発表の場が少ない。ホール、劇場、美術館など松戸市は少ないのではないかな。
定年された方が多くいると思う。そういう方たちの興味のあることが活性化に少しでもつながるのではないかと考える(若い人たちにも通じる)。
市民に分かるようにPR活動を大きくしてほしい。
森のホール21などとても素晴らしい公共施設があるが、場所が不便でしかも駐車場代が高い。駐車場代を2時間300円にするだけでも使用者が増えると思う。
老若男女、幅広く文化芸術に親しみ発展させる、この様な地域の活動を通して全国又は世界に発信し心豊かな地域の充実を計る。
松戸駅前に何か中心的なものがあればいいかなー若い人が集まるように、大学も。
松戸まつりのときばかりでなく、どこに行っても音楽が流れている。デッキ以外でも公園・空地・店内・ふれあい道路でイベント(音楽バンド)を開催している。松戸は楽しい!!音楽協会へ依頼してはいいかな!
文化、スポーツ活動、ボランティア活動に対し、もっと財政的な援助が必要ではないかな。
利用施設が少なく、借りにくくなっています。
例えば私たちのあみものサークルにしても、会員の高齢化によって退会される方が多く、続けたくても参加人数10名以上などの制約があると会場が利用できなくなる恐れがあり、それが心配なので少人数でも使用できる等の配慮をお願いしたい。
市民の高齢化もあるので施設にエレベーターを設置するとかの配慮がほしい、又、若者が住みたいと思えるような街作りをして(子供園?)活性化させてほしい。

記述内容
料理実習室の確保がとつてもむづかしくなってきました。会員の地区が新京成、バス、千代田線利用のため松戸駅周辺となると市民会館のみです。なんとかなりませんか？希望、調理台水道お湯も出ると嬉しいです。
松戸市は車優先に思えます。歩く人に優しい街にしたほうが良いのではないかと？車道は整備されていますが、歩道は斜めなところがほとんどです。歩く人が多いほど街は活性化するのはないか？
現在総台市民センターを利用しているが東の駐車場が狭い。駅ギャラを年1回利用しているが西側の浮浪者の排除を強気にやってほしい。非衛生的であるし、参観者が来にくい。何の権利があつて居座っているのか。なぜ排除できないのか。写真、絵画、趣味の作品などを発表する場が少なすぎる。現在、文化ホール、駅ギャラ、一部の市民センター程度しかなく、その設備なども満足ではない。もっと発表の場を増やしてほしい。街の景観について何年も市として具体的なことを実施していない。まず第一に松戸駅周辺の広告を規制し、建物のかたち、色を統一すべき。
「松戸は歴史のある街」として「松戸時代祭り」を大々的に行う。松戸神社を中心に山車を引き出し、東口、西口と仮装パレードを行う(3日間)。
松戸駅の見直しをしてほしい(相互乗り入れ駅としての)。
大正琴でお部屋をお借りしておりますが机などが古く、どれも弾くとグラグラです。設備のほうも充実してほしいです。
広報などのPRの充実
大きな市営駐車場を作る。駅に史跡の案内板を置く。会館の案内板も充実させる。子供たちに地元で文化芸術にふれさせるための予算を出す。
森のホール21への交通の便を良くするため、森のホール21駅を作る。また、文化施設への行き方を分かりやすくするため、駅や道すじに看板を立てる(大きく目立つように)。
松戸は商店も統一感がない。市民が地域に眼を向けるには、まず文化環境を整えることではないでしょうか。
現在の松戸の中心市街地でもある松戸駅周辺はかつて江戸時代に江戸城と水戸藩を結ぶ水戸街道の宿場町だと聞いています。こうした所の保存などにも力を注ぐことも必要だと思います。
文化施設が殆ど松戸駅中心にあるが、逆に不便で施設も古い。武蔵野線、千代田線の交差する新松戸等にもっと文化施設ができるとうれしい。(新北小、新北中の跡地利用)
練習場所の設備、環境などを相手の(団体)の気持ちを理解して欲しいです。向上を目指して頑張りたいと思います。お蔭様で30年を過ぎました。
有名人、文化人などと呼んで、講演会などを行ってほしい。
松戸市を展望する、特色のある良い行政、他の市に負けない程の事をこの中で、文化芸術に力を入れる。
市民センターの備品について 不要すぐに撤去希望→ピアノ、カセットレコーダー、年に一度程度使用される程度の備品は不要。 すぐに設置希望→インターネット回線設備。松戸市に隣接する他市に先駆けた実現を強く望みます。既に各市民センターの事務所までの回線は届いています。各会議室、ホールへの配線又は無線工事は安い投資額で市民から喜ばれる行政に期待します。
芸能、祭りなどの継承、保存に若い世代、こども達の参加が活性化につながっていくと思います。
先ほどのべた、財政的支援があればもっと幅広い活動が取組めます。多目的の集会所が増えれば、より多くの人たちが活動に参加できると思います。文化ホール等の利用料を下げてください。
あまりむづかしい事ばかり言わずにどなたでも気軽に参加できて、また参加して良かったと思われるような事をやってみてほしい。
地域の皆さんに関心を持ってもらうのが第一歩で、それから発展するような指導(?)して活性化させられるようにと思っています。
松戸市広報の活用(コーナー創設) ①市出身の有名人(ジャンルを不問)に松戸市の思い出インタビュー ②社教団体の紹介 ③松戸市場百選投票 etc
特にありません。
市民センターの部屋に5m以上の鏡を付けてほしいです。
地域のお祭り、イベントを活発にしているような団体が出演する機会を増やしてもらえると、もっと元気なまちになると思います。練習できる場所も増やしてほしいです。
市としての一貫した姿勢をもって地道に宣伝活動をきめ細かくやっていくしかないと思います。
現在の会場申込方法であるならば、減額必要。週1回活動できる曜日、施設が確保利用ができれば、使用料の減額不要。
松戸市は中途半端な市のような気がします。例えば田園風景とか歴史的な建物や史跡、文化施設など、私が知らなすぎるのかも知れませんが、何かどれも中途半端なような気がしますので、一日も早く「文化の香りのする街構築プロジェクト」を立ち上げていただきたいと思っています。
夜の使用時間を10時頃までにして、一般の方が使いやすくする。駐車場が少ない。減免率を年齢別で分けてほしい。

記述内容
文化事業に市民こそって(一部ではなく)巻き込める仕組み、地域ごとの文化祭をより広く知らしめ、運営事務局の開放を図り参加しやすい体制づくりを願う。施設の駐車場不足。
子ども達(小中学生)に伝統文化としての日本舞踊や日本民謡などを観る機会や実際に踊る機会を与え興味関心をもってほしい、そのための組織運営や計画立案の具体化を望みます。
会場がとれやすいと良いのですが。
近隣の市の文化施設が充実しているため必要性が弱い。
小回りの聞く小型バスを配置して交通の便をよくし、移動手段を工夫すると、人の流れも良くなるのではと思います。そして、施設を充実して、趣味の会(サークル)が利用しやすくなると良いと思います。
文化芸術に関しては、勉強不足のためよくわかりません。千葉大の庭園も協働できないのでしょうか? 私たちは国際交流なので松戸の歴史や良いところを紹介したいと思っていますが、松戸にはあまりないような気がします。(お金をかけずに気軽に伝えることができる場)
「矢切の渡し」「野菊の墓」「矢切神社」等史跡に関連づけ柴又と交流が出来る「渡し」をキチンとし、交通手段を考えて活性化が図れるとよい。バス停、駐車場、食堂、トイレ等整備し、PRすれば人々の興味関心も出てくると思う。今あるものを整備し活用出来るようにしていく必要を感じる。便利さ、使い勝手の良さという環境整備も大切。
「文化の香りの…PJ」などに定期的確実性をもって活動しているサークルなどのメンバーを含めるなどして意見を活用すると共にリーダー的存在を育成すべし。
住みたい人が集まる街にするための一歩として駅や街をきれいにし、ワクワクするようなイベントの開催などで松戸のイメージアップが必要。
小さなフェスティバルの行事がありすぎるので市として一ヶ所一括でできないか。
市民センターは市内全域にあるが交通アクセスの問題や会場が取りにくいなど活動する事が難しくなってきた。映像関係のクラブとして文化ホールの閉鎖は残念。年配者にはパソコンを使えない人もいるので違った形で存続すべきだった。施設の存在情報が少ない。
松戸には夏祭り等で踊る昔から伝わる踊りはないのか。松戸をより良くするために郷土意識の育成が必要、伝統行事を掘り起こし市民に広める努力をしてほしい。
他地域に松戸市の良いところを知ってもらうためのイベントを各施設で開催や文化人との交流、若い人たちが参加しやすい日程で文化施設めぐりを実施。
21世紀の森と広場や戸定邸、江戸川などを生かした文化的イベントを開催し他地域の人が訪れるようにしてほしい。宿場町としての名残を生かす街づくりも必要。
民間カルチャー教室の授業料が高い。地元の識者、技術者の協力を得て割安な会合が持てればと思う。
映画館がもっと多くあったらよい。
市が振興活動を直接担うのは難しい。活動を行う団体を施設面で支援するのが適切。また文化芸術活動そのものへの施設支援は大切な施策であるが民間施設と格差があると問題が生じる。現状で施設利用料金の公民格差は大きすぎるのでは?
文化講演会のようなものをもっと活発に。
活動中のサークルの宣伝活動や市主催事業を多く実施し市民の関心を喚起する。
経済的援助、地域の町おこし運動、様々な文化活動の紹介。
市民が関心を起こす「呼び掛け」方法の研究が必要。
自分たちが楽しく文化活動する事でボランティアや情報交換ができ、多くの人が繋がる事が安心の第一歩、いろいろな活動を支えてもらえるとありがたい。
地域の歴史(郷土)をまとめた本などが松戸にはなさすぎる。
美術館もなく市民劇場も老朽化しており文化活動などのイベントを行うには不向き、施設の充実を希望。
文化団体連盟のトップに任期制を設けないとマンネリ化し活性化を妨げる。
現在のサブカルチャーは若者中心の文化であり昔から伝わってきた文化が精神の基盤として欠かせない。新旧の結び付きが町づくりの基本だと思う。
松戸市の写真コンテストの場がなくなり写真愛好家の励みの場がない。
高齢者が多くなる町が増えるので参加しやすいような行事を考えてほしい。
文化活動団体の活動状況や連絡先がわかる一覧表のようなものがあると嬉しい。市の周辺部地域にも文化活動を広げることができたら良い。
街の活性化には地域住民のもっている文化面のノウハウを活用、顕彰することが不可欠。重点項目を拾い出すのではなく、複合的な方策を採ることで重点が発掘、生み出されていくのではないか。
若者たちの芸術振興を心から期待している。
振興のためには市長(リーダー)の関心と理解が必要。
図書館(中央)の充実が必要。
年齢を重ねると動く範囲が狭くなるので、小さい地域で活動できると良い。
現在のところ特にない。
現在、各施設で実施しているイベント・講座等を更に拡大、充実していただきたい。

記述内容
地域に気軽に使用出来る「小ホール」がもっとあれば良い。例えば新設された馬橋駅ビル内に展示会や発表会が出来る小ホールが出来るのではないかと仲間や地域の人たちと話をしたことがある。
我々の部門は若手(60歳未満)が極少で広報「まつど」にもっと募集の宣伝をさせてもらいたい。現在は年1回だが2～3回希望。
市民が目向けることは難しい。耳や目を向けて子ども達に伝えてほしい。
当クラブは集会所で教室を持っているが、会場はネット環境がなく真に不便を感じている。ぜひ改善を!
森のホール 21 以外に 100～300 人程度のホールがあると良い。特に若い演奏家の演奏の場は 100 人程度が入る温かい雰囲気を持つホールがほしい。会場費は安くして、浜離宮朝日ホールのランチタイムコンサートのような安いコンサートがいつでも開かれるようなホールがあると良いと思う。
社会教育団体のリストをどなたでもわかるようにして頂ければ活動したい方々も参加できると思う。
文化芸術の振興は豊かな自然とそこにある人の暮らしがしっかりしていることだと思う。互いに大切にされ、人の心が豊かになればいい。
市広報にいろいろな行事が行われている事がよくわかり良い事だと思う。ますます多方面での記事等を載せて頂きたい。
市民が積極的に参加出来るような方法を考えたい。利用する人、関心のある人が一部の人に限られている気がする。
色々な文化芸術活動や講演会等が行われているが、その広報が市の「広報まつど」に1回掲載されるのみ、もっと掲載回数を増やすべき。
松戸駅-八柱駅-東松戸駅を拠点として結ぶ広域に亘る商店街や大型店舗の誘致。文化芸術活動、交流の場の整備拡充。綺麗な街並み造り等の積極的な取り組みが望ましい。
市立図書館を建て替え、交通の便の良い場所へ移し、図書館機能と公民館機能を合わせ持つ総合的学習センターとする。これを生涯学習都市のシンボルとする。市の社会教育関連団体の活動の中心となるようにする。
松戸市は柏市や流山市に比べると陶芸が出来る所がすくない。陶芸人口は松戸は多いのに教室がない。
今有る箱物の維持管理を徹底し、それらを守り育てていけるような人材を育てていく事が文化の継続、継承、発展に繋がるのではないかな。
市民センター以外の施設もネット予約できるようにしてほしい。
若手の芸術家を育ててほしい。駅から近い所に発表する場が欲しい(駅ギャラリーは環境的に残念ながらゆっくり見る気になれない)。
どんな小さなことでも松戸市の活性化のために立ち上げてくれれば、私たち老人もボランティアなどでも応援したいと思っている。
情報発信がもう少し子供向けの物があっても良いと思う。広報は情報量が多いが子供の目に止まるものが少ないと思う。
広報まつどの※ユウカリ広場、※カルチャー&スポーツ欄の催行を各々実施報告の写真添付をしてもらい、次回から一般の人が参加しやすい様に編集したものを作成配布する工夫が必要では。
・市民センター、公民館などの施設がなかなか予約できないケースが多い。・松戸市サポートセンターも利用するが、使用料の減免がない。何故。・森のホール 21 が毎月曜日が休館日となっているが、市民センターのように月1回にして欲しい→月曜日に利用できるとありがたい。又市民会館、市民劇場も同じく毎月曜日が休館日となっている。何故ホール系は一斉に休みとなるのか??
子供向けの文化芸術の公演機会を増やすなど、芸術文化の振興の基盤づくりが大切と思う。
街並みの雰囲気を統一するなど、どんな歴史が一番強調する部分かを話し合い決定、実行するのが良いと思う。
廃校になった施設を有効に活用し、地域の人が集い、使い勝手の良い会館が欲しい。
市内中学校は、全国レベルの成績を誇っていて、素晴らしいと思う。小学校と高等学校の音楽(合唱、吹奏楽)が活発になれば良いと思う。学校の先生、音楽科の先生を充実させて欲しい。一般市民で楽器の出来る人、合唱の出来る人がいれば積極的に地域の人材を活用してみることも良い方法だと思う。地元の市民センターに目をむけ、充実した機材を揃えて、いつでも、どこでも、だれでも気軽に利用できるようにしてほしい。ピアノの質を良くして下さい。お金を支払っているのだから。
子供たちが積極的に参加できる機会を作ってやる。
もう少し、身体の不自由な人達が容易に訪問できるような環境になれば良いと思う。
森のホール 21 への交通の便が悪く、市内の人が今ひとつ芸術にふれられずにいると思う。市外の人にも行きやすくする為には、観点が違うかも知れませんが武蔵野線に八ヶ崎駅を作るなど、もっと利用者を増やし、町、市を活性化できるといい。「自然あふれる森のホール 21 を芸術の拠点へ!!」社教団体ももっと気軽に森のホール 21 内のレッスンルームが借りられるよう、安価にして欲しい。
会館を市が先に確保している。どうにかならないのか。活動出来ない月が年に何度もある。
松戸市の祭りの利用。例としてさくら祭りなど、生バンドの演奏等及びカラオケ大会を行う。
毎年、松戸市民デーをもうけ、各文化芸術活動をしている。発表会を行う。森のホール 21、市民劇場、市民会館を利用する。

問6 文化芸術の振興によるまちづくりに対する意見

記述内容
JBDF(財)日本ダンスサークル連盟・松戸スポーツダンスサークルでは、年1回森のホール21にて会員技術発表を催しているがレセプションホールを借りるのが大変である。半年前の抽選時は、土・日はほとんど塞がっている。1年前の使用にはイベントの開催がなければ借りられません。毎週くらいに、仕事のようなダンスサークルが開かれているようであるが、ぜひサークル年1回の使用が可能になると有難い。
同上(松戸は昔から文化の遅れた場所です。歴史的なものがあっても、それを市外に発信しないと同時に優秀な人材が埋もれている。商工観光課、教育委員会等の動きが足りないと思う。)
文化だけでなく、松戸市の総合的なまちづくりの計画がなければ、活性化はできないと思われる。公共施設が分散していて、利用しにくく、巡回バスでも設置すれば行きやすくなると思う。気軽に利用できると思われる。
活性化の為には、一つ一つの声を大切にに取り上げ検討して貰いたい。文化は足元から日々の生活からではないでしょうか。新しいことに目を向けながら、今の中から工夫も引き出すことも出来るのではないのでしょうか。
私たちが行っている、ゆりの花音楽会に支援いただきたい。
親子でも文化芸術に触れ合えるような場を設け、広報だけでなく、ポスターなどでも呼びかけてみると良いと思う。
文化活動を支援するためにも減免率を上げていただきたい。

文化芸術の振興に関するアンケート調査報告書

平成25年3月

松戸市 市民環境本部 企画管理室

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

T E L 047-366-7312

F A X 047-366-2043

E-m a i l mcshevikaku@city.matsudo.chiba.jp
